

アンケート調査報告書

令和 6 年 11 月

清瀬市

目次

I 調査概要.....	1
1. 調査の目的	1
2. 実施概要.....	1
3. 集計表記について	1
II 調査結果概要	2
<市民>	2
<事業者>	4
III 調査結果(市民)	6
1. あなたご自身のことについておたずねします。.....	6
2. 身近な地域の環境についておたずねします。.....	8
3. 環境に関するあなたのお考えについておたずねします。.....	26
4. これからの環境政策についておたずねします。.....	34
5. 気候変動への適応について。.....	37
6. 将来の環境について	38
IV 調査結果(事業者).....	54
1. 貴事業所のことについておたずねします。.....	54
2. 貴事業所の環境活動についておたずねします。.....	56
3. これからの環境政策についておたずねします。.....	71
4. その他	74

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、第三次清瀬市環境基本計画の策定にあたり、本市における課題を洗い出すとともに、今後の本市の環境施策を推進するための基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 実施概要

アンケート調査の概要は、以下のとおりです。

項目		市民		事業者	
調査対象		市内に住む16 歳以上の市民		市内の事業所	
調査時期		令和 6 年 10 月16 日～令和 6 年 10 月31日			
発送数		1,500通		500 通	
回収数	紙	339通	440通	121通	148通
	Web	101通		27 通	
回答率		29.3%		29.6%	

3. 集計表記について

図表に示されている割合は、小数点第2位を四捨五入して表記しているため、割合の合計が100%にならないことがあります。

Ⅱ 調査結果概要

<市民>

1. はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

<回答者の属性について>

- ・年齢層については、「50～59歳」と答えた人の割合が19.5%と最も高くなっています。(p.6)
- ・お住まいの地域については、「中里」と答えた人の割合が19.8%と最も高くなっています。(p.6)
- ・世帯構成については、「親・子(二世帯)」と答えた人の割合が52.5%と最も高くなっています。(p.6)
- ・お住まいの住宅の形態については、「一戸建て(持ち家)」と答えた人の割合が55.9%と最も高く、回答者の半数以上が一戸建て(持ち家)に住んでいることが分かります。(p.7)

<環境情報の入手方法について>

- ・「テレビ・ラジオ(ケーブルテレビを含む)」が60.5%と最も高く、次いで「インターネット」が57.3%、「市報きよせ」が47.0%となっています。(p.7)

2. 身近な地域の環境についておたずねします。

<あなたの住んでいる地域の環境の変化について>

- ・「今の方が良くなった」の割合について、最も高かった項目が「ごみ出しなどのマナーや分別収集」で40.2%、次いで「ごみの減量やリサイクルの推進」が37.3%となっています。(p.16)
- ・「以前の方がよかった」の割合について、最も高かった項目が「雑木林や畑の緑の豊かさ」で39.8%、次いで「身近な公園や広場の使いやすさ」が27.0%となっています。(p.16)
- ・「わからない」の割合について、最も高かった項目が「学校や地域での環境学習」で53.9%、次いで「歴史的・文化的遺産の保護」が39.8%となっており、これらは情報不足から判断を付けられない回答者が多かったと考えられます。(p.16)

<あなたの住んでいる地域の環境の満足度について>

- ・満足計※の割合について、最も高かった項目が「空気のきれいさ」で64.8%、次いで「川の水のきれいさ」が61.4%、「ごみ出しなどのマナーや分別収集」が56.6%となっています。(p.25)
- ・不満計※の割合について、最も高かった項目が「安全で快適な歩行、自転車利用の空間」で42.7%、次いで「ポイ捨てや不法投棄の状況」が36.1%、「身近な公園や広場の使いやすさ」が30.9%となっています。(p.25)

※「満足」「やや満足」もしくは「不満」「やや不満」の合計

3. 環境に関するあなたのお考えについておたずねします。

<「環境問題」にどの程度関心があるかについて>

- ・関心計※の割合が77.7%となっており、関心を持っている回答者の割合が高いことがわかります。(p.26)

※「関心がある」「まあ関心がある」の合計

<身のまわりで関心のある環境問題はどのようなものがあるかについて>

- ・「夏場の高温化」が76.6%と最も高く、次いで「集中豪雨などの極端な気象」が65.5%、「樹林地や農地の減少」が39.5%となっており、温暖化に関連する「夏場の高温化」「集中豪雨などの極端な気象」への関心が特に高いことがわかります。(p.27)

<環境に関する言葉をどの程度知っているかについて>

- ・「名前も内容も知っている」の割合について、最も高かった項目が「再生可能エネルギー」で70.5%、次いで「SDGs」が67.7%となっています。(p.30)
- ・「名前も内容もわからない」の割合について、最も高かった項目が「30by30」で76.6%、次いで「デコ活」が67.5%となっています。(p.30)

<環境保全活動等に参加や経験したことがあるかについて>

- ・「自ら進んで、参加・経験したことがある」の割合について、最も高かった項目が「ごみ拾いなどの清掃活動」で18.0%、次いで「農作物の収穫体験」が14.5%となっています。(p.32)
- ・「参加したことがないが、参加・経験してみたい」の割合について、最も高かった項目が「公園や道路などの緑化活動」で 52.7%、次いで「地球温暖化や野生生物の減少など環境問題に関する学習会」が47.7%となっており、働きかけを行うことで参加が期待されます。(p.32)

<どのような環境活動があれば参加したいかについて>

- ・最も高かった項目が「体験型イベント(自然体験、観察会、見学会など)」で53.6%、次いで「専門家による講座、セミナー、展示会など」が33.4%となっています。(p.33)

4. これからの環境政策についておたずねします。

<多様な環境を保全するため、行政が優先して取り組むべきことについての上位3つについて>

- ・「①脱炭素社会の実現」について、「公共施設(学校や役所など)への 100%再生可能エネルギー由来電力や、再生可能エネルギー設備の導入推進」が52.5%と最も高く、次いで「公共施設(学校や役所など)の断熱・省エネリフォームなど、省エネ化の推進」が45.5%となっています。(p.34)
- ・「②資源の有効活用、ごみの削減」について、「店頭での資源回収など、民間事業者による資源回収の推進」が46.8%と最も高く、次いで「分別・削減方法の周知啓発などによる、家庭や事業所から排出されるごみの削減」が43.0%となっています。(p.35)
- ・「③自然の保全・生物多様性」について、「柳瀬川などの水辺の美化活動など、水環境を守り、活用する取組の促進」が39.8%と最も高く、次いで「生産緑地や雑木林の保全、活用」が39.5%となっています。(p.35)
- ・「④安心・安全な生活環境の確保」について、「幹線道路の整備や公共交通の充実、歩道や自転車専用道路の整備による、安全・安心な交通環境の確保」が55.2%、次いで「空き地・空き家の適切な管理の促進」が38.2%となっています。(p.36)
- ・「⑤環境意識、協働の仕組みづくり」について、「環境教育の推進による、将来を担う子どもたちの環境意識の向上」が48.4%、次いで「市内の環境の現状や課題についての情報発信」が37.3%となっています。(p.36)

<環境教育や環境学習の進め方についての上位3つについて>

- ・「学校での子どもたちへの環境教育を充実させる」が60.5%と最も高く、次いで「市内の川や雑木林など自然のなかで環境の大切さを実感できるイベント等を実施する」が34.8%となっています。(p.37)

5. 気候変動への適応について

<温暖化による影響や被害を軽減する「適応」という考え方を知っているかについて>

- ・「知らなかった」が70.7%と高い割合を占めています。(p.37)

<身近な地域の気候の変動による影響について>

- ・「熱中症など暑さによる健康への被害が増えている」が89.1%と最も高く、次いで「短時間に降る強い雨により浸水被害が増えている」が73.2%となっています。(p.38)

<事業者>

1. 貴事業所のことについておたずねします。

<事業所の属性について>

- ・業種については、「医療・福祉」と答えた事業所の割合が24.3%と最も高くなっています。(p.54)
- ・従業員数については、「20名未満」が66.0%と半数以上を占めています。(p.54)
- ・所在地については、「松山」が20.3%と最も高くなっています。(p.55)

<事業活動が地域の環境に与える影響の程度について>

- ・「影響はない」が39.9%と最も高くなっています。(p.55)

<環境情報の入手方法について>

- ・「インターネット」が62.2%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ(ケーブルテレビを含む)」が45.9%となっています。(p.55)

2. 貴事業所の環境活動についておたずねします。

<事業所の事業活動と環境問題と関連について>

- ・関連がある計※の割合について、最も高かった項目が「産業廃棄物の排出」で 31.1%、次いで「騒音・振動」「まちなみ景観」が共に 20.2%となっています。(p.60)
- ・「当事業所には関連がない」と回答した事業所の割合について、最も高かった項目が「地盤沈下」で 82.4%、次いで「開発による自然環境への悪影響」が 79.7%となっています。(p.60)

※「大いに関連がある」「関連がある」の合計

<事業所の環境活動について>

- ・「現状実施している範囲で取組を維持したい」が35.1%で最も高く、次いで「省エネなど、事業活動にメリットのある範囲で取り組みたい」が30.4%となっています。(p.60)

<事業所の環境保全行動に関する現状と考えについて>

- ・「①すでに取り組んでいる」の割合について、最も高かった項目が「ごみの分別や資源化」で83.8%、次いで「電気をこまめに消すなど、節電の推進」が79.1%、「両面印刷、使用済みの用紙や封筒の再利用による紙ごみの減量化」が 68.2%となっています。(p.67)

<事業所が環境活動を進めるにあたっての課題について>

- ・「資金の不足」が46.6%と最も高く、次いで「人材の不足」が41.2%、「ノウハウの不足」が 29.1%となっています。(p.68)

<他の団体等と連携して活動を行っているかについて>

- ・「機会があれば活動したい」が48.0%と最も高く、次いで「活動する予定はない」が34.5%となっています。(p.68)

<市が環境施策を推進する上で協働できる(協働したい)と思う取組について>

- ・「環境に関する情報提供」が28.4%と最も高く、次いで「行政が行う環境活動(美化活動・イベントなど)への参加・人材派遣」が27.7%となっています。(p.69)

<事業所の事業活動への影響が大きい事象について>

- ・「猛暑日の増加」が70.9%と最も高く、次いで「ゲリラ豪雨の増加」が66.9%となっています。(p.70)

3. これからの環境政策についておたずねします。

<多様な環境を保全するため、行政が優先して取り組むべきことについて>

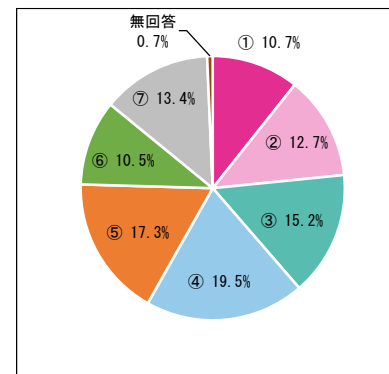
- ・「脱炭素社会の実現」について、「公共施設(学校や役所など)への 100%再生可能エネルギー由来電力や、再生可能エネルギー設備の導入推進」が42.6%と最も高く、次いで「民間施設(住宅や事業所など)への 100%再生可能エネルギー由来電力や太陽光発電設備など導入補助」が35.1%となっています。(p.71)
- ・「資源の有効活用、ごみの削減」について、「分別・削減方法の周知啓発などによる、家庭や事業所から排出されるごみの削減」が49.3%と最も高く、次いで「資源回収活動への報奨金などによる、資源回収等による資源化の支援」が31.8%となっています。(p.72)
- ・「自然の保全・生物多様性」について、「公園・学校・公共施設・道路などの緑を増やす取組の推進」が41.9%と最も高く、次いで「生産緑地や雑木林の保全、活用」が33.8%となっています。(p.72)
- ・「安心・安全な生活環境の確保」について、「幹線道路の整備や公共交通の充実、歩道や自転車専用道路の整備による、安全・安心な交通環境の確保」が51.4%、次いで「空き地・空き家の適切な管理の促進」が33.8%となっています。(p.73)
- ・「環境意識、協働の仕組みづくり」について、「環境教育の推進による、将来を担う子どもたちの環境意識の向上」が56.1%、次いで「市内の環境の現状や課題についての情報発信」が35.8%となっています。(p.73)

Ⅲ 調査結果(市民)

1. あなたご自身のことについておたずねします。

1)あなたはどの年齢層に該当しますか。(1つに○)

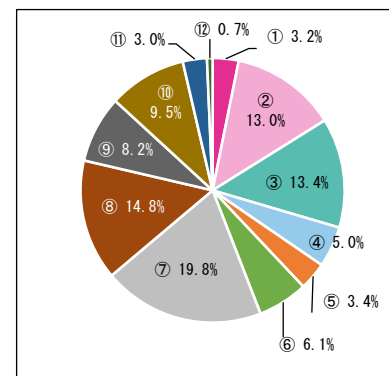
選択肢	回答者数	割合(%)
① 16～29歳	47	10.7%
② 30～39歳	56	12.7%
③ 40～49歳	67	15.2%
④ 50～59歳	86	19.5%
⑤ 60～69歳	76	17.3%
⑥ 70～74歳	46	10.5%
⑦ 75歳代以上	59	13.4%
無回答	3	0.7%
合計	440	100.0%



「④50～59歳」が19.5%と最も高く、次いで「⑤60～69歳」が17.3%となっています。

2)あなたはどの地域にお住まいですか。(1つに○)

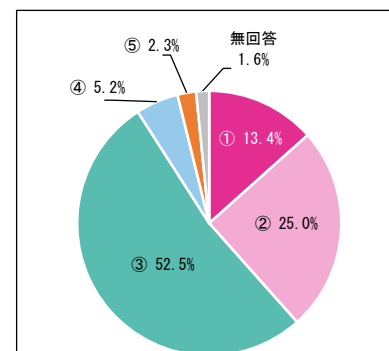
選択肢	回答者数	割合(%)
① 上清戸	14	3.2%
② 元町	57	13.0%
③ 中清戸	59	13.4%
④ 下清戸	22	5.0%
⑤ 下宿	15	3.4%
⑥ 旭が丘	27	6.1%
⑦ 中里	87	19.8%
⑧ 野塩	65	14.8%
⑨ 松山	36	8.2%
⑩ 竹丘	42	9.5%
⑪ 梅園	13	3.0%
⑫ 無回答	3	0.7%
合計	440	100.0%



「⑦中里」が19.8%と最も高く、次いで「⑧野塩」が14.8%となっています。

3)あなたの世帯構成は次のどれにあたりますか。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 単身(ひとり暮らし)	59	13.4%
② 夫婦のみ	110	25.0%
③ 親・子(二世帯)	231	52.5%
④ 親・子・孫(三世帯)	23	5.2%
⑤ その他	10	2.3%
無回答	7	1.6%
合計	440	100.0%



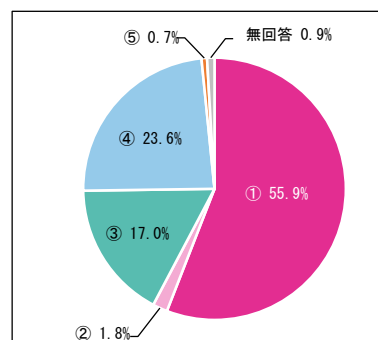
⑤その他

・夫婦、義母、義妹 ・夫婦・孫 ・夫婦、子 ・祖父母・親・子

「③親・子(二世帯)」が52.5%と半数以上を占めています。

4)あなたがお住まいの住宅はどのような形態ですか。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 一戸建て(持ち家)	246	55.9%
② 一戸建て(賃貸)	8	1.8%
③ 集合住宅(持ち家)	75	17.0%
④ 集合住宅(賃貸)	104	23.6%
⑤ その他	3	0.7%
無回答	4	0.9%
合計	440	100.0%



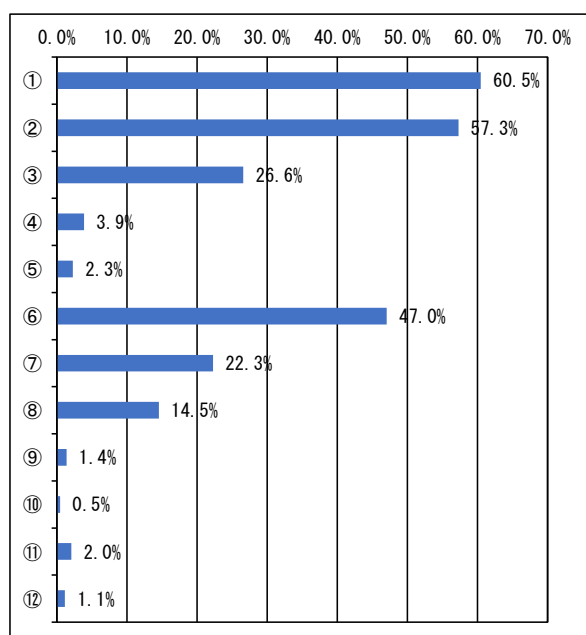
⑤その他

・社宅

「①一戸建て(持ち家)」が55.9%と半数以上を占めています。

5)あなたは、環境情報をどのような方法で入手していますか。よく入手する方法を上位3つ以内で○をつけてください。(3つ以内で○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① テレビ・ラジオ (ケーブルテレビを含む)	266	60.5%
② インターネット	252	57.3%
③ 新聞	117	26.6%
④ 書籍・雑誌	17	3.9%
⑤ 自治会回覧	10	2.3%
⑥ 市報きよせ	207	47.0%
⑦ SNS (Facebook、X、Instagram、 YouTubeなど)	98	22.3%
⑧ 家族や友人、知人から	64	14.5%
⑨ PTAやボランティア活動などの 地域活動	6	1.4%
⑩ セミナー・講演会・展示会などの イベント	2	0.5%
⑪ 勤務先から	9	2.0%
⑫ その他	5	1.1%
合計	1053	-



※割合は回答者数(440)から算出

⑫その他

・見ていない ・環境情報の定義が曖昧です。住宅の周辺情報と認識して回答しています。

「①テレビ・ラジオ(ケーブルテレビを含む)」が60.5%と最も高く、次いで「②インターネット」が57.3%となっています。

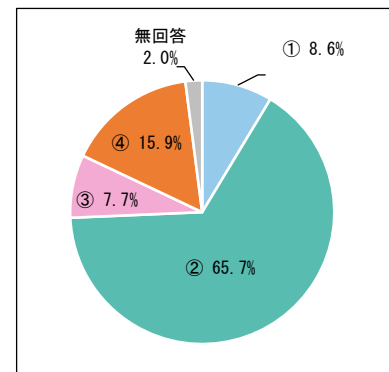
2. 身近な地域の環境についておたずねします。

1)あなたの住んでいる地域の環境の変化についてどのように感じていますか。あなたのお考えに最も近いものを1～4の中から1つ選び、○をつけてください。(それぞれ1つに○)

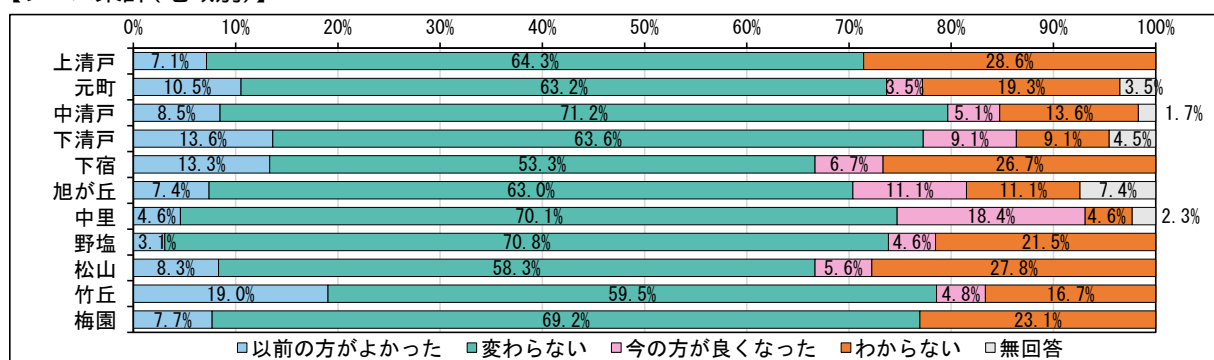
①空気のきれいさ

選択肢	回答者数	割合(%)
① 以前の方がよかった	38	8.6%
② 変わらない	289	65.7%
③ 今の方が良くなった	34	7.7%
④ わからない	70	15.9%
無回答	9	2.0%
合計	440	100%

「②変わらない」が65.7%と半数以上を占めています。



【クロス集計(地域別)】

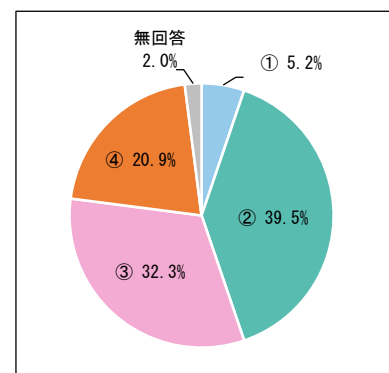


全ての地域で「②変わらない」が最も高く、特に中清戸・中里・野塩地域は7割以上を占めています。

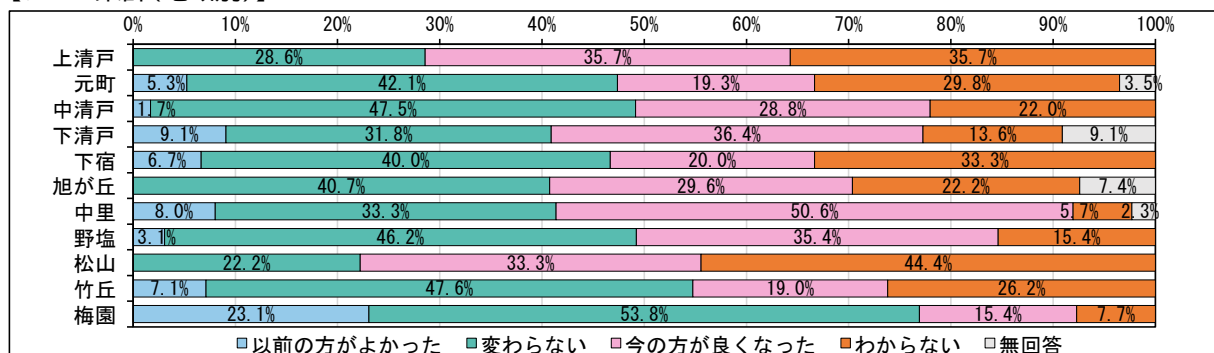
②川の水のきれいさ

選択肢	回答者数	割合(%)
① 以前の方がよかった	23	5.2%
② 変わらない	174	39.5%
③ 今の方が良くなった	142	32.3%
④ わからない	92	20.9%
無回答	9	2.0%
合計	440	100%

「②変わらない」が39.5%と最も高く、次いで「③今の方が良くなった」が32.3%となっています。



【クロス集計(地域別)】

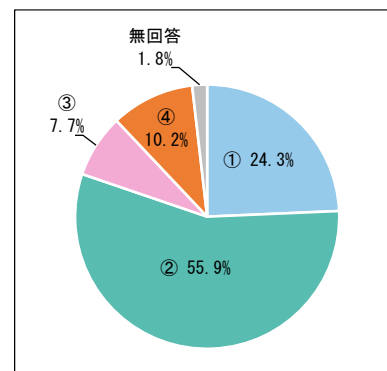


上清戸・下清戸・中里・松山地域を除いた地域で、「②変わらない」が最も高く4割以上を占めています。また、梅園地域を除いた地域で、「①以前の方がよかった」が「③今の方が良くなった」を上回っています。

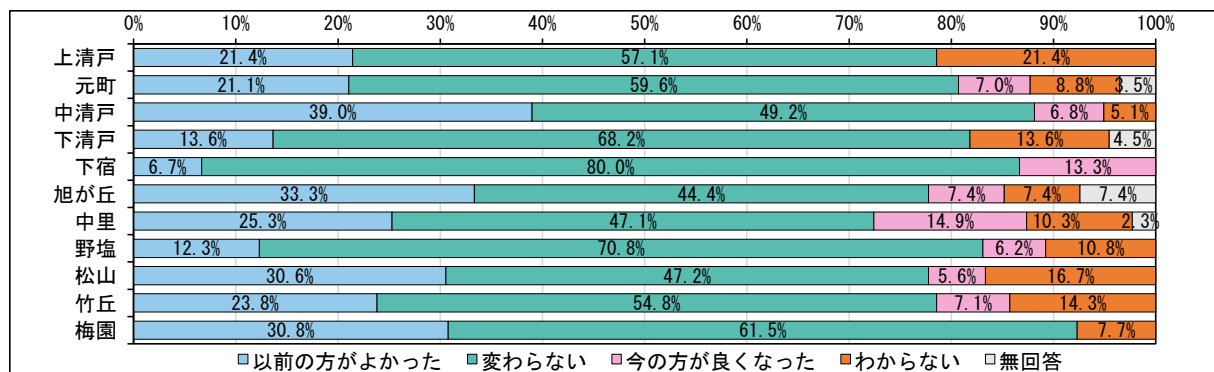
③まちの静かさ

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 以前の方がよかった	107	24.3%
② 変わらない	246	55.9%
③ 今の方が良くなった	34	7.7%
④ わからない	45	10.2%
無回答	8	1.8%
合計	440	100%

「②変わらない」が55.9%と半数以上を占めています。



【クロス集計(地域別)】

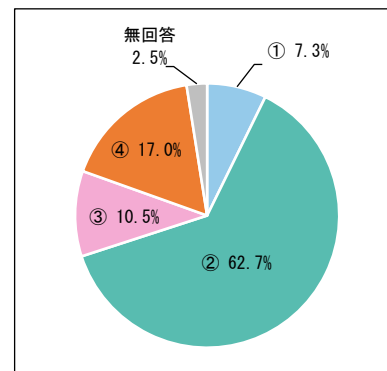


全ての地域で「②変わらない」が最も高く、特に下宿・野塩地域は7割以上を占めています。また、下宿地域を除いた地域で「①以前の方がよかった」が「③今の方が良くなった」を上回っています。

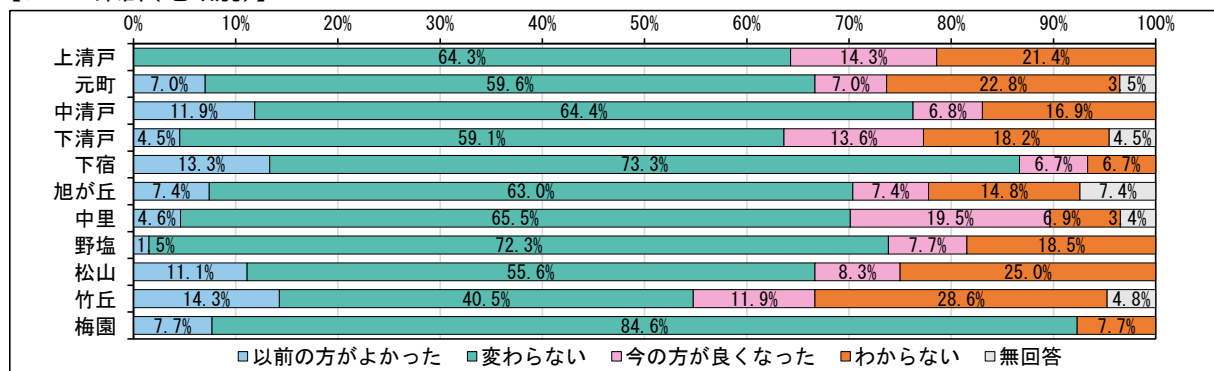
④臭いの状況

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 以前の方がよかった	32	7.3%
② 変わらない	276	62.7%
③ 今の方が良くなった	46	10.5%
④ わからない	75	17.0%
無回答	11	2.5%
合計	440	100%

「②変わらない」が62.7%と半数以上を占めています。



【クロス集計(地域別)】

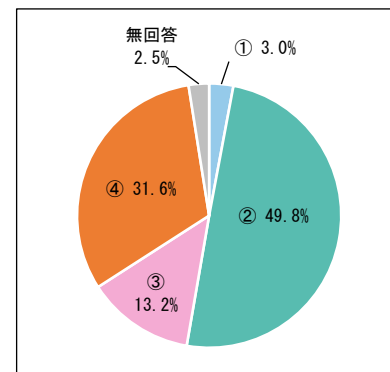


全ての地域で「②変わらない」が最も高く、特に梅園・下宿・野塩地域で7割以上を占めています。

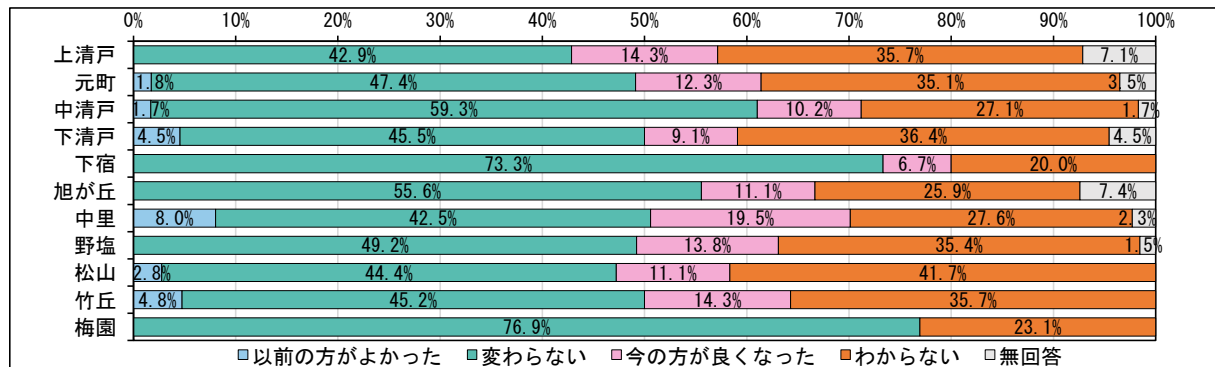
⑤水等の循環利用や節水の推進

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 以前の方がよかった	13	3.0%
② 変わらない	219	49.8%
③ 今の方が良くなった	58	13.2%
④ わからない	139	31.6%
無回答	11	2.5%
合計	440	100%

「②変わらない」が49.8%と最も高く、次いで「④わからない」が31.6%となっています。



【クロス集計(地域別)】

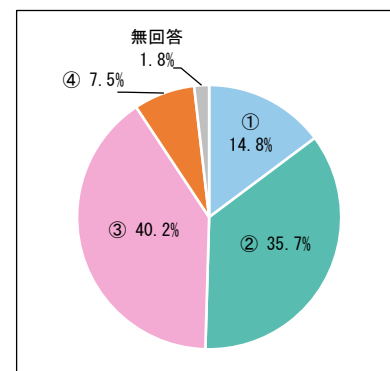


全ての地域で「②変わらない」が最も高く、特に梅園・下宿地域で7割以上を占めています。また、全ての地域で次いで「④わからない」が占めており、特に松山地域では4割以上を占めています。

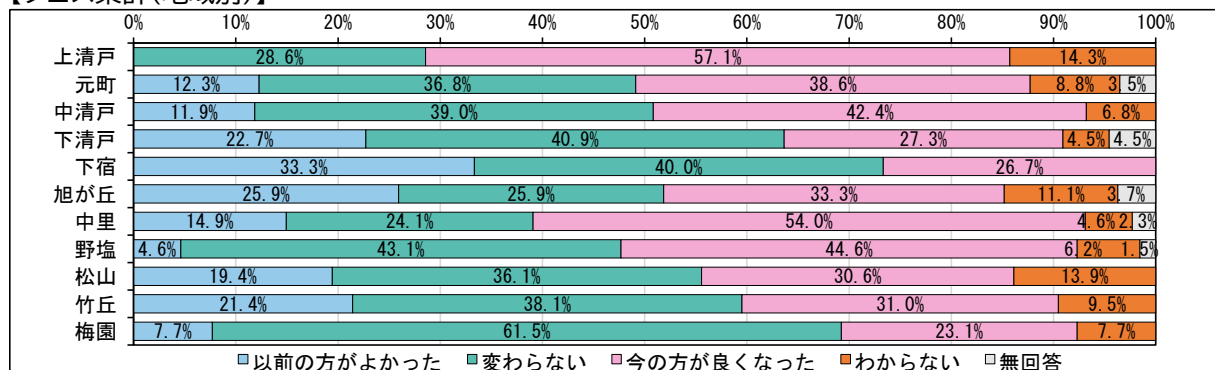
⑥ごみ出しなどのマナーや分別収集

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 以前の方がよかった	65	14.8%
② 変わらない	157	35.7%
③ 今の方が良くなった	177	40.2%
④ わからない	33	7.5%
無回答	8	1.8%
合計	440	100%

「③今の方が良くなった」が40.2%と最も高く、次いで「②変わらない」が35.7%となっています。



【クロス集計(地域別)】

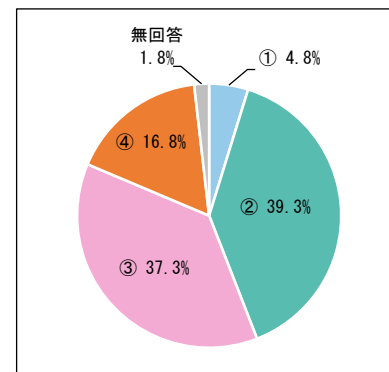


下宿地域を除いた地域で、「③今の方が良くなった」が「①以前の方がよかった」を上回っています。

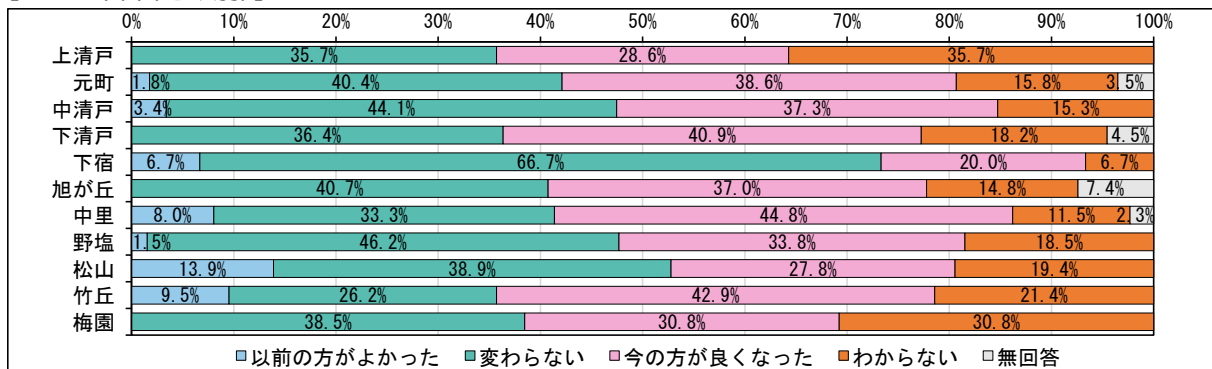
⑦ごみの減量やリサイクルの推進

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 以前の方がよかった	21	4.8
② 変わらない	173	39.3
③ 今の方が良くなった	164	37.3
④ わからない	74	16.8
無回答	8	1.8
合計	440	100%

「②変わらない」が39.3%と最も高く、次いで「③今の方が良くなった」が37.3%となっています。



【クロス集計(地域別)】

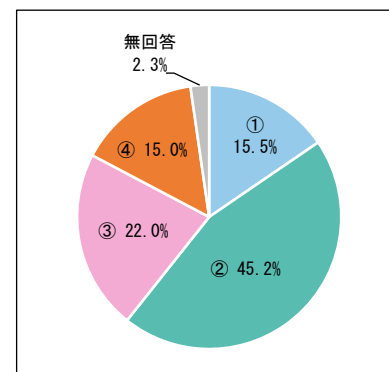


下清戸・中里・竹丘地域を除いた地域で、「②変わらない」が最も高く、特に下宿地域では 6 割以上を占めています。また、全ての地域で「②変わらない」「③今の方が良くなった」が「①以前の方がよかった」を 2 倍以上上回っています。

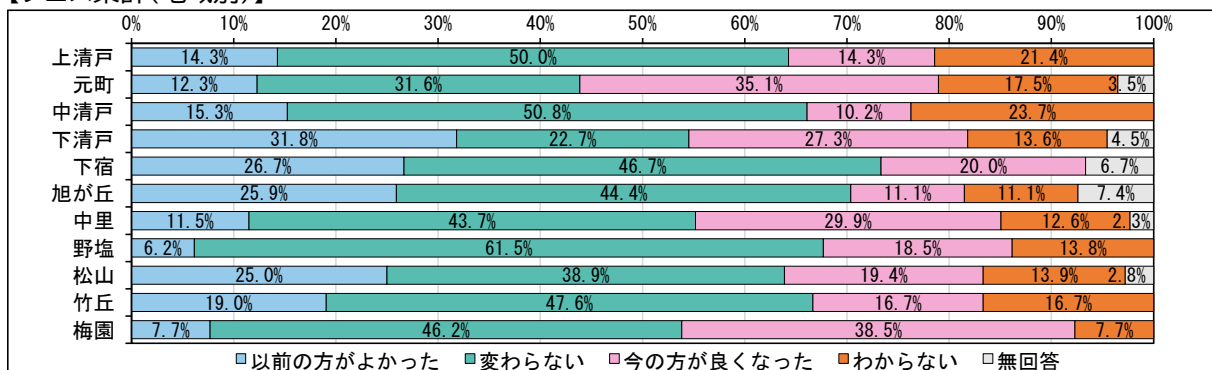
⑧ポイ捨てや不法投棄の状況

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 以前の方がよかった	68	15.5
② 変わらない	199	45.2
③ 今の方が良くなった	97	22.0
④ わからない	66	15.0
無回答	10	2.3
合計	440	100%

「②変わらない」が45.2%と最も高く、次いで「③今の方が良くなった」が22.0%となっています。



【クロス集計(地域別)】

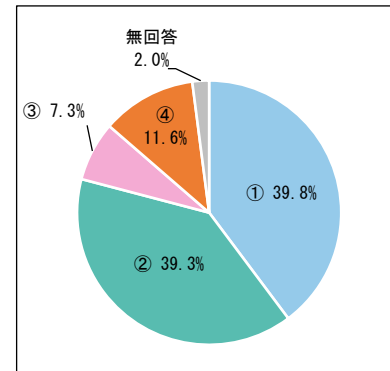


下清戸地域を除いた地域で、「②変わらない」が最も高く、特に上清戸・中清戸・野塩地域が 5 割以上を占めています。

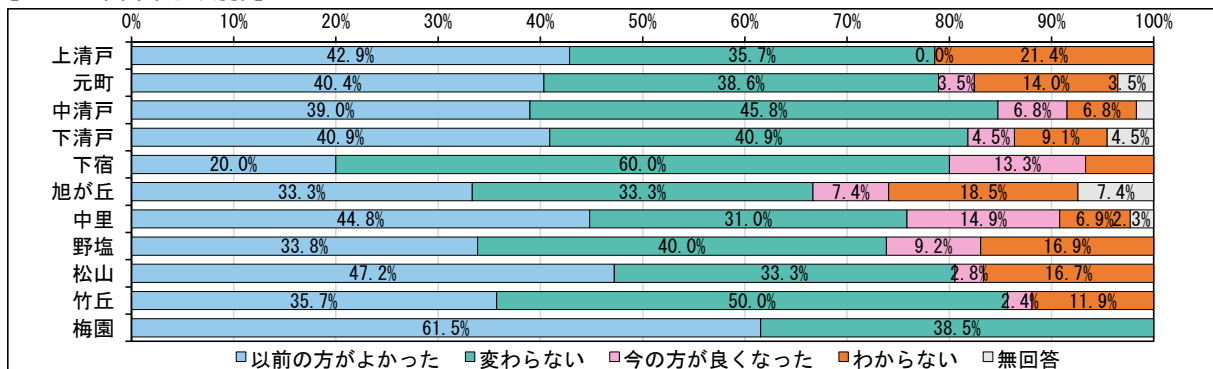
⑨雑木林や畑の緑の豊かさ

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 以前の方がよかった	175	39.8%
② 変わらない	173	39.3%
③ 今の方が良くなった	32	7.3%
④ わからない	51	11.6%
無回答	9	2.0%
合計	440	100%

「①以前の方がよかった」が39.8%と最も高く、次いで「②変わらない」が39.3%となっています。



【クロス集計(地域別)】

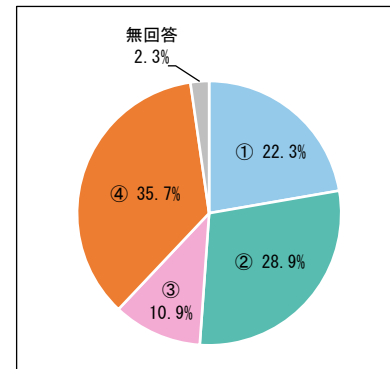


下宿・野塩・竹丘地域を除いた地域で、「①以前の方がよかった」が最も高く、特に梅園地域では 6 割以上を占めています。

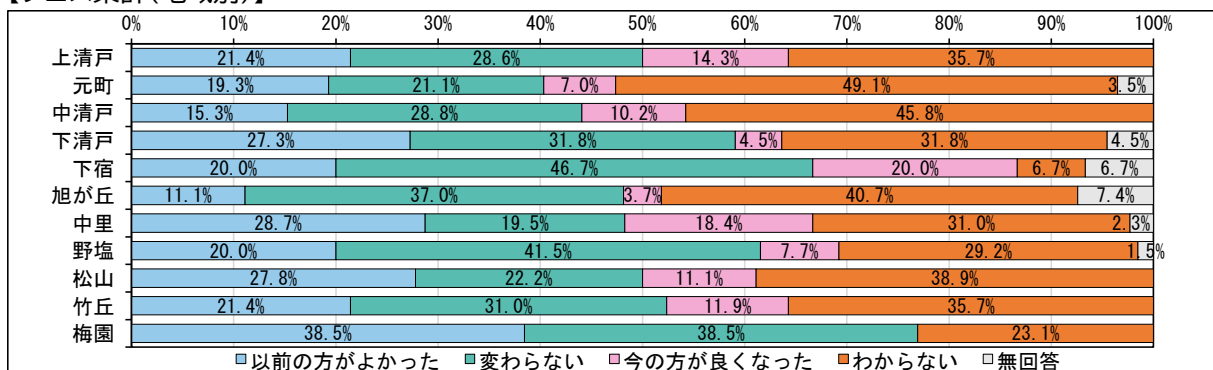
⑩身近な水辺や緑地に生息する生き物の数

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 以前の方がよかった	98	22.3%
② 変わらない	127	28.9%
③ 今の方が良くなった	48	10.9%
④ わからない	157	35.7%
無回答	10	2.3%
合計	440	100%

「④わからない」が35.7%と最も高く、次いで「②変わらない」が28.9%となっています。



【クロス集計(地域別)】

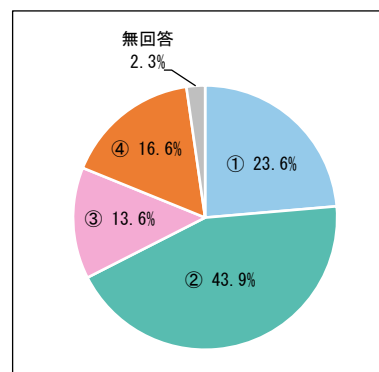


下宿・梅園地域を除いた地域で、「④わからない」が最も高く、特に元町・中清戸・旭が丘地域で 4 割以上を占めています。

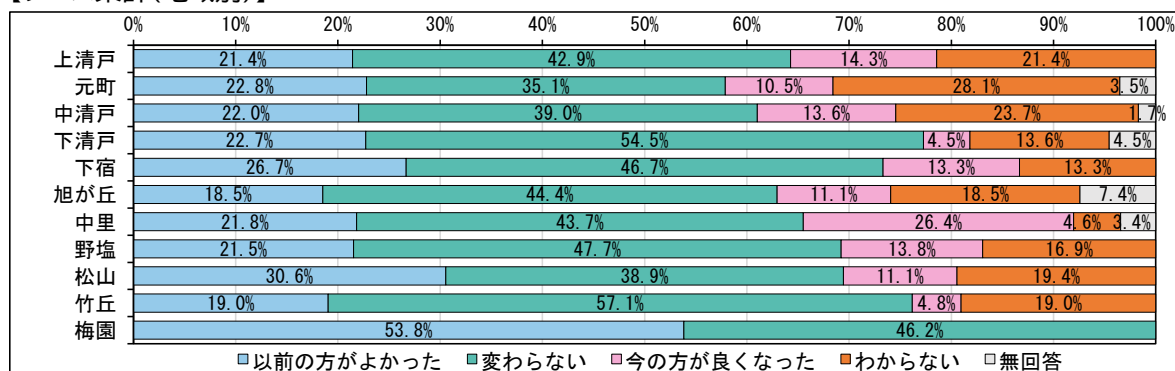
⑪身近な自然とふれある場所や機会

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 以前の方がよかった	104	23.6%
② 変わらない	193	43.9%
③ 今の方が良くなった	60	13.6%
④ わからない	73	16.6%
無回答	10	2.3%
合計	440	100%

「②変わらない」が43.9%と最も高く、次いで「①以前の方がよかった」が23.6%となっています。



【クロス集計(地域別)】

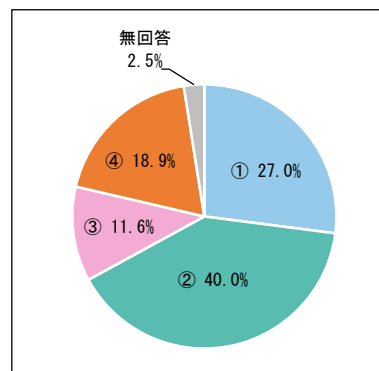


梅園を除いた地域で「②変わらない」が最も高く、特に下清戸・竹丘地域では5割以上を占めています。また、中里地域を除いた地域で、「①以前の方がよかった」が「③今の方が良くなった」を上回っています。

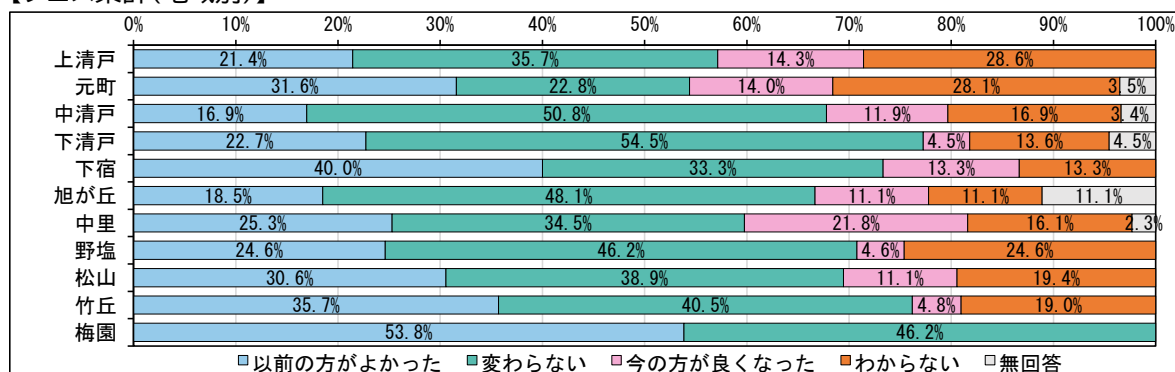
⑫身近な公園や広場の使いやすさ

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 以前の方がよかった	119	27.0%
② 変わらない	176	40.0%
③ 今の方が良くなった	51	11.6%
④ わからない	83	18.9%
無回答	11	2.5%
合計	440	100%

「②変わらない」が40.0%と最も高く、次いで「①以前の方がよかった」が27.0%となっています。



【クロス集計(地域別)】

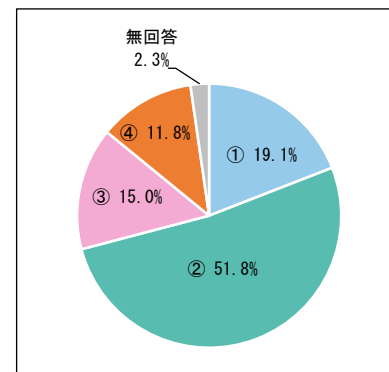


元町・下宿・梅園地域を除いた地域で、「②変わらない」が最も高く、特に中清戸・下清戸が5割以上を占めています。

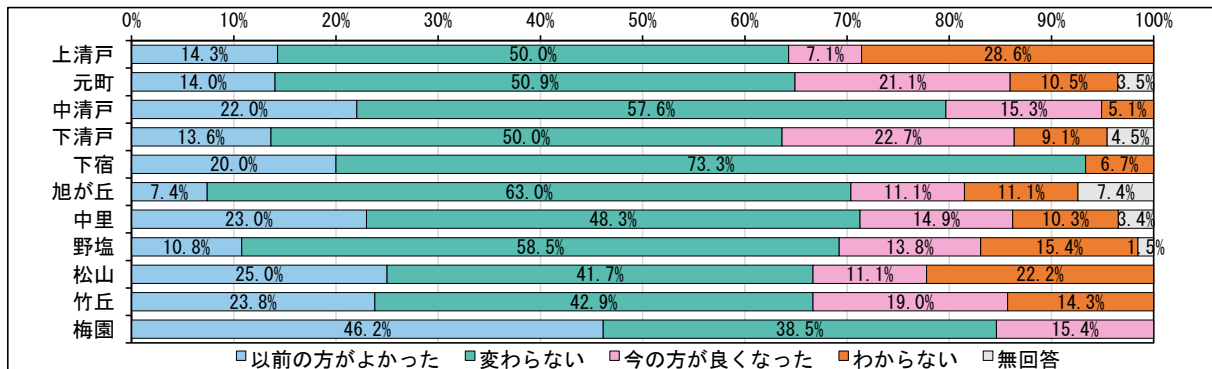
⑬安全で快適な歩行、自転車利用の空間

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 以前の方がよかった	84	19.1%
② 変わらない	228	51.8%
③ 今の方が良くなった	66	15.0%
④ わからない	52	11.8%
無回答	10	2.3%
合計	440	100%

「②変わらない」が51.8%と半数以上を占めています。



【クロス集計(地域別)】

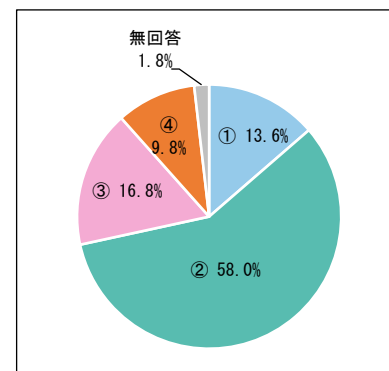


梅園地域を除いた地域で、「②変わらない」が最も高く、特に下宿地域が 7 割以上を占めています。また、元町・下清戸・旭が丘・野塩地域では、「③今の方が良くなった」が「①以前の方が良かった」を上回っています。

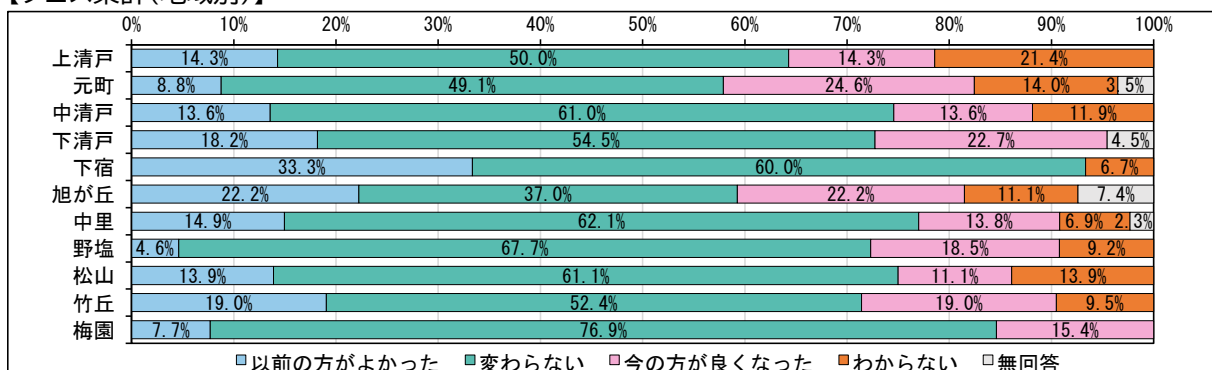
⑭公共交通の利便性

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 以前の方がよかった	60	13.6%
② 変わらない	255	58.0%
③ 今の方が良くなった	74	16.8%
④ わからない	43	9.8%
無回答	8	1.8%
合計	440	100%

「②変わらない」が58.0%と半数以上を占めています。



【クロス集計(地域別)】

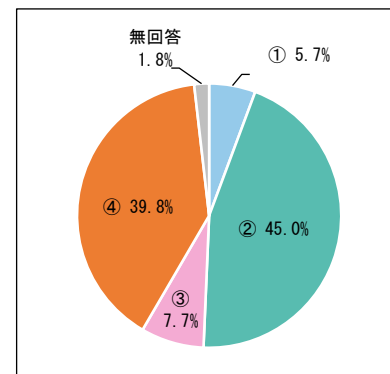


全ての地域で、「②変わらない」が最も高く、特に梅園地域が 7 割以上を占めています。また、元町・下清戸・野塩・梅園地域では、「③今の方が良くなった」が「①以前の方が良かった」を上回っています。

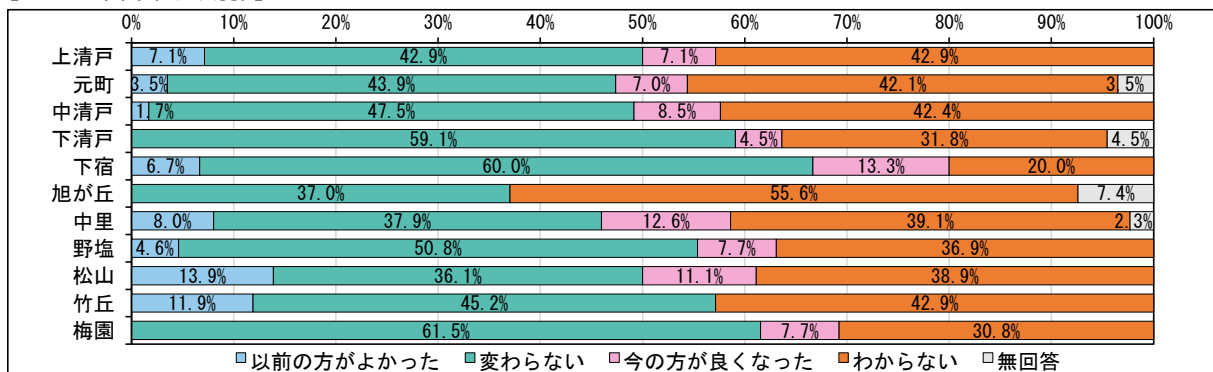
⑮歴史的・文化的遺産の保護

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 以前の方がよかった	25	5.7%
② 変わらない	198	45.0%
③ 今の方が良くなった	34	7.7%
④ わからない	175	39.8%
無回答	8	1.8%
合計	440	100%

「②変わらない」が45.0%と最も高く、次いで「④わからない」が39.8%となっています。



【クロス集計(地域別)】

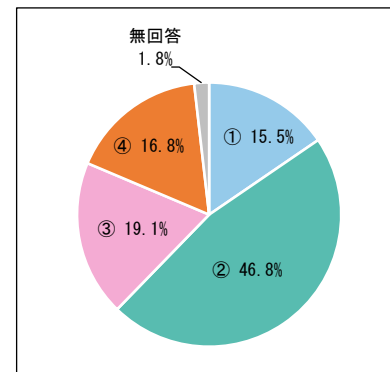


旭が丘・中里・松山地域を除いた地域で、「②変わらない」が最も高く、特に下宿・梅園地域が 6 割以上を占めています。次いで「④わからない」が多く、特に旭が丘地域が 5 割以上を占めています。

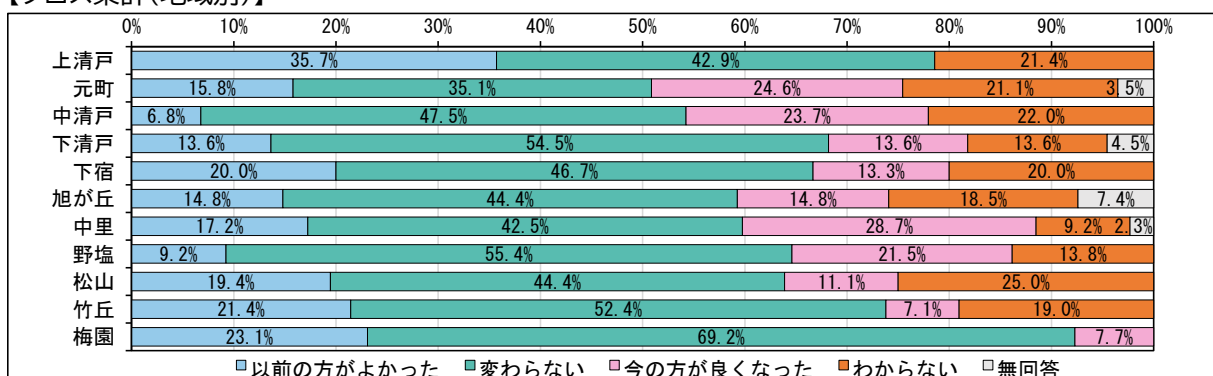
⑯水辺や街並みの景観、美しさ

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 以前の方がよかった	68	15.5%
② 変わらない	206	46.8%
③ 今の方が良くなった	84	19.1%
④ わからない	74	16.8%
無回答	8	1.8%
合計	440	100%

「②変わらない」が46.8%と最も高く、次いで「③今の方が良くなった」が19.1%となっています。



【クロス集計(地域別)】

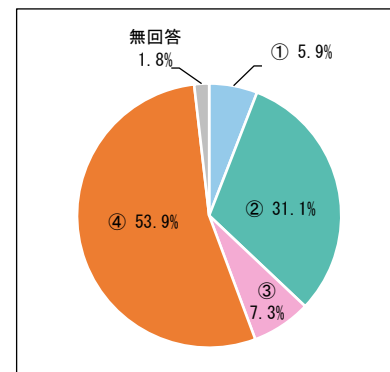


全ての地域で、「②変わらない」が最も高く、特に梅園地域が 6 割以上を占めています。また、元町・中清戸・中里・野塩地域では、「③今の方が良くなった」が「①以前の方が良かった」を上回っています。

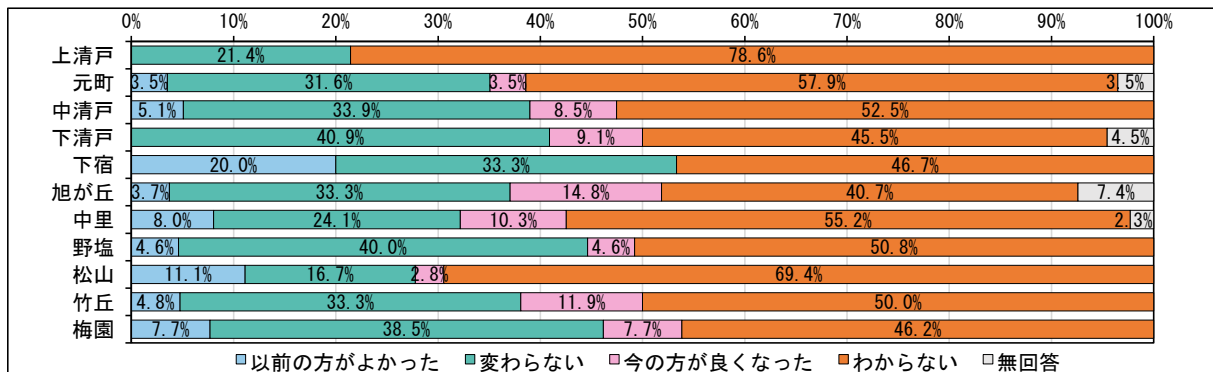
⑩学校や地域での環境学習

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 以前の方がよかった	26	5.9%
② 変わらない	137	31.1%
③ 今の方が良くなった	32	7.3%
④ わからない	237	53.9%
無回答	8	1.8%
	440	100%

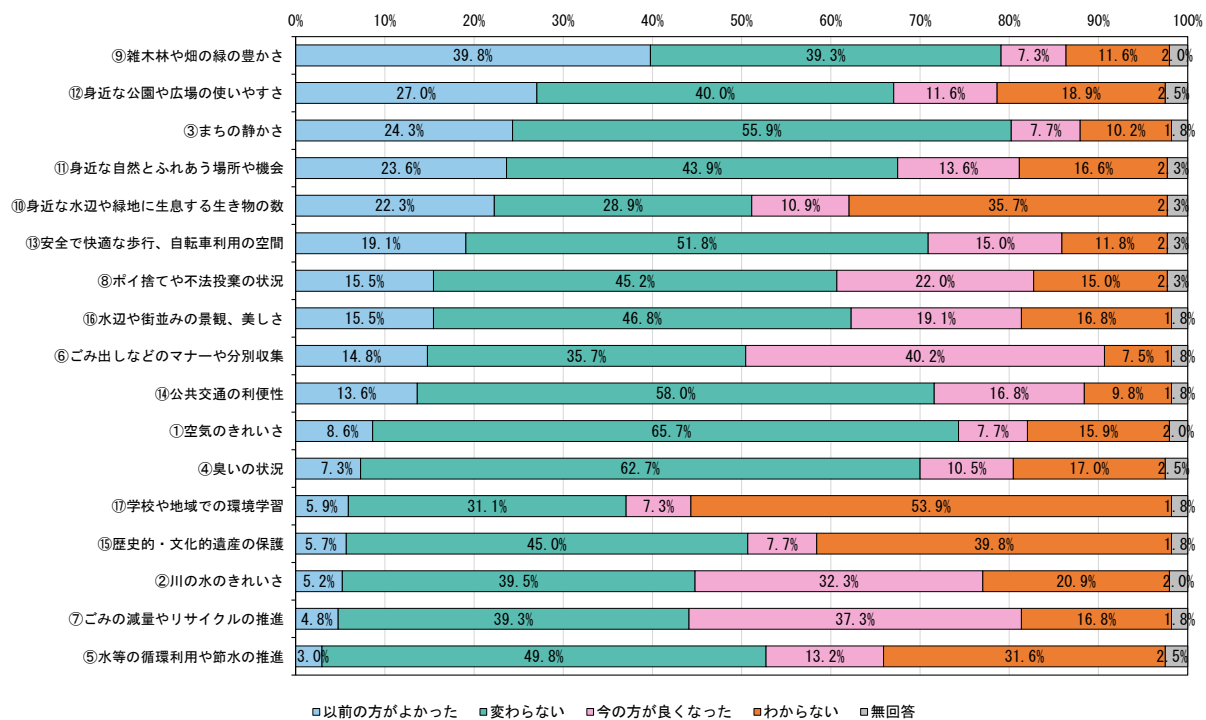
「④わからない」が53.9%と半数以上を占めています。



【クロス集計(地域別)】



全ての地域で、「④わからない」が最も高く、特に上清戸地域が 7 割以上を占めています。次いで「②変わらない」が多く、特に下清戸・野塩地域が 4 割以上を占めています。

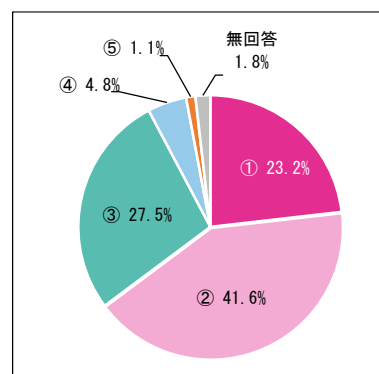


2)あなたの住んでいる地域の環境の満足度についてお聞かせください。あなたのお考えに最も近いものを1～5の中から1つ選び、○をつけてください。(それぞれ1つに○)

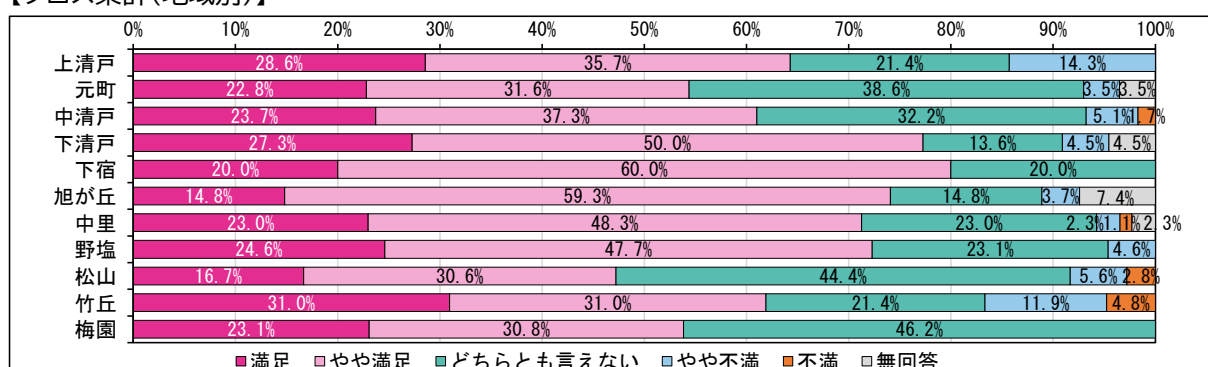
①空気のきれいさ

選択肢	回答者数	割合(%)
① 満足	102	23.2%
② やや満足	183	41.6%
③ どちらとも言えない	121	27.5%
④ やや不満	21	4.8%
⑤ 不満	5	1.1%
無回答	8	1.8%
合計	440	100.0%

「②やや満足」が41.6%と最も高く、次いで「③どちらとも言えない」が27.5%となっています。



【クロス集計(地域別)】

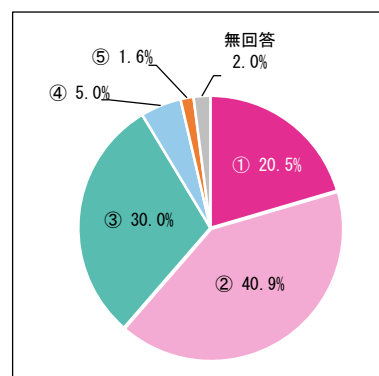


松山地域を除いた地域で、「①満足」と「②やや満足」の合計が 5 割以上を占めています。

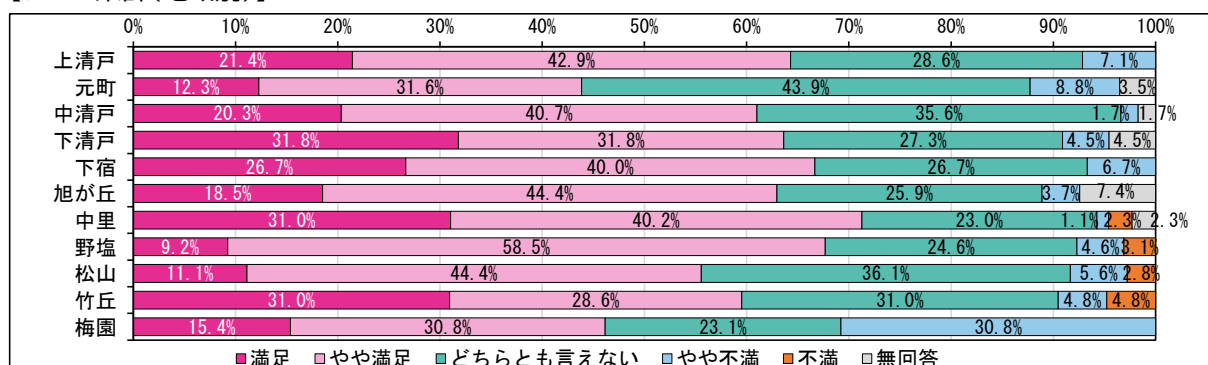
②川の水のきれいさ

選択肢	回答者数	割合(%)
① 満足	90	20.5%
② やや満足	180	40.9%
③ どちらとも言えない	132	30.0%
④ やや不満	22	5.0%
⑤ 不満	7	1.6%
無回答	9	2.0%
合計	440	100.0%

「②やや満足」が40.9%と最も高く、次いで「③どちらとも言えない」が30.0%となっています。



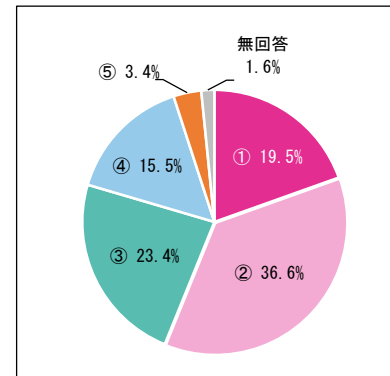
【クロス集計(地域別)】



元町・梅園地域を除いた地域で、「①満足」「②やや満足」の合計が 5 割以上を占めています。

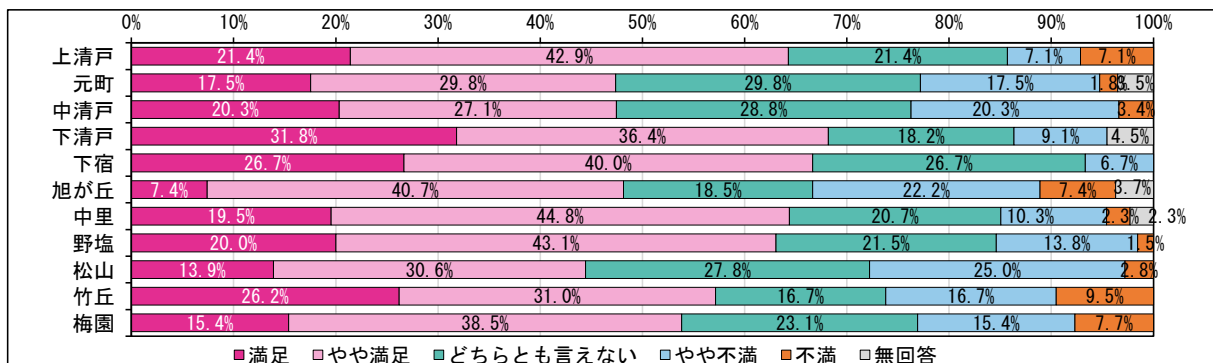
③まちの静かさ

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 満足	86	19.5%
② やや満足	161	36.6%
③ どちらとも言えない	103	23.4%
④ やや不満	68	15.5%
⑤ 不満	15	3.4%
無回答	7	1.6%
合計	440	100.0%



「②やや満足」が36.6%と最も高く、次いで「③どちらとも言えない」が23.4%となっています。

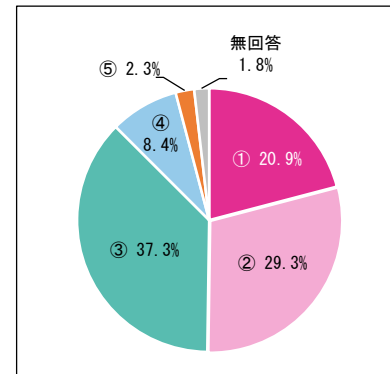
【クロス集計(地域別)】



元町・中清戸・旭が丘・松山地域を除いた地域で、「①満足」「②やや満足」の合計が 5 割以上を占めています。

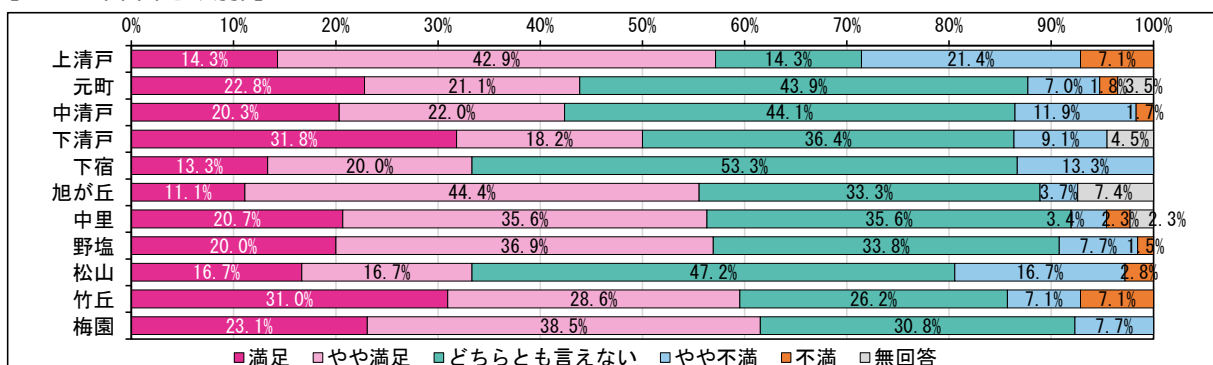
④臭いの状況

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 満足	92	20.9%
② やや満足	129	29.3%
③ どちらとも言えない	164	37.3%
④ やや不満	37	8.4%
⑤ 不満	10	2.3%
無回答	8	1.8%
合計	440	100.0%



「③どちらとも言えない」が37.3%と最も高く、次いで「②やや満足」が29.3%となっています。

【クロス集計(地域別)】

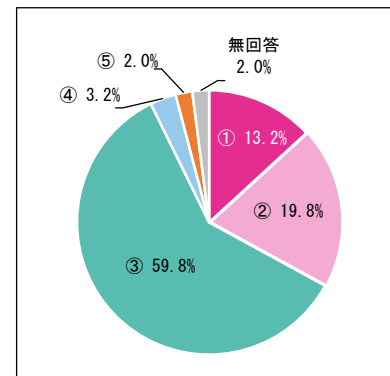


元町・中清戸・下宿・松山地域を除いた地域で、「①満足」「②やや満足」の合計が 5 割以上を占めています。

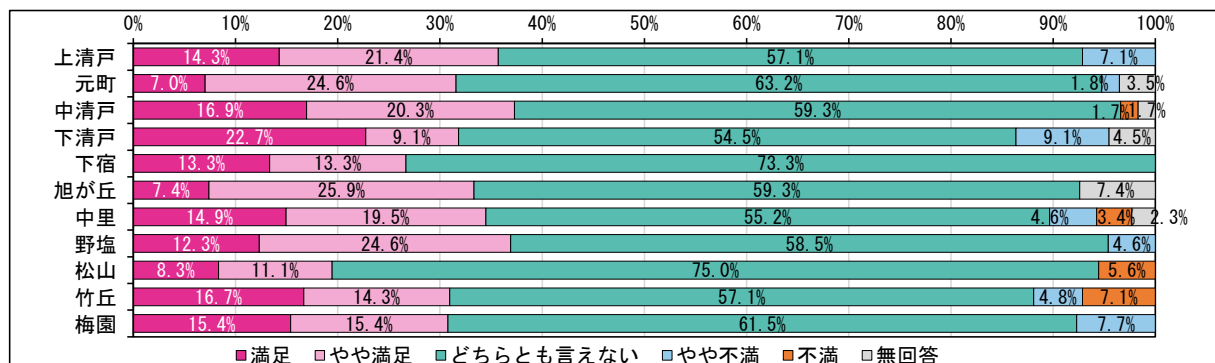
⑤水等の循環利用や節水の推進

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 満足	58	13.2%
② やや満足	87	19.8%
③ どちらとも言えない	263	59.8%
④ やや不満	14	3.2%
⑤ 不満	9	2.0%
無回答	9	2.0%
合計	440	100.0%

「③どちらとも言えない」が59.8%と半数以上を占めています。



【クロス集計(地域別)】

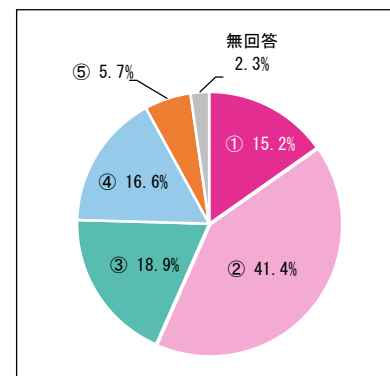


全ての地域で「③どちらとも言えない」が最も高く、特に下宿・松山地域が 7 割以上を占めています。また、下宿・松山地域を除いた地域で、「①満足」「②やや満足」の合計が 3 割以上を占めています。

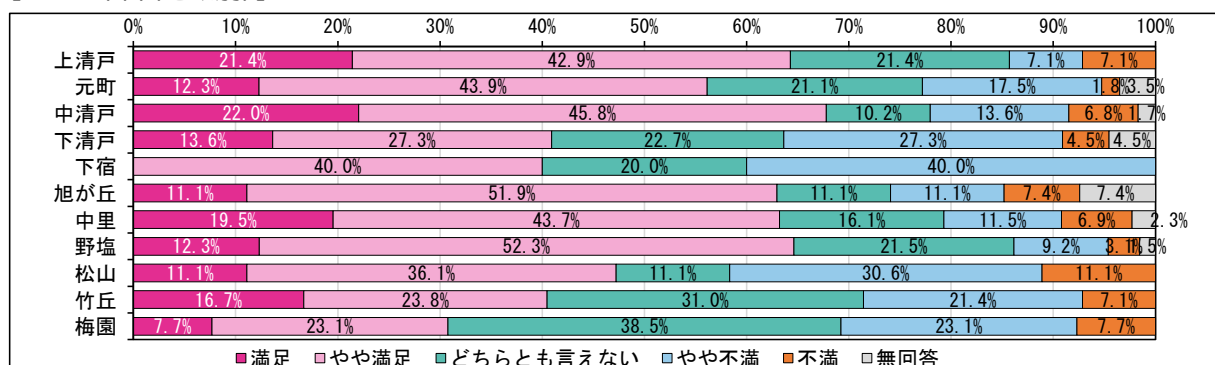
⑥ごみ出しなどのマナーや分別収集

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 満足	67	15.2%
② やや満足	182	41.4%
③ どちらとも言えない	83	18.9%
④ やや不満	73	16.6%
⑤ 不満	25	5.7%
無回答	10	2.3%
合計	440	100.0%

「②やや満足」が41.4%と最も高く、次いで「③どちらとも言えない」が18.9%となっています。



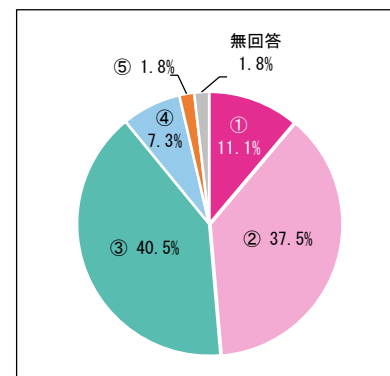
【クロス集計(地域別)】



下清戸・下宿・松山・竹丘・梅園地域を除いた地域で「①満足」「②やや満足」の合計が 5 割以上を占めており、梅園地域以外では 4 割以上を占めています。

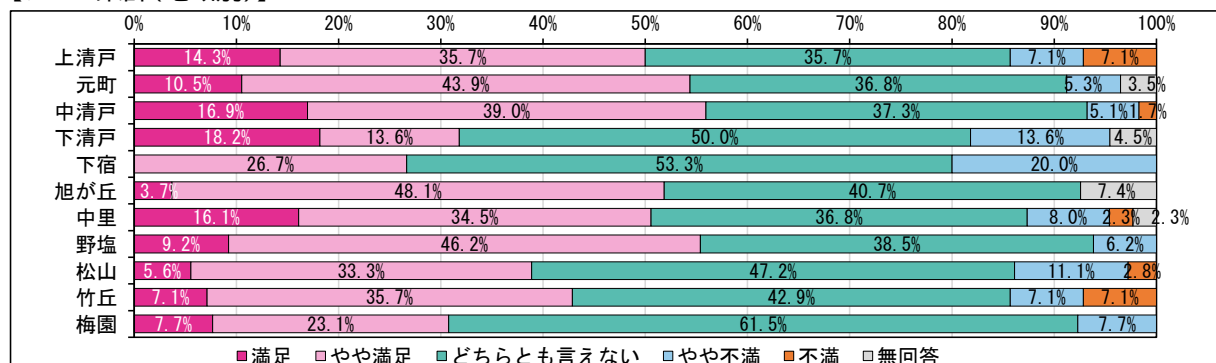
⑦ごみの減量やリサイクルの推進

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 満足	49	11.1%
② やや満足	165	37.5%
③ どちらとも言えない	178	40.5%
④ やや不満	32	7.3%
⑤ 不満	8	1.8%
無回答	8	1.8%
合計	440	100.0%



「③どちらとも言えない」が40.5%と最も高く、次いで「②やや満足」が37.5%となっています。

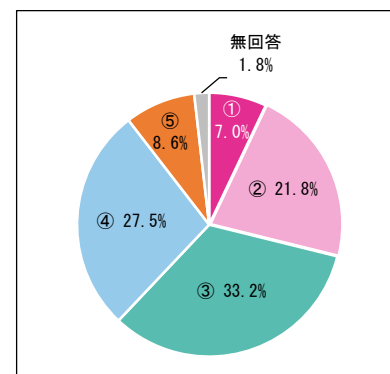
【クロス集計(地域別)】



下清戸・下宿・松山・竹丘・梅園地域を除いた地域で「①満足」「②やや満足」の合計が 5 割以上を占めており、下宿地域以外では 3 割以上を占めています。

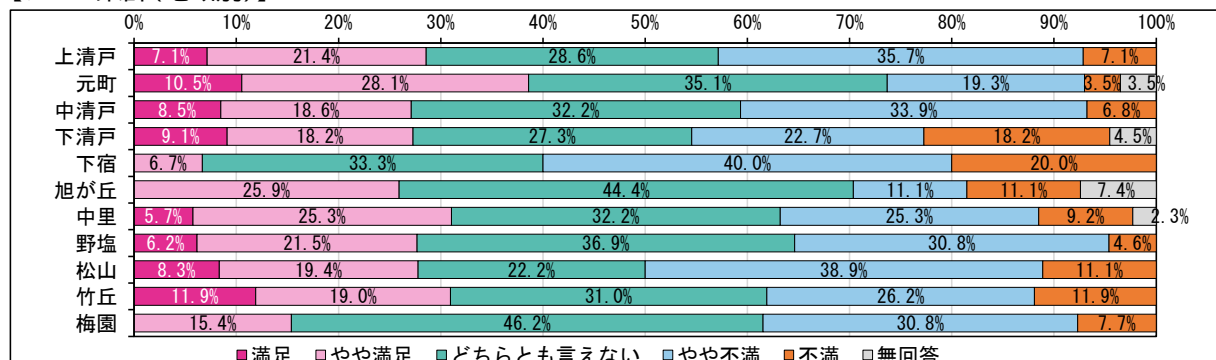
⑧ポイ捨てや不法投棄の状況

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 満足	31	7.0%
② やや満足	96	21.8%
③ どちらとも言えない	146	33.2%
④ やや不満	121	27.5%
⑤ 不満	38	8.6%
無回答	8	1.8%
合計	440	100.0%



「③どちらとも言えない」が33.2%と最も高く、次いで「④やや不満」が27.5%となっています。

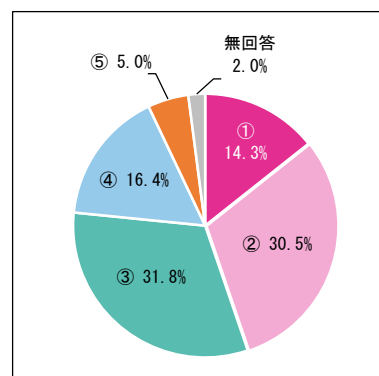
【クロス集計(地域別)】



元町・旭が丘地域を除いた地域で「④やや不満」「⑤不満」の合計が 3 割以上を占めており、特に下宿・松山地域では 5 割以上を占めています。

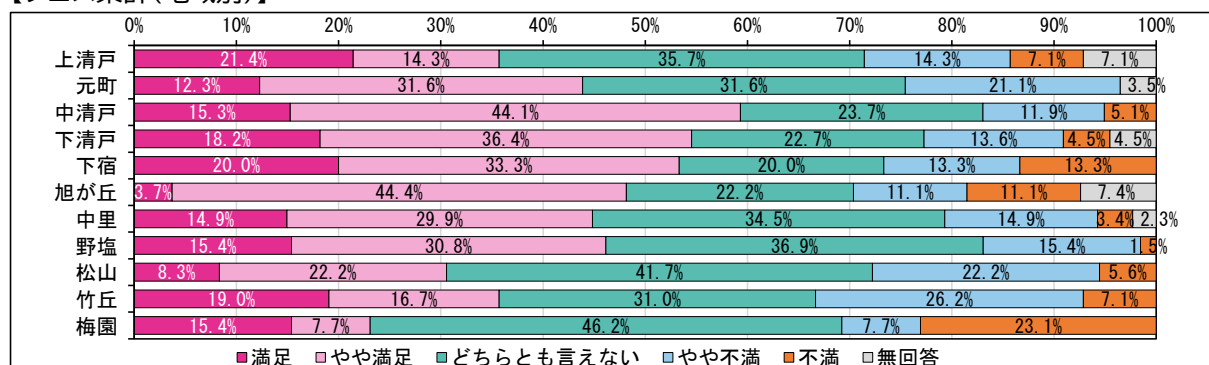
⑨雑木林や畑の緑の豊かさ

選択肢	回答者数	割合(%)
① 満足	63	14.3%
② やや満足	134	30.5%
③ どちらとも言えない	140	31.8%
④ やや不満	72	16.4%
⑤ 不満	22	5.0%
無回答	9	2.0%
合計	440	100.0%



「③どちらとも言えない」が31.8%と最も高く、次いで「②やや満足」が30.5%となっています。

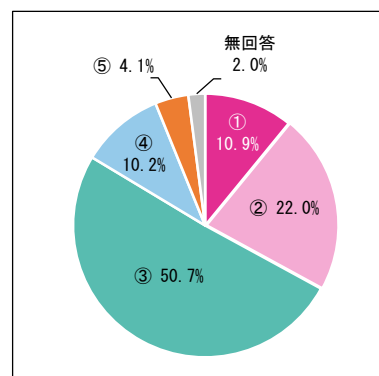
【クロス集計(地域別)】



上清戸・松山・竹丘・梅園地域以外の地域で「①満足」「②やや満足」の合計が 4 割以上を占めており、特に中清戸・下清戸・下宿地域では 5 割以上を占めています。

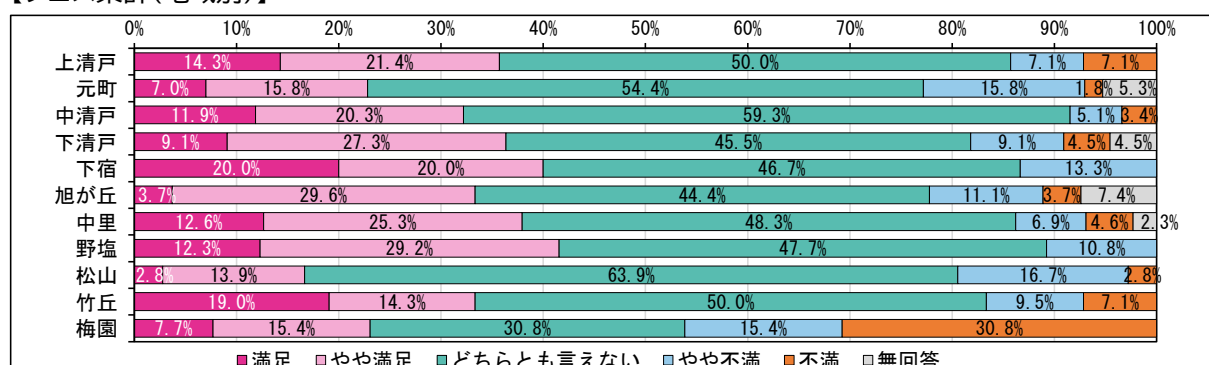
⑩身近な水辺や緑地に生息する生き物の数

選択肢	回答者数	割合(%)
① 満足	48	10.9%
② やや満足	97	22.0%
③ どちらとも言えない	223	50.7%
④ やや不満	45	10.2%
⑤ 不満	18	4.1%
無回答	9	2.0%
合計	440	100.0%



「③どちらとも言えない」が50.7%と半数以上を占めています。

【クロス集計(地域別)】

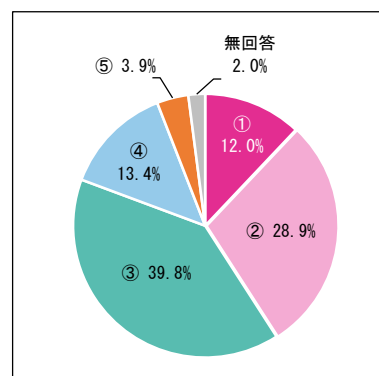


元町・松山・梅園地域以外の地域で「①満足」「②やや満足」の合計が 3 割以上を占めており、特に下宿・野塩地域では 4 割以上を占めています。

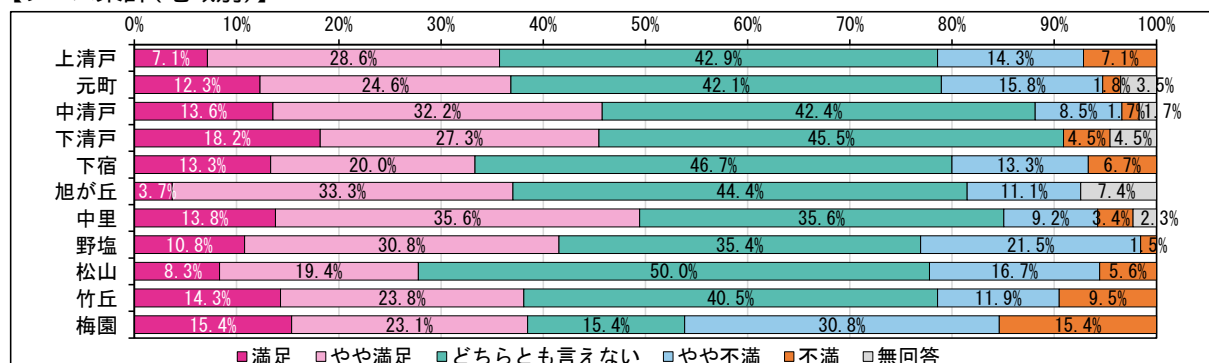
⑪身近な自然とふれある場所や機会

選択肢	回答者数	割合(%)
① 満足	53	12.0%
② やや満足	127	28.9%
③ どちらとも言えない	175	39.8%
④ やや不満	59	13.4%
⑤ 不満	17	3.9%
無回答	9	2.0%
合計	440	100.0%

「③どちらとも言えない」が39.8%と最も高く、次いで「②やや満足」が28.9%となっています。



【クロス集計(地域別)】

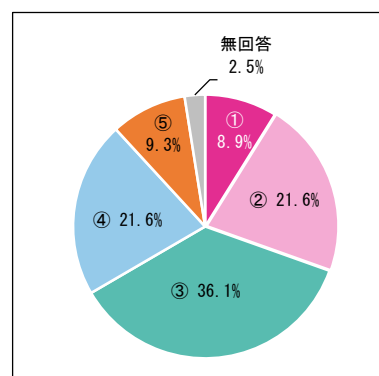


松山地域を除いた地域で「①満足」「②やや満足」の合計が 3 割以上を占めており、特に中清戸・下清戸・中里・野塩地域では 4 割以上を占めています。

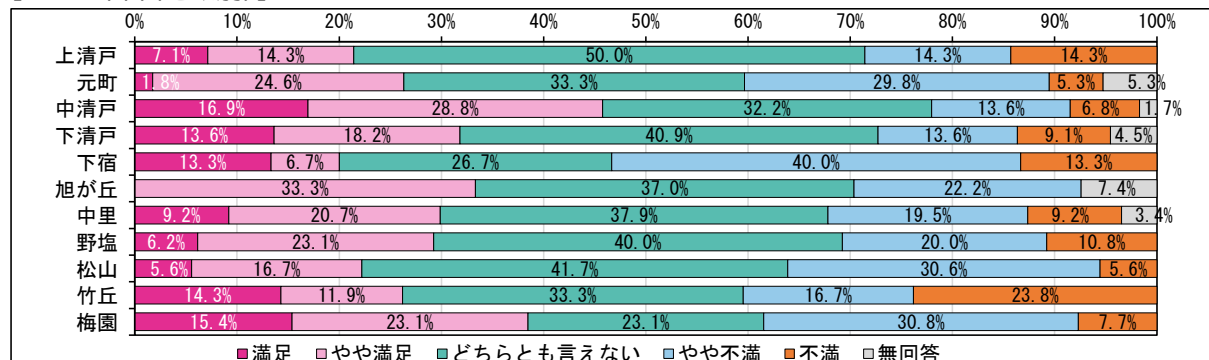
⑫身近な公園や広場の使いやすさ

選択肢	回答者数	割合(%)
① 満足	39	8.9%
② やや満足	95	21.6%
③ どちらとも言えない	159	36.1%
④ やや不満	95	21.6%
⑤ 不満	41	9.3%
無回答	11	2.5%
合計	440	100.0%

「③どちらとも言えない」が36.1%と最も高く、次いで「②やや満足」「④やや不満」が21.6%となっています。



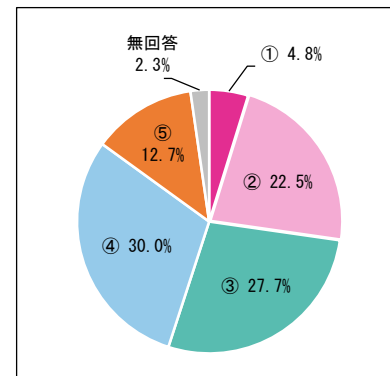
【クロス集計(地域別)】



上清戸・中清戸・下清戸・旭が丘・中里地域を除いた地域で「④やや不満」「⑤不満」の合計が 3 割以上を占めており、特に下宿・竹丘地域では 5 割以上を占めています。

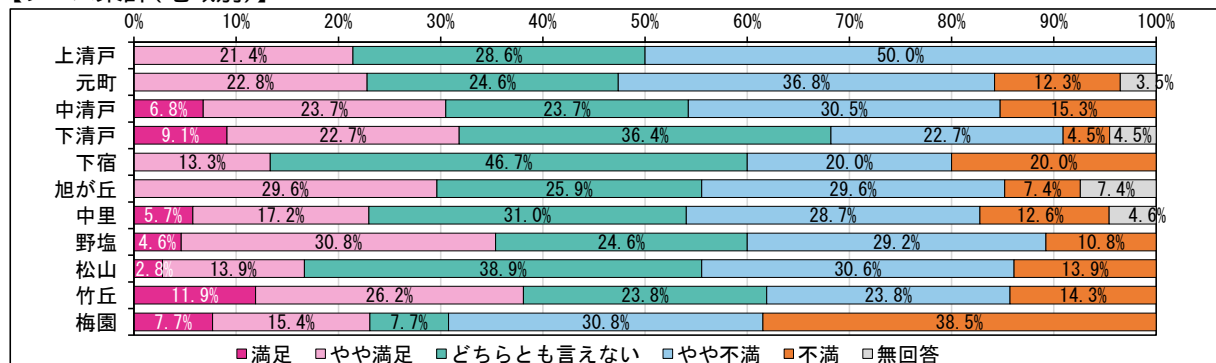
⑬安全で快適な歩行、自転車利用の空間

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 満足	21	4.8%
② やや満足	99	22.5%
③ どちらとも言えない	122	27.7%
④ やや不満	132	30.0%
⑤ 不満	56	12.7%
無回答	10	2.3%
合計	440	100.0%



「④やや不満」が30.0%と最も高く、次いで「③どちらとも言えない」が27.7%となっています。

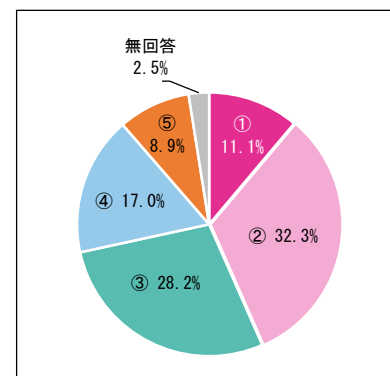
【クロス集計(地域別)】



下清戸地域を除いた地域で「④やや不満」「⑤不満」の合計が 3 割以上を占めており、特に上清戸・梅園地域では 5 割以上を占めています。

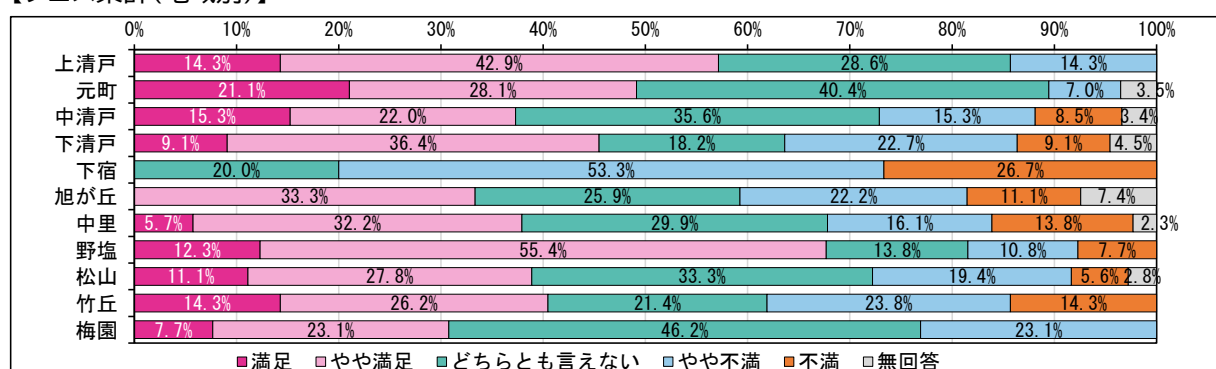
⑭公共交通の利便性

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 満足	49	11.1%
② やや満足	142	32.3%
③ どちらとも言えない	124	28.2%
④ やや不満	75	17.0%
⑤ 不満	39	8.9%
無回答	11	2.5%
合計	440	100.0%



「②やや満足」が32.3%と最も高く、次いで「③どちらとも言えない」が28.2%となっています。

【クロス集計(地域別)】

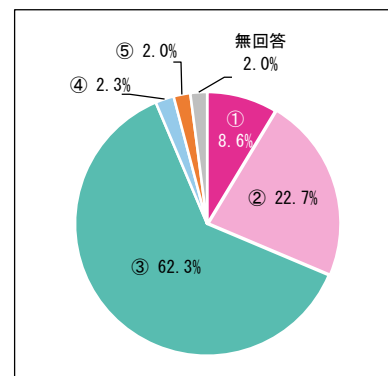


下宿地域を除いた地域で「①満足」「②やや満足」の合計が 3 割以上を占めており、特に上清戸・野塩地域では 5 割以上を占めています。

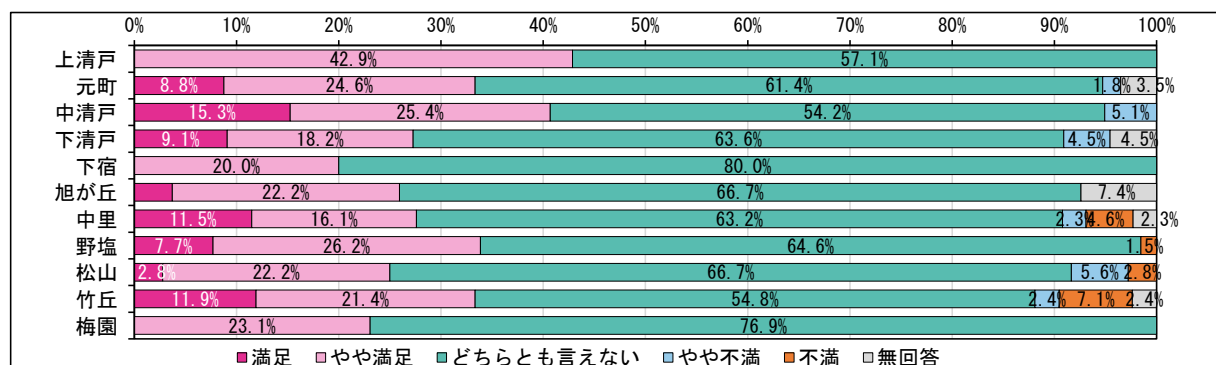
⑮歴史的・文化的遺産の保護

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 満足	38	8.6%
② やや満足	100	22.7%
③ どちらとも言えない	274	62.3%
④ やや不満	10	2.3%
⑤ 不満	9	2.0%
無回答	9	2.0%
合計	440	100.0%

「③どちらとも言えない」が62.3%と半数以上を占めています。



【クロス集計(地域別)】

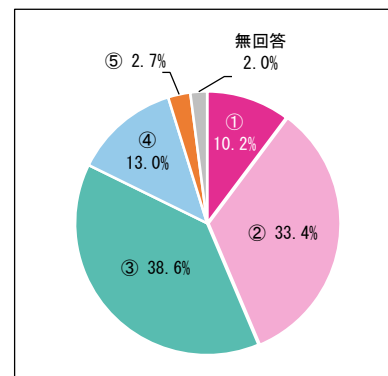


全ての地域で「③どちらとも言えない」が最も高く 5 割以上を占めています。また、「①満足」「②やや満足」の合計は、上清戸・中清戸地域では 4 割以上を占め、元町・野塩・竹丘地域では 3 割以上を占めています。

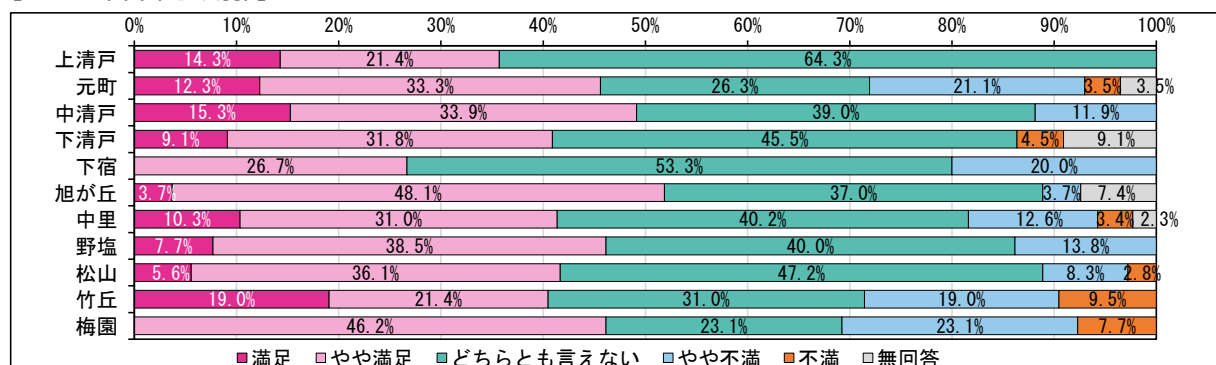
⑯水辺や街並みの景観、美しさ

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 満足	45	10.2%
② やや満足	147	33.4%
③ どちらとも言えない	170	38.6%
④ やや不満	57	13.0%
⑤ 不満	12	2.7%
無回答	9	2.0%
合計	440	100.0%

「③どちらとも言えない」が38.6%と最も高く、次いで「②やや満足」が33.4%となっています。



【クロス集計(地域別)】

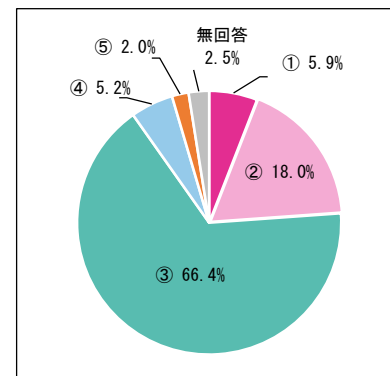


上清戸・下宿地域を除いた地域で「①満足」「②やや満足」の合計が 4 割以上を占めており、特に旭が丘地域では 5 割以上を占めています。

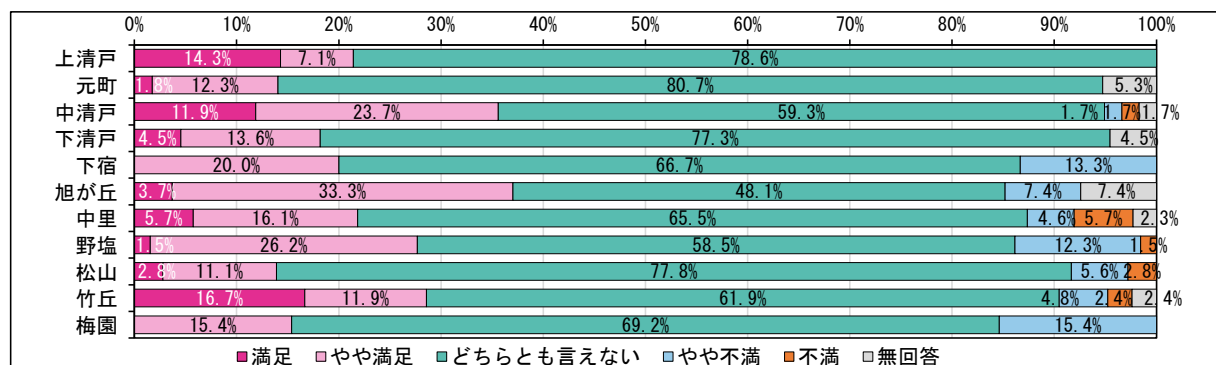
⑩学校や地域での環境学習

選択肢	回答者数	割合(%)
① 満足	26	5.9%
② やや満足	79	18.0%
③ どちらとも言えない	292	66.4%
④ やや不満	23	5.2%
⑤ 不満	9	2.0%
無回答	11	2.5%
合計	440	100.0%

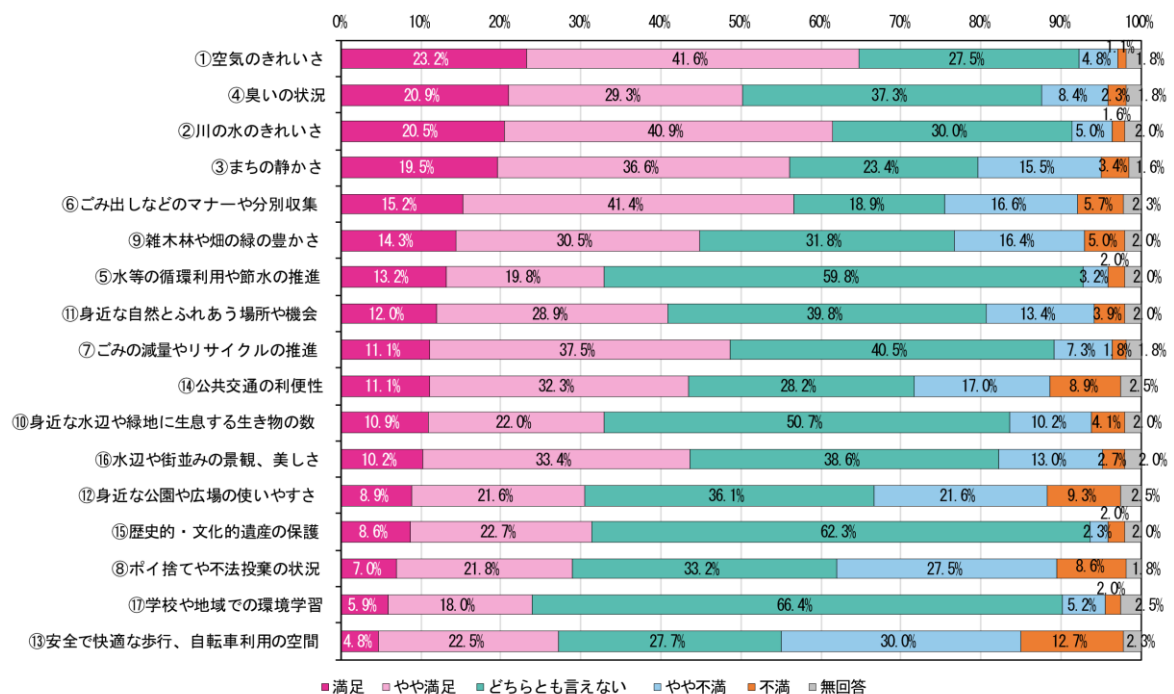
「③どちらとも言えない」が66.4%と半数以上を占めています。



【クロス集計(地域別)】



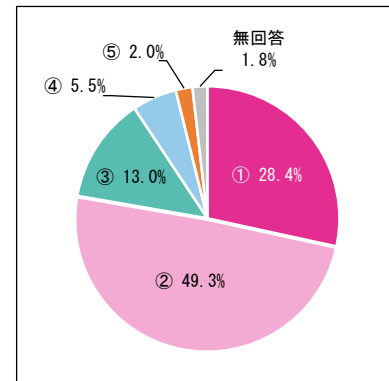
全ての地域で「③どちらとも言えない」が最も高く 5 割以上を占めています。また、「①満足」「②やや満足」の合計は、中清戸・旭が丘地域では 3 割以上を占めています。



3. 環境に関するあなたのお考えについておたずねします。

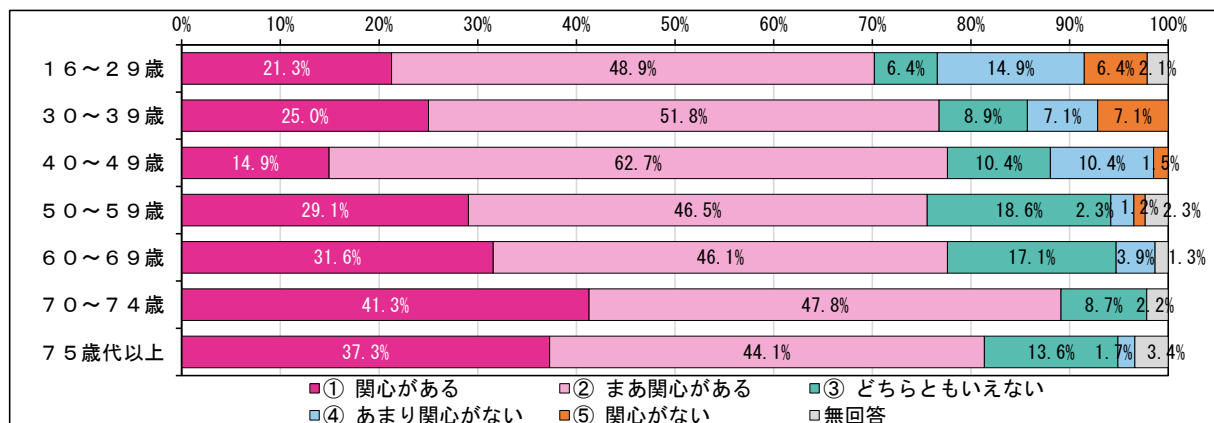
1)「環境問題」について、あなたはどの程度関心がありますか。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 関心がある	125	28.4%
② まあ関心がある	217	49.3%
③ どちらともいえない	57	13.0%
④ あまり関心がない	24	5.5%
⑤ 関心がない	9	2.0%
無回答	8	1.8%
合計	440	100.0%



「②まあ関心がある」が49.3%と最も高く、次いで「①関心がある」が28.4%となっています。

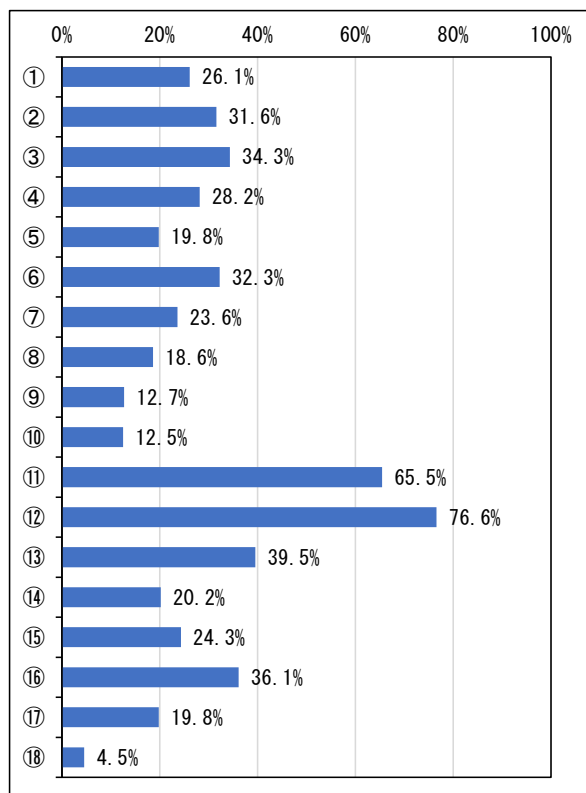
【クロス集計(年齢別)】



全ての年代で「①関心がある」「②まあ関心がある」が最も高く、7割以上を占めています。「70~74歳以上」の「関心がある」が最も高く、年齢が高くなるにつれて「関心がある」の割合が増加している傾向にあります。

2)あなたが身のまわりで関心のある環境問題は、どのようなものがありますか。あてはまるものを全てを選んでください。(あてはまるもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 自動車の排気ガス	115	26.1%
② 大気汚染	139	31.6%
③ 自動車の騒音・振動	151	34.3%
④ 近隣からの騒音・振動	124	28.2%
⑤ ダイオキシン類などの有害化学物質	87	19.8%
⑥ 川の汚れ	142	32.3%
⑦ 地下水の汚染	104	23.6%
⑧ 土壌汚染	82	18.6%
⑨ 地盤沈下	56	12.7%
⑩ 放射性物質による汚染	55	12.5%
⑪ 集中豪雨などの極端な気象	288	65.5%
⑫ 夏場の高温化	337	76.6%
⑬ 樹林地や農地の減少	174	39.5%
⑭ 動植物の減少	89	20.2%
⑮ 外来生物の増加	107	24.3%
⑯ ごみの減量とリサイクル	159	36.1%
⑰ エネルギー資源の枯渇	87	19.8%
⑱ その他	20	4.5%
※割合は回答者数(総計2316)から算出	2316	-



⑱その他

・犬のふんが置きざり ・農地の宅地化が激しいが計画性がない ・バイクの騒音 ・PFAS は大丈夫か
 ・歩道のある道路 ・マイクロプラスチックの増加 ・近隣の家の臭い ・雨による浸水 ・カラスとムクドリ
 ・PFAS 汚染 ・富良野自然塾のような自然学習 ・星が見えづらくなる光害 ・ムクドリやハトによる被害
 ・カラスによるゴミ散乱

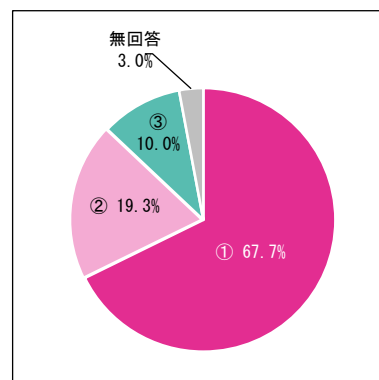
「⑫夏場の高温化」が76.6%と最も高く、次いで「⑪集中豪雨などの極端な気象」が65.5%となっています。

3)次の環境に関する言葉について、どの程度知っていますか。あてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

①SDGs(エスディーゼーズ)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 名前も内容も知っている	298	67.7%
② 名前は知っているが、内容はわからない	85	19.3%
③ 名前も内容もわからない	44	10.0%
無回答	13	3.0%
合計	440	100.0%

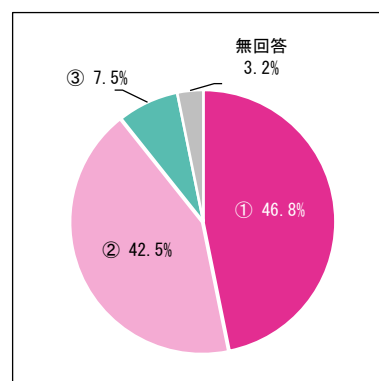
「①名前も内容も知っている」が67.7%と半数以上を占めています。



②カーボンニュートラル

選択肢	回答者数	割合(%)
① 名前も内容も知っている	206	46.8%
② 名前は知っているが、内容はわからない	187	42.5%
③ 名前も内容もわからない	33	7.5%
無回答	14	3.2%
合計	440	100.0%

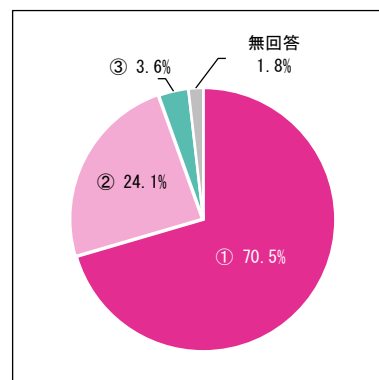
「①名前も内容も知っている」が46.8%と最も高く、次いで「②名前は知っているが、内容はわからない」が42.5%となっています。



③再生可能エネルギー

選択肢	回答者数	割合(%)
① 名前も内容も知っている	310	70.5%
② 名前は知っているが、内容はわからない	106	24.1%
③ 名前も内容もわからない	16	3.6%
無回答	8	1.8%
合計	440	100.0%

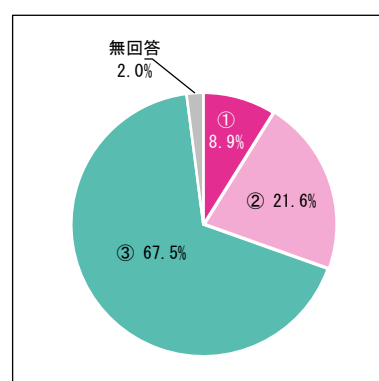
「①名前も内容も知っている」が70.5%と半数以上を占めています。



④デコ活

選択肢	回答者数	割合(%)
① 名前も内容も知っている	39	8.9%
② 名前は知っているが、内容はわからない	95	21.6%
③ 名前も内容もわからない	297	67.5%
無回答	9	2.0%
合計	440	100.0%

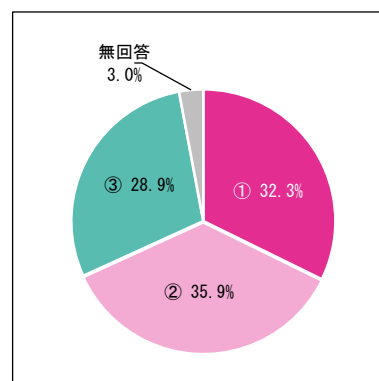
「③名前も内容もわからない」が67.5%と半数以上を占めています。



⑤生物多様性

選択肢	回答者数	割合(%)
① 名前も内容も知っている	142	32.3%
② 名前は知っているが、内容はわからない	158	35.9%
③ 名前も内容もわからない	127	28.9%
無回答	13	3.0%
合計	440	100.0%

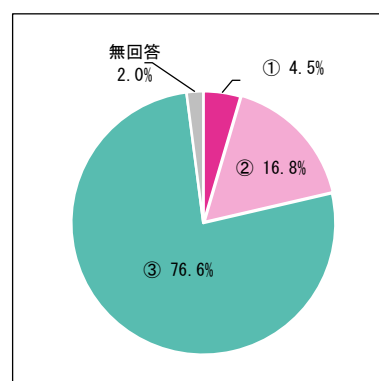
「②名前は知っているが、内容はわからない」が35.9%と最も高く、次いで「①名前も内容も知っている」が32.3%となっています。



⑥30by30(サーティ・バイ・サーティ)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 名前も内容も知っている	20	4.5%
② 名前は知っているが、内容はわからない	74	16.8%
③ 名前も内容もわからない	337	76.6%
無回答	9	2.0%
合計	440	100.0%

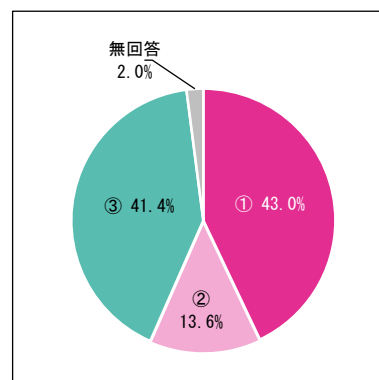
「③名前も内容もわからない」が76.6%と半数以上を占めています。



⑦3R(スリーアール)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 名前も内容も知っている	189	43.0%
② 名前は知っているが、内容はわからない	60	13.6%
③ 名前も内容もわからない	182	41.4%
無回答	9	2.0%
合計	440	100.0%

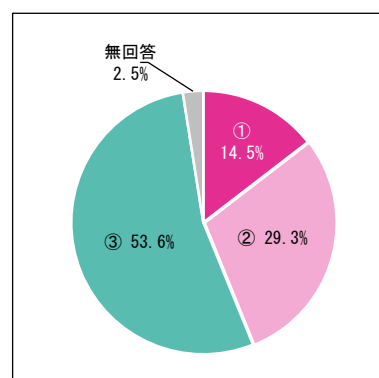
「①名前も内容も知っている」が43.0%と最も高く、次いで「③名前も内容もわからない」が41.4%となっています。

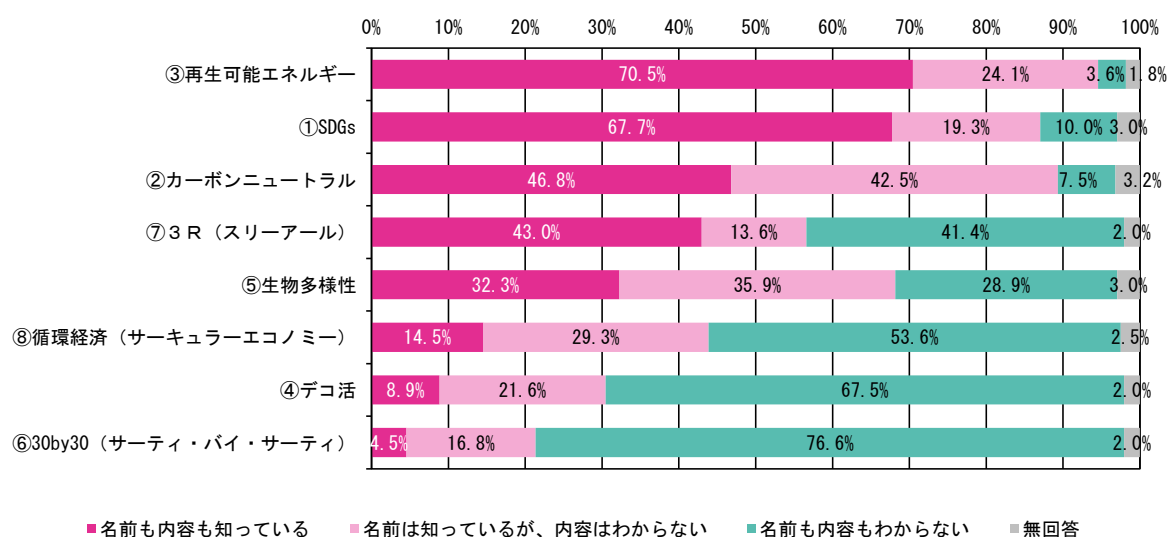


⑧循環経済(サーキュラーエコノミー)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 名前も内容も知っている	64	14.5%
② 名前は知っているが、内容はわからない	129	29.3%
③ 名前も内容もわからない	236	53.6%
無回答	11	2.5%
合計	440	100.0%

「③名前も内容もわからない」が53.6%と約半数を占めています。

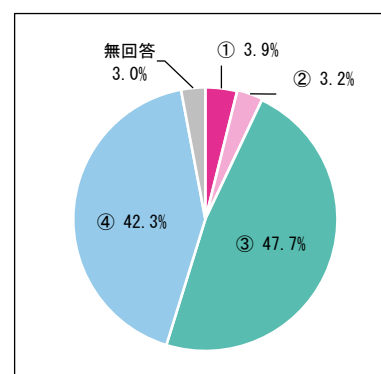




4)あなたは、次の環境保全活動等について、参加や経験したことがありますか。あてはまる番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

①地球温暖化や野生生物の減少など環境問題に関する学習会

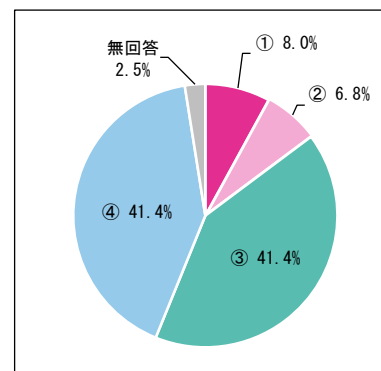
選択肢	回答者数	割合(%)
① 自ら進んで、参加・経験したことがある	17	3.9%
② 家族や知り合いに誘われて、参加・経験したことがある	14	3.2%
③ 参加したことがないが、参加・経験してみたい	210	47.7%
④ 興味がない（参加・経験するつもりがない）	186	42.3%
無回答	13	3.0%
合計	440	100.0%



「③参加したことがないが、参加・経験してみたい」が47.7%と最も高く、次いで「④興味がない(参加・経験するつもりがない)」が42.3%となっています。

②生きもの観察会など地域の自然にふれあう体験学習

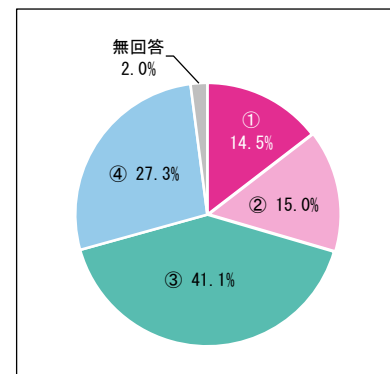
選択肢	回答者数	割合(%)
① 自ら進んで、参加・経験したことがある	35	8.0%
② 家族や知り合いに誘われて、参加・経験したことがある	30	6.8%
③ 参加したことがないが、参加・経験してみたい	182	41.4%
④ 興味がない（参加・経験するつもりがない）	182	41.4%
無回答	11	2.5%
合計	440	100.0%



「③参加したことがないが、参加・経験してみたい」、「④興味がない(参加・経験するつもりがない)」が41.4%と最も高く、次いで「①自ら進んで、参加・経験したことがある」が8.0%となっています。

③農作物の収穫体験

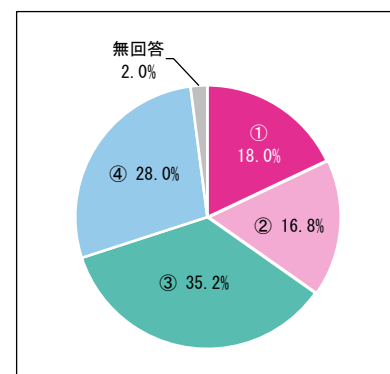
選択肢	回答者数	割合(%)
① 自ら進んで、参加・経験したことがある	64	14.5%
② 家族や知り合いに誘われて、参加・経験したことがある	66	15.0%
③ 参加したことがないが、参加・経験してみたい	181	41.1%
④ 興味がない（参加・経験するつもりがない）	120	27.3%
無回答	9	2.0%
合計	440	100.0%



「③参加したことがないが、参加・経験してみたい」が41.1%と最も高く、次いで「④興味がない(参加・経験するつもりがない)」が27.3%となっています。

④ごみ拾いなどの清掃活動

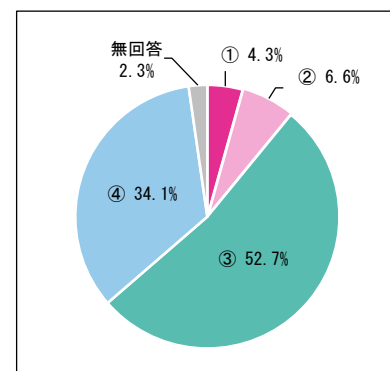
選択肢	回答者数	割合(%)
① 自ら進んで、参加・経験したことがある	79	18.0%
② 家族や知り合いに誘われて、参加・経験したことがある	74	16.8%
③ 参加したことがないが、参加・経験してみたい	155	35.2%
④ 興味がない（参加・経験するつもりがない）	123	28.0%
無回答	9	2.0%
合計	440	100.0%



「③参加したことがないが、参加・経験してみたい」が35.2%と最も高く、次いで「④興味がない(参加・経験するつもりがない)」が28.0%となっています。

⑤公園や道路などの緑化活動

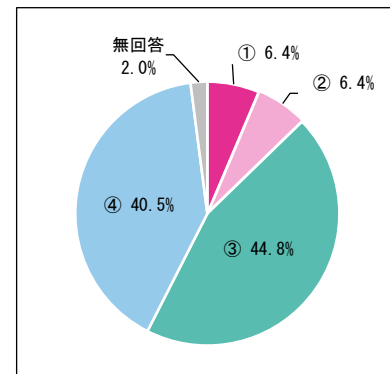
選択肢	回答者数	割合(%)
① 自ら進んで、参加・経験したことがある	19	4.3%
② 家族や知り合いに誘われて、参加・経験したことがある	29	6.6%
③ 参加したことがないが、参加・経験してみたい	232	52.7%
④ 興味がない（参加・経験するつもりがない）	150	34.1%
無回答	10	2.3%
合計	440	100.0%



「③参加したことがないが、参加・経験してみたい」が52.7%と半数以上を占めています。

⑥環境に関するイベント

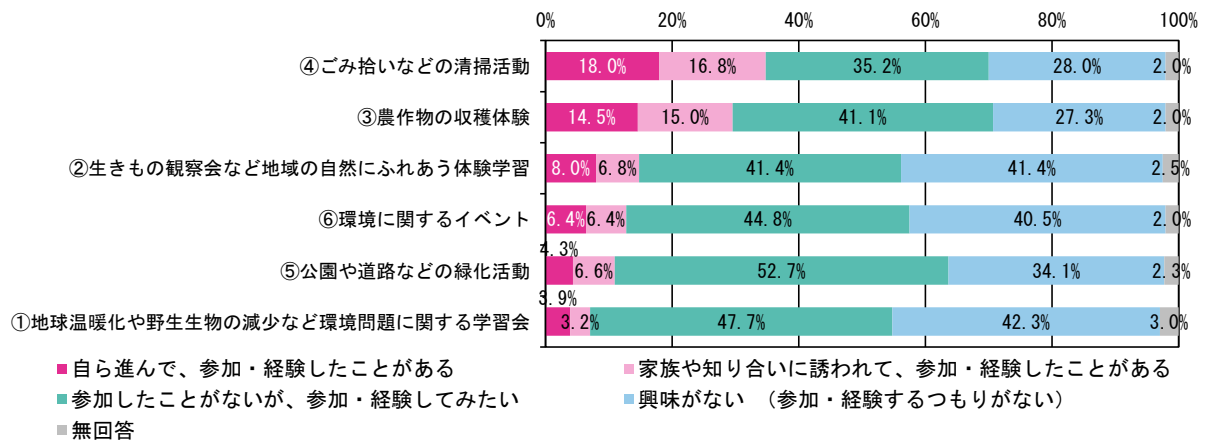
選択肢	回答者数	割合(%)
① 自ら進んで、参加・経験したことがある	28	6.4%
② 家族や知り合いに誘われて、参加・経験したことがある	28	6.4%
③ 参加したことがないが、参加・経験してみたい	197	44.8%
④ 興味がない（参加・経験するつもりがない）	178	40.5%
無回答	9	2.0%
合計	440	100.0%



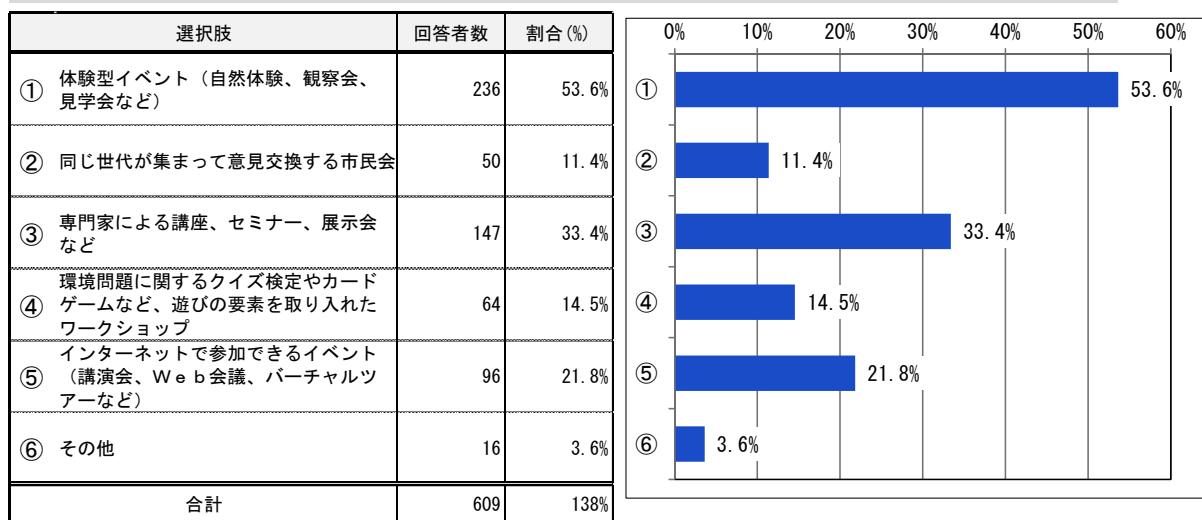
「③参加したことがないが、参加・経験してみたい」が44.8%と最も高く、次いで「④興味がない(参加・経験するつもりがない)」が40.5%となっています。

⑦その他

・WWF の会員 ・清瀬ひまわりフェスティバル



5)あなたは、どのような環境活動があれば参加したいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)



※割合は回答者数(440)から算出

⑥その他

- ・ゴミポイ捨て防止の為に監視カメラの設置 ・今は介護が大変すぎて無理です
- ・子供が遊んでいる間見守りながら草むしりをするなど、お世話になっている公園をきれいにする活動があればやりたい
- ・子どもが楽しめるイベント
- ・今は時間があるが行動するのは身体的にむずかしい ・わからない
- ・大人1人だとイベントには参加しづらいので、親子向けのものが良いのでは？
- ・自然体験の中でも小さい展示会のようなものがあると良い。(いつでも)
- ・将来につながる目的が明確なイベント ・個人生活の中でゴミ排出を減らす工夫
- ・同じ居住区のいろいろな世代が集まって意見交換する活動

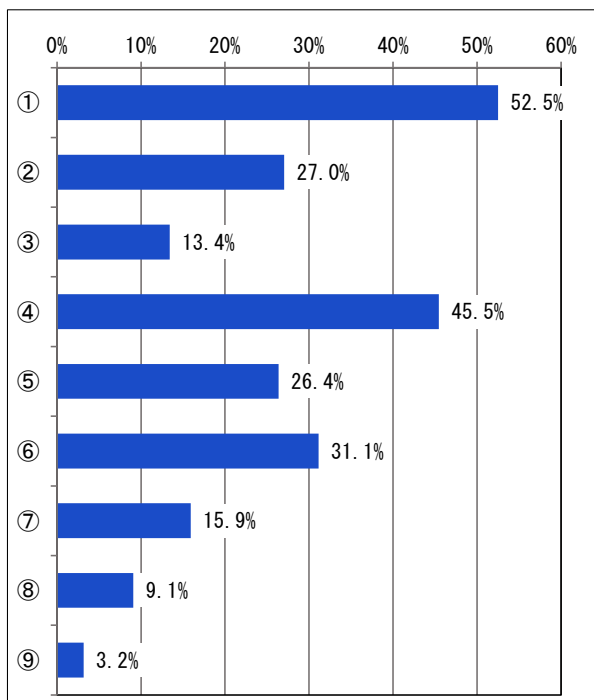
「①体験型イベント(自然体験、観察会、見学会など)」が53.6%と最も高く、次いで「③専門家による講座、セミナー、展示会など」が33.4%となっています。

4. これからの環境政策についておたずねします。

1)清瀬市の多様な環境を保全するため、行政は以下の分野でどのようなことを優先して取り組むべきだと思いますか。(3つ以内で○)

①脱炭素社会の実現

選択肢	回答者数	割合(%)
① 公共施設(学校や役所など)への100%再生可能エネルギー由来電力や、再生可能エネルギー設備の導入推進	231	52.5%
② 民間施設(住宅や事業所など)への100%再生可能エネルギー由来電力や太陽光発電設備など導入補助	119	27.0%
③ 農地に太陽光発電を設置する「ソーラーシェアリング」導入への支援	59	13.4%
④ 公共施設(学校や役所など)の断熱・省エネルギーフォームなど、省エネ化の推進	200	45.5%
⑤ 民間施設(住宅や事業所など)の断熱・省エネルギーフォームなどへの補助	116	26.4%
⑥ 公共交通や自転車など、マイカー以外の交通手段の利用促進	137	31.1%
⑦ 電気自動車など、エコカーの普及促進	70	15.9%
⑧ デコ活など、脱炭素社会の実現につながるくらしの普及促進	40	9.1%
⑨ その他	14	3.2%
合計	986	-



※割合は回答者数(440)から算出

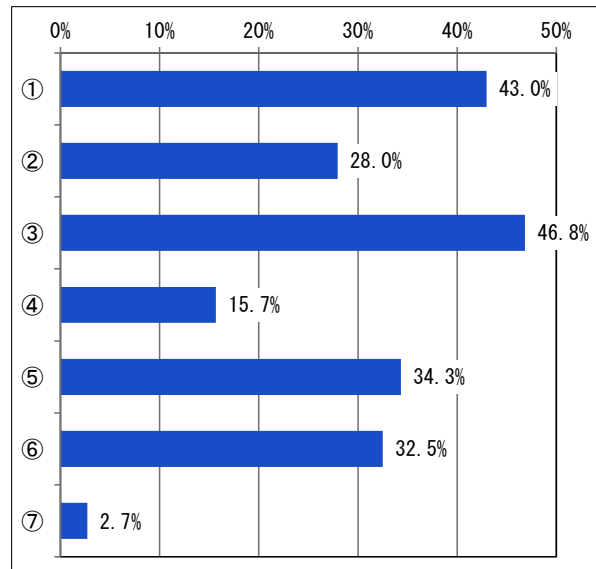
⑨その他

- ・とにかく水素を利用し、脱炭素の町を目指す ・自然保護、成果のない公費の無駄使いはしない
- ・リユースの推進、施設ごとの太陽光の導入などはトータルで本当に効果があるか検証の上、導入してほしい
- ・緑を減らさないでほしい ・子供が遊べる自然環境づくり ・核融合研究の推進
- ・「あなたの自宅を図書館に」→本の集配を業者に任せるなんて、もってのほか
- ・特徴ありませんが、「3」は断固反対です ・まず脱炭素社会が何故必要か、どの様な取り込みかを認知させる
- ・太陽光発電はコストが掛かりすぎるし、カーボンニュートラルは日本では非現実的、かつ費用対効果が薄いのでどれも推進すべきではない
- ・取り組むことで市の利益になることならやってください。費用対効果(NPV 等)を考慮して欲しい
- ・屋上緑化の促進

「①公共施設(学校や役所など)への 100%再生可能エネルギー由来電力や、再生可能エネルギー設備の導入推進」が52.5%と最も高く、次いで「④公共施設(学校や役所など)の断熱・省エネルギーフォームなど、省エネ化の推進」が45.5%となっています。

②資源の有効活用、ごみの削減

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 分別・削減方法の周知啓発などによる、家庭や事業所から排出されるごみの削減	189	43.0%
② 資源回収活動への報奨金などによる、資源回収等による資源化の支援	123	28.0%
③ 店頭での資源回収など、民間事業者による資源回収の推進	206	46.8%
④ 再資源化を促進するための補助等のさらなる拡大	69	15.7%
⑤ フードドライブの実施などによる、食品ロスの削減	151	34.3%
⑥ リユース、リサイクルを促進するための周知啓発	143	32.5%
⑦ その他	12	2.7%
合計	893	-



※割合は回答者数(440)から算出

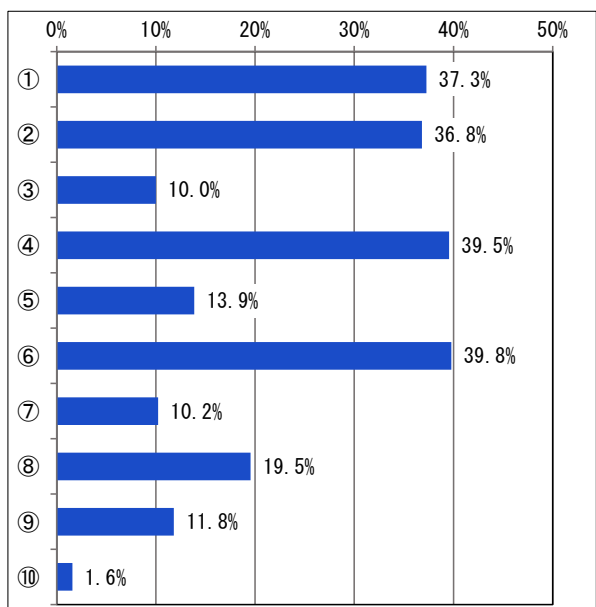
⑦その他

- ・スーパーなどの惣菜などの作製を 2 割削減
- ・公費の無駄使いはしない。道路を掘ったり埋めたりの繰り返しは無駄。
- ・不用品の引取、再販 ・ゴミ処理場を建ててほしいです ・プラスチックの製造削減、木製品の奨励
- ・学校で使うものをリサイクル(体操着、鍵盤ハーモニカ、彫刻刀など)。学校にて購入するかたちになっているが、貸し出し制にしてほしい。
- ・自動販売機を設置したら、必ず空き缶等回収ボックスの設置を義務づけること
- ・ゴミ袋の無料配布と全額 UP ・ミのポイ捨てを監視するカメラを街に設置(防犯効果も)
- ・市に利益がある活動を実施して下さい ・コンポストの設置

「③店頭での資源回収など、民間事業者による資源回収の推進」が46.8%と最も高く、次いで「①分別・削減方法の周知啓発などによる、家庭や事業所から排出されるごみの削減」が43.0%となっています。

③自然の保全・生物多様性

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 公園・学校・公共施設・道路などの緑を増やす取組の推進	164	37.3%
② 公園・学校・公共施設・道路などの既存の緑の質を高める取組の推進	162	36.8%
③ 住宅・事業所の緑を増やす取組への支援	44	10.0%
④ 生産緑地や雑木林の保全、活用	174	39.5%
⑤ 化学肥料・農業にできるだけ頼らない環境に配慮した農業の促進	61	13.9%
⑥ 柳瀬川などの水辺の美化活動など、水環境を守り、活用する取組の促進	175	39.8%
⑦ 保全活動への支援などによる生きものがすみやすい環境の保全・創出	45	10.2%
⑧ 貴重な生きものの保全やアライグマなど外来生物への対策	86	19.5%
⑨ イベントの開催など自然や緑とふれあえる場や機会の増進	52	11.8%
⑩ その他	7	1.6%
合計	970	-



※割合は回答者数(440)から算出

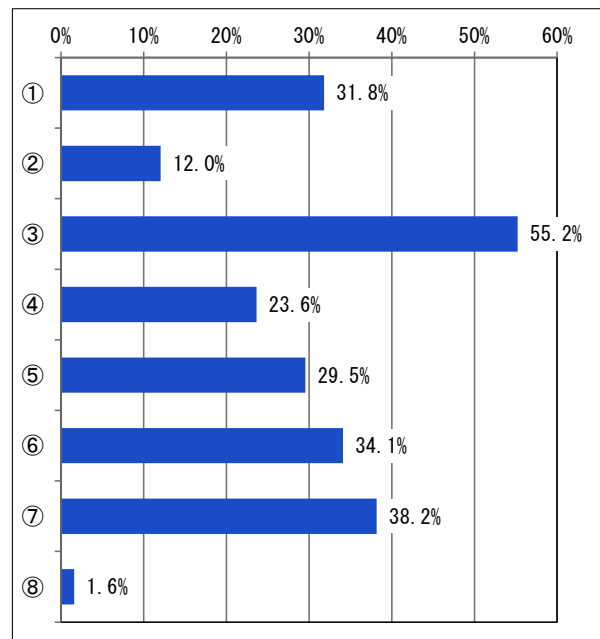
⑩その他

- ・環境課の人員確保のために活動を強化する ・駅前再開発でビルの建設ではなく、緑を増やしてほしい
- ・外来種の排除 ・ハクビシンやネズミ等の被害や駆除等に対する対策の強化
- ・けやき通りのけやきの復活。山戸広場の整備。1日自転車保管所。 ・今ある畑などをつぶさないよう農家支援
- ・生産緑地、雑木林と言う名の何にも使えない不要な土地が多すぎる。遊び場として活用できる様にするなど子供達の遊び場を作りたい

「⑥柳瀬川などの水辺の美化活動など、水環境を守り、活用する取組の促進」が39.8%と最も高く、次いで「④生産緑地や雑木林の保全、活用」が39.5%となっています。

④安心・安全な生活環境の確保

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 大気・水・土壌汚染、騒音等についての継続的な調査と調査結果の情報公開	140	31.8%
② 大気や水の保全に向けた、市民・事業者への呼びかけや汚染対策の実施	53	12.0%
③ 幹線道路の整備や公共交通の充実、歩道や自転車専用道路の整備による、安全・安心な交通環境の確保	243	55.2%
④ 治水対策に加えグリーンインフラ※の整備など、激甚化する自然災害への対策	104	23.6%
⑤ 避難場所や防災グッズについて、市民へ周知・啓発をする等、防災対策の推進	130	29.5%
⑥ 良好なまちなみ景観の保全、ポイ捨てや路上喫煙防止等、市内美化活動の推進	150	34.1%
⑦ 空き地・空き家の適切な管理の促進	168	38.2%
⑧ その他	7	1.6%
合計	995	-



※割合は回答者数(440)から算出

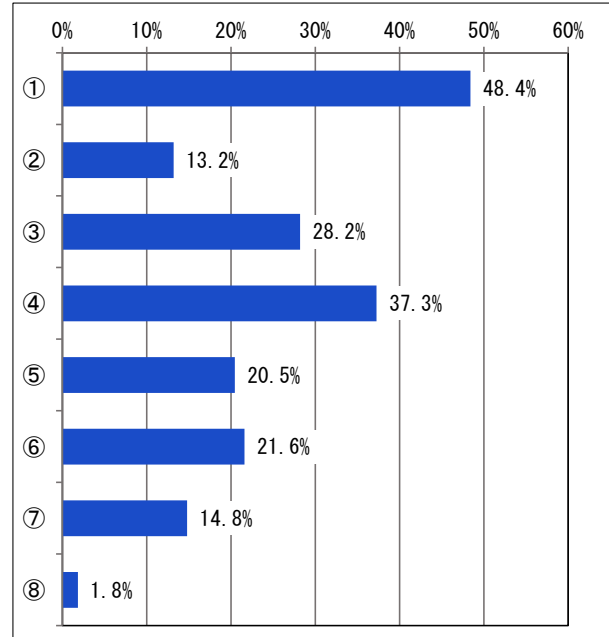
⑧その他

- ・建物の耐震対策助成 ・バス停への屋根設置 ・軍用ヘリなど、騒音がひどすぎる。上空を飛ばせないようにして。
- ・農地の保全 ・空き家の適切な管理の促進とは何を指すのか？危険なものは早急に撤去して欲しい

「③幹線道路の整備や公共交通の充実、歩道や自転車専用道路の整備による、安全・安心な交通環境の確保」が55.2%と最も高く、次いで「⑦空き地・空き家の適切な管理の促進」が38.2%となっています。

⑤環境意識、協働の仕組みづくり

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 環境教育の推進による、将来を担う子どもたちの環境意識の向上	213	48.4%
② 市からの情報発信や講演会、研修会の開催による、市民・事業者の環境意識の向上	58	13.2%
③ 暮らしに役立つ省エネ知識をSNS等にて情報発信	124	28.2%
④ 市内の環境の現状や課題についての情報発信	164	37.3%
⑤ 環境に関する市民・事業者の自主的な活動などへの支援	90	20.5%
⑥ 環境に関する全市民的なキャンペーンの実施	95	21.6%
⑦ 市民団体等との協力による、環境に関する事業の推進	65	14.8%
⑧ その他	8	1.8%
合計	817	-



※割合は回答者数(440)から算出

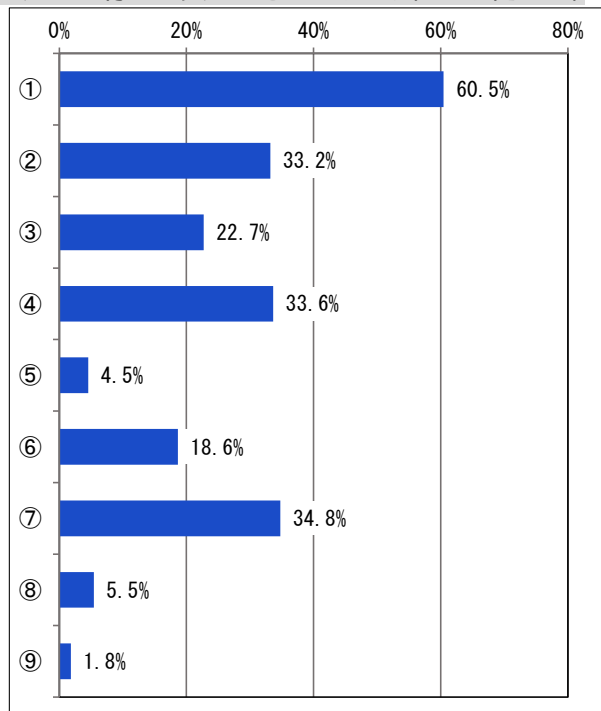
⑧その他

- ・フードロスの啓発を市のチェーン店にする ・けやき通りのけやきの復活、宅地化の阻止
- ・財政出動をすすめ、長期的視点での取り組み ・野焼きの取り締まり ・
- ・環境を意識することにより将来どのような利益をもたらすかを市からアピール。市は社会全体を考える立場ではない。それは国が考えること。

「①環境教育の推進による、将来を担う子どもたちの環境意識の向上」が48.4%と最も高く、次いで「④市内の環境の現状や課題についての情報発信」が37.3%となっています。

2)清瀬市は環境教育や環境学習について、どのように進めて行けば良いと思いますか。(3つ以内で○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 学校で子どもたちへの環境教育を充実させる	266	60.5%
② 身近な生物や河川の水質調査などを積極的に行い市民の意識を向上させる	146	33.2%
③ 環境に関する情報をいつでも使えるように整備する(インターネットなど)	100	22.7%
④ 広報紙などを利用して、環境情報や環境保全の方法などを知らせる	148	33.6%
⑤ 市民を対象にした環境学習会を充実させる	20	4.5%
⑥ 環境活動を行っている市民団体などへの支援を行う	82	18.6%
⑦ 市内の川や雑木林など自然のなかで環境の大切さを実感できるイベント等を実施する	153	34.8%
⑧ 都や民間企業と連携してセミナーやシンポジウムなどを開催する	24	5.5%
⑨ その他	8	1.8%
合計	947	-



※割合は回答者数(440)から算出

⑨その他

- ・学校で水再生センターや気象衛星センター見学などあるとよい
- ・現状の分析、そのアウトプット。市民は現状がわかりません。要 SNS。
- ・小中高生の校外学習に柳泉園見学を義務付け ・市として、一刻も早く石炭火力発電をやめるよう意見書をあげる
- ・誰にでも見てわかる環境政策を市が実践する ・けやき通りにけやきを植える。宅地化の阻止。
- ・専門家を育成する ・市民の声を取り上げる(聞く)場をつくる→みんなで考える場をつくる

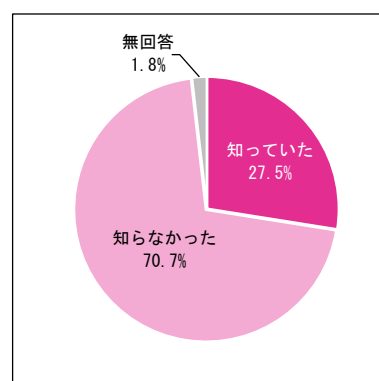
「①学校で子どもたちへの環境教育を充実させる」が60.5%と最も高く、次いで「⑦市内の川や雑木林など自然のなかで環境の大切さを実感できるイベント等を実施する」が34.8%となっています。

5. 気候変動への適応について。

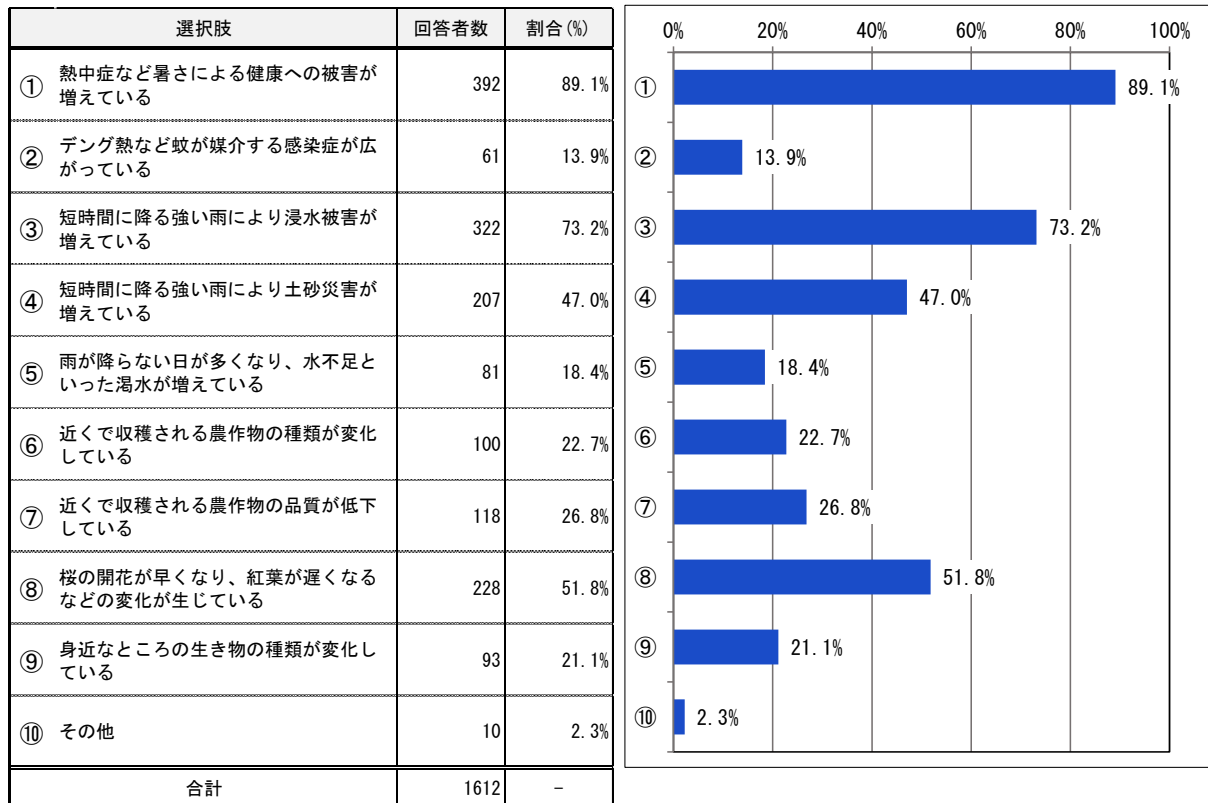
1)地球温暖化の対策として、温暖化による影響や被害を軽減することを「適応」と言いますが、あなたはこの「適応」という考え方を知っていましたか。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 知っていた	121	27.5%
② 知らなかった	311	70.7%
無回答	8	1.8%
合計	440	1

「②知らなかった」が70.7%と半数以上を占めています。



2)身近な地域で、ここ数年間でどのような気候の変動による影響が生じていると思いますか。あてはまるもの全てを選んでください。(あてはまるもの全てに○)



※割合は回答者数(440)から算出

⑩その他

- ・救急車がひっきりなしに走っている ・野菜の値段が高い。異常な暑さにより毎年人が死んでいる。
- ・新座市総合運動公園の桜の葉が落ちていました ・スズメが減った
- ・野菜が値上がりしている。品質老化。 ・バス路線の充実 ・夏の雷雨が増えている

「①熱中症など暑さによる健康への被害が増えている」が89.1%と最も高く、次いで「③短時間に降る強い雨により浸水被害が増えている」が73.2%となっています。

6. 将来の環境について

1)将来の清瀬市の環境は、どうなっていたら良いと思いますか。

あなたが住みたいと思う「清瀬市のイメージ」を言葉で表してください。簡単なキーワードでも、短い文章でもかまいません。自由に記入してください。

- ・自然豊かな清瀬
- ・自然清瀬市
- ・自然、都内へのアクセスが良い
- ・集合住宅を減少させる
- ・安心、安全な生活が出来、子育てしやすい環境
- ・緑豊かな街
- ・静かに生活が出来ることが一番
- ・ゴミのポイ捨てゼロのまち清瀬
- ・人が手入れをしている森林を誰もが安全に利用できたら良いと思います
- ・田舎けどやっぱり東京
- ・利便性向上し、今よりも街が明るいと良いと思う
- ・子供たちがのびのびと遊んで暮らしていける環境
- ・他人を思いやれる人がたくさん住む街。緑がたくさんある街。
- ・公園、ケヤキ通り、志木街道の樹木残して欲しい。倒木の危険有ると思うが、伐採の後は植樹欲しい。
- ・高層ビルを増やさないでほしい
- ・緑豊かな空気の澄んだ町
- ・緑と清流と住居の共存
- ・健康推進、QOL 清瀬
- ・交通の便利さ
- ・緑地の多い清瀬
- ・ゴミが少なく、適度な自然がある。
- ・緑、農地(新鮮な野菜)

- ・今のまま農地がたくさんある清瀬であってほしい。
- ・現状維持
- ・犬がコロナから増えて飼い主のマナーが悪い。ふんを持ち帰らない。
- ・緑や花が多い町、ひまわり(夏暑すぎる)の他に何かイベント(春や秋の花イベント)があってもいいのでは。
- ・自動車の運転マナーの良さ。
- ・ポイ捨てゴミの無い、歩いていても、いやな思いをしなくてすむ町。人は右側、自転車は左側を徹底し、ヒヤツとする事なく歩ける町出したい。
- ・住宅がかなり増えゴミの排出量が激増していると思われる。この対策は良くやっただいて。かつて畑ばかりだった清瀬。新住民と旧農家の共存これがベスト。しかし、今だに公道をトラクターが走る風景がある。
- ・緑の多い木影の多い町。年を取ってから住みやすい。
- ・公明党のいない社会
- ・水(飲み水、水道水)、空気がおいしく、緑豊かな清瀬市。公道が広く、人、自転車、車が安全に通行できるまち。
- ・①清瀬駅南口北口にエスカレーターを設置して下さい。②市役所が遠いので南口にも分室を作して下さい。
- ・農地の虫喰い開発の中止(これ以上減らさない)。清瀬駅の美化。
- ・大江戸線の早期駅の導込。
- ・目に安らぐ緑が多く雑草が整理され自転車で走り易く散歩がし易い。畑に作物が植えられている。
- ・自然豊かな街
- ・雑木林や山野草など昔からある自然は残してほしい。
- ・人が良い。環境にやさしい。
- ・車を持たない(運転できない)でも生活していける。車イスにやさしい町になってほしい。
- ・清瀬市民が互いに助け合い優しい気持ちで暮らせるような場所になって欲しい。ゴミのポイ捨てや人の迷惑になるような事を自ら律することができるそんな気持ちがおきない豊かな緑多い環境になってくれたら…と思います。
- ・緑の多い町、雑木林の多い町
- ・適当に緑地があり、昼はにぎやかでも夜静かに過ごせる。散歩や自転車で近所を回るだけでも楽しめるの良いと思います。
- ・緑豊かな安心して住める街
- ・農地や緑地が開発されることなく保存されている。
- ・畑が減り住宅が増えてチョットさびしい。・大型スーパーが西友、マルエツ程度と人口(住宅、アパート増)が増えても、利便さに欠けている。
- ・みんなが住みやすい街。赤ちゃん～お年寄りまで。
- ・10分歩けば畑道
- ・畑の減少を遅らせたい。・空き家の再利用を優先する。
- ・昔からの自然が残る街。・親から子へ受け継がれる安心して遊べる川と森。・子どもが子どもらしく遊べる自然と調和した場所。
- ・きれいな空気と緑を保全するまち清瀬。地産地消の農作物、個人経営のお店を守り人々の和があるまち。
- ・自然が多い。・適度な田舎
- ・市の公用車のハイブリット化
- ・緑が豊か。川がきれい。田畑が多く落ち着きがある。
- ・東京都とは思えない自然が残された空間(畑や雑木林など)
- ・「お気軽散歩、清瀬」令和6年10月15日号市報5ページ中央、道路上に張り出した～これをポスターにして、見た目もきれいな場所を増やしていけたらと思います。ポスターにすれば、伸び放題の家の方も少しは気にして手入れするかもしれないので。(回覧板も)
- ・今まで変化がなかったので、これからも変化がなくて良い。
- ・責任を持って生活をする。
- ・空を広くしたい。緑も大切だが下が暗くなると蚊が増え子供達が危ない。老人はさておき、子供達が明るい広いところで遊び走るのが理想。
- ・商業施設の充実、誘致
- ・畑があり、のどかさが残る町並み
- ・自然豊かな静観な町
- ・不便
- ・緑豊か。空気がきれい。
- ・のどかさ、緑、空気、川
- ・変わらず緑の多い町であってほしい。
- ・ゲリラ豪雨に耐えられる
- ・今のままの清瀬であってほしい。
- ・人口増加も大切ですが・・・清瀬の良さ(自然や緑の豊かさ)を守ってほしいですね。
- ・クリーンで清潔。ごみのポイ捨て、カラスによる荒らしがない。
- ・柳瀬川のサイクリングロードの草刈を、防犯の上でも大きくならない内にやって欲しい。ヒガンバナも復活出来れば！
- ・自然がうつくしい
- ・緑を残した、静かで住みやすい町
- ・緑豊か！
- ・緑のある空気がきれいな町
- ・自然と文化が共存する町
- ・畑や雑木林を残していく。空が大きく見えるような、大きな大きな公園。外周はランニングやウォーキングができ、子供達が楽しめるアスレチック施設など、所沢航空記念公園のような、人を呼べる、緑が多くて楽しめる場所。清瀬市は呼び物が何もないです。
- ・雑草や草木がきちんと管理された美しい町。落ち葉を取り除き、浸水しない町。柳瀬川通りの歩道が狭すぎます。歩道の幅を広くとり、バスを下宿にも通してほしいです。
- ・病院ばかりの場所のイメージをなくして、活き活きとした元気な町へと変えたい。
- ・病院と緑が多いです。おだやかな地であり続けてほしいです。
- ・子供が安全に遊べる場所
- ・緑豊かで、空気がきれいで美しい町
- ・東京の便利さと自然の豊かさの共存

- ・雑木林の整備。雑木林は私有地であるが、もう少し市が入って手入れできるようになればと思う。手入れが行き届いていない。
- ・志木街道やけやき通りでの自転車や歩行者、乳母車の安全確保。
- ・緑が多い
- ・ほど良い田舎感。
- ・雑木林、四季折々に広がる畑の作物、低層階の建物、東京都でありながら自然の残る風景が今後も見られ、元気に遊ぶ子供の声をいつまでも聞くことのできる環境を維持し、守ってほしいと思います。
- ・森林をもっと増やしてほしい。宅地開発をしすぎている。空き家対策への市の補助。
- ・身近に自然を感じながら生活出来、生物と共存しやすい環境。
- ・雑木林、農業生産地の維持、拡大
- ・環境に関しては空気も良い方だと思う。今後図書館を閉めるそうだが、年寄りにやさしくなくなるのが心配。
- ・子供達が安心できるよう、自転車道や歩道が整備されること。雑木林や街路花壇などが整備され、市民の憩いの場所になること。
- ・緑豊かで、近くの農家さんが作って下さる採れたて野菜がいつまでも食べ続けられたらと思います。
- ・静かで安全な町。ゴミが落ちていないきれいな町。子供や大人と一緒に遊んでいられる場所がもっと増えてほしい。
- ・必要以上に開発せず、可能な限り現状維持してもらいたいです。
- ・自然豊かで緑の多いまちづくり。
- ・SDGs、地球温暖化
- ・自然豊かで洗練された場所。
- ・自然との共生。
- ・青空と緑とそよ風
- ・綺麗な川と緑のまち
- ・水の綺麗な街になっていて欲しい。
- ・今のままで良い。ポイ捨てのゴミはやめて下さい。
- ・歩道の整備、道路に出ている樹木の整備、公園に老人が使える健康遊具、ベンチの設置、個人宅からはみ出した木を切る。
- ・雑木林、緑地や農地を保全拡大していただきたいです。公園の樹木や草花を増やしていただきたいです。
- ・駅を降り目の前に緑一杯でなくても、通路にはホッとするお店(休憩や軽い軽食)があったら良いと思う。若い時には必要なかったものが、ベビーカーの人、小さな子供と歩き立ち止まる場所、遊び場でもなく小中高生の子供がその中に年寄りもまじり、語り、見守るなど、一部の特定の場所ではなく、道筋にあるのがいいなあと思いました。
- ・都会に近い自然が調和した清瀬市
- ・若い人が安心して住めるように子育てがしやすく、老人も安心して住めるよう病院等の施設を充実させる。
- ・身近に常に緑、草花、実生木、昆虫が見られること
- ・清瀬砂漠の砂嵐を何とかしてください。
- ・せっかく残してある雑木林は危険な雰囲気ではなく、ここに緑が残っていることが嬉しいと誰もが思える、環境が整備された、豊かな市でいけたら良いと思う。
- ・東京でありながら豊かな農地、夏のひまわり。自然豊かな清瀬市であって欲しいです。
- ・自然がある。野菜などを育てている。優しく暮らしやすい子供や若者。シニア世代。
- ・子育てがしやすく、住みやすい市。
- ・畑から吹き上げる砂による大気の汚れ。室内に入り込むストレスを軽減していただけたら、住みやすい場所だと思います。
- ・安心・安全と言われる市に変わっていくと良い。
- ・緑との共生。
- ・緑が多い街。
- ・綺麗な清瀬市。
- ・緑地、農地がこれ以上減少しないよう皆で考えたい。
- ・夜まで開いているカフェ。アサイーボウル屋。
- ・自然は残しつつ、駅前にもっと店舗を増やしてほしい。空地を利用して、大型ショッピングセンターを作してほしい。
- ・落ち着いた環境で子供達が学ぶことができ、登校時の不安など無い治安の良い状態が続きますよう。
- ・自然の豊かさ。
- ・緑豊かな清瀬であってほしい。
- ・若い人たちが住みたいと思う環境をつくる。高齢者ばかりに視点がいきすぎている。
- ・緑が多く、空気の澄む街「清瀬」。
- ・水が綺麗で、緑豊かな町。
- ・雑木林や畑が宅地となり、とても残念である。
- ・東京のプロヴァンス地域になる。農地の積極的保全(相続等による分割販売を防ぐ。)
- ・多様な野鳥が暮らせる緑が豊富にある街。川が整備され、見た目が綺麗になっても、石やコンクリート固めになって生き物は減っている気がするし、「緑化」としてただ花壇や芝生を増やしても意味がない。ちゃんと生きた自然が残る街になると良いと思う。
- ・若い世代が活躍できる場所がある。
- ・大きな道路が増えすぎて音がうるさいので、もっと静かで緑の多い街が理想です。
- ・北口には農地があり、今後も残してほしい。駅(改札口)に出た所で買い物が出来ると便利だと思う。
- ・東京病院があるので、医療を安心して受けられる。
- ・自然豊か。新鮮野菜。病院、大学の町。
- ・緑と川のある町作り。水の綺麗な町作り。
- ・緑豊かな住みよい市。子供が安心して遊べる場。老人が安心して住み続けることのできる市。
- ・ひまわり等の市外から人が来た時、興味を持ってもらえる清瀬。
- ・緑と畑が多いので、清瀬に住み始めた。
- ・キャッチフレーズ「ミントカラー・キヨセ」「ミントグリーントウン・キヨセ」「ミント薫る町キヨセ」
- ・清瀬の環境を目的に人が集まる街。(市外、都外、都内)
- ・子供達がのびのびと自然と触れ合える公園などが増えていたら良い。
- ・むやみに畑を宅地開発させずに、宅地は空き家を立て替えさせ、緑地が多く広々とした風景が残る清瀬。

- ・見通しのいい市、+αの便利さがあればなお良し。
- ・赤ちゃんから老人までどこでも会える。子供をあたたく見守る。年老いた人にも見守る心使いが誰にでもある。やさしいだけ。
- ・安全安心な市
- ・緑が多く利便性があるって住みよい街
- ・空気がきれい。・自然が豊か。・人、自転車、車の分離(完全を目指したい)・・・車の従来が多い道路では特に。
- ・都心のアクセスと豊かな緑、両方を可能としている街。コンパクトだが全てが揃っている街。おいしいものがある街。
- ・緑が多く静かで暮らしやすい街であってほしい。
- ・都心からほど近い「クールスポット清瀬」
- ・清瀬駅のエレベーターの老朽化が改善され、エスカレーターを設置をして欲しい。駅前にはパチンコ店はそぐわないと思う。その代わりに人気のあるスーパーや飲食店があったら良いと思う。
- ・「病院」、「農業」、「柳瀬川」
- ・「自然を大切にしている清瀬市」というイメージが広がるような環境対策を実際にくり広げてほしい。
- ・緑地。・病院。
- ・近くにスーパーが有り、緑の多い清瀬であってほしい。
- ・四季折々の花が咲いている公園、道路がある街。
- ・畑のある街、あくまで田舎であり続けること。
- ・「環境整備の計画がされた」自然豊かな清瀬。無計画な土地の切り売りが横行しているように感じる。
- ・宅地化が異常に進み緑がなくなっている。緑地化を進めてもらいたい。
- ・住宅周辺の道路の整備が少し遅れている。近くで新しく整備しているところとしていない所の差が目立つ。ちゃんとやってほしい。区別しない様に理由がわからない。また住んでいない家もあり今後は増えていくと住みづらくなる。市でも対応してほしい。緑地の設備が今ひとつ雑であり、周辺の美化に今後維持していったほしい。
- ・清瀬市の由来は知らないが、昔は空気の澄みきった町、柳瀬川もあり、自由に遊べた。そういう意味では自然を守ってほしい。
- ・畑が多く、新鮮な旬の野菜が食べられる。
- ・緑の豊かさ
- ・緑が多い街。自然と共生出来る街。
- ・柳瀬川の水质が改善され、水遊び(キャンプ等)できる、名前の通り清らかな瀬がある都市(街)。
- ・清瀬市の立地を考え、自然の多い生活しやすさ考えることが必要。漠然と緑地保護区を設けるのではなく、その地域の人々の生活に溶け込むように考える。幼、小、中、高と学校生活の中で環境について様々な教育をし、親参加することで未来の社会を支える者たちを育てることも環境を考え、目的を実現するには必要なことだと思う。
- ・無人野菜売り場で旬の野菜を買う事ができるので季節を感じる事ができるので、「旬の野菜をどこでも買える清瀬」環境が整えていないとこのようにはできないと思う。
- ・集中豪雨に対し、下水道の整備が弱い。早急に対応を希望する。・住宅街を抜け道として使用する車が多い(かなりのスピード)安全性が低い。・空き屋が多く安全性に欠ける。
- ・緑豊かな町
- ・清瀬市に住んで40年近くなります。緑豊かで住みやすいです。現状維持でいいと思います。
- ・農地や雑木林を減らさない。住宅区これ以上増やさない。
- ・施設の発展と既存の緑の保全の両立。
- ・緑の保全、畑を守る。
- ・自然を残してほしい。
- ・緑が残る街。
- ・東京都の中でも自然豊かで静かなイメージなのでそこは大切にしてほしいと感じました。
- ・緑の多い街。
- ・閑静な住宅地。・自然と暮らせる。・病院が多くある。
- ・住みやすく夜間静かな環境、子育て等がしやすい緑豊かな環境。
- ・緑の多い、やさしい街。
- ・人の手が程良く入った、緑豊かな美しい町
- ・自然がいっぱい。でも、生活するにも便利。(お年寄り)
- ・緑を更に増やしたい。
- ・身近に自然が感じられる都市
- ・緑
- ・自然を農地を大切に生活、市民にその意識が高まるようになることを願ってます。交通マナーが悪い感じなので子どもから自転車や交通ルール教育をすることで未来の底上げを。
- ・緑と町が融合した市
- ・『清瀬』の名の通り水質の良い川、治安の良い街、適度に自然が豊かな街、引越して6年ちょっとですが、清瀬に家を買って良かったと思っています。市役所の場所は少し不便ですがきれいになって窓口も明るく良いと思います。
- ・緑多い子供達も安心して楽しくのびのび遊べる空間が増えて日々元気な子供声が聞こえる温かく安心な町になれたらいいですね～
- ・東京都でありながら自然豊かな街であり続けて欲しい。気軽に川遊びができる場所は貴重であるし、また雑木林も、管理を行き届かせ市民が立ち寄りやすい環境にしてほしい。例えば、暑い日は避暑となるような場所、寒い日も焚き火やテントにこたつなど(もちろん、延焼しないよう安全管理はしっかりと)ワークショップで市民が集まるような場所として活用できるといいなと思います。
- ・まずは歩道を整備して安全に歩ける街にしてほしい。夜も真っ暗で危ない。
- ・ポイ捨てを許さない
- ・税金が安い(補助が多く住みやすい)
- ・綺麗で便利
- ・ひまわり
- ・作物豊富で地産地消が可能な未来
- ・野鳥の集まる清瀬市
- ・ほどよい田舎感が残って欲しい
- ・移動しやすい交通インフラの充実

- ・自然豊
- ・水害被害なし
- ・移動が楽ちん清瀬市
- ・住み心地の良い町
- ・子どもから高齢の方まで安心して暮らすことができる環境になってほしい
- ・緑の街
- ・緑豊かなのに、交通の便が良い清瀬市
- ・清瀬の昔ながらの自然を維持して大切にしてい
- ・自然
- ・緑が多く、静かで、安全で住みやすい街
- ・優しい町
- ・車を使わず、自転車等で移動できるように、自転車が安全に走れる車道の整備
- ・”緑が多く、散歩などできる遊歩道のある環境”
- ・自然と共存
- ・穏やかで子育てしやすい環境
- ・子育て世代への補助、減税。
- ・自転車を走りやすく道を整備してほしい
- ・緑が残りつつ若い世代が住みやすい街
- ・緑豊かな環境、子供たちが自然と触れ合える環境の多い町
- ・自然の中でバーベキューができる等、市の財源になる様な運用方法で活用を検討してほしい。道路が狭く行き止まり(どんつき)の道が多すぎる。災害時や市街の人に不便なので地主やディベロッパーに対して強制力のある方針を示してほしい。
- ・自然溢れる都市
- ・子供に優しい都市
- ・電車の急行停車駅であり航空公園レベルの大きな公園があれば、住み続けたいイメージに近いと感じます。
- ・緑が豊かな環境
- ・緑の多い市。しかし、ただ田舎じゃない。
- ・清潔感のある自然あふれる街
- ・東京都の中で緑豊かな地域
- ・自然が感じられる場所がある
- ・美しい自然と共存している街
- ・クリーン
- ・畑や川と共生する都市、清瀬
- ・空堀川など、川周辺の整備(夏は草が生えすぎていて、歩道も塞がれてしまうのため、こまめに整備してほしい、秋になっても長く生えたままの草木が多いので、もう少し整備してほしい)
- ・駅周辺は整備され発展しているが、少し離れれば自然が豊かな街。
- ・子供を育てやすい
- ・里山的自然
- ・ヤマユグが見られる緑豊かな街
- ・緑を大切にしたい。自然豊かな町
- ・空気のきれいなきよせ
- ・子供たちが安心して暮らしていけるまちづくり
- ・自然が残る街並みが清瀬のいいところだと思うので、なくならないよう保護してほしい。
- ・ベッドタウン
- ・のどかな東京都
- ・畑を含めて緑が多いイメージ
- ・公共の交通や設備の充実した街
- ・子供達にとって心豊かに成長できる環境
- ・管理された自然
- ・都心に便利に行け、緑豊かで住みやすいところ
- ・全市民が住みやすい街
- ・寂れた商店街の有効活用を模索して商いとしてでも住居としてでも人がいる環境を作り防犯の観点からも人通りの少ない、暗い、危ない道を減らして安全に住める街にしていきたい。街灯も少なく駅周辺でも怖いと感じます。南口の風俗や飲み屋など風体からして怖い方も多い。数値を確認したわけではないが体感的に外国人も増えていて知らない国の言葉が飛び交ったり、集団で行動していたりと不安に思うことも多い。
- ・畑なども今無くて家が段々立ってきちゃっててるのでそういうのも残して欲しい。
- ・徒歩や自転車での移動が多い中、交通量が多く車道との境目が少ないと感じました。歩道が整備されるとより良いと思います
- ・綺麗な川と自然豊かな町
- ・老若男女が、楽しめるまち
- ・病院や研究所などの公共施設に緑がある町
- ・緑と柳瀬川と農業がバランスよく存在する空気のよいまち
- ・畑や緑地を残しながら、自動車とバスに依存しない交通網ができてくれると良いと思う。
- ・豊富な緑を活かした、自然や生き物が身近な街
- ・親の代でお上から畑をやって生計をたてるなら安い税金で土地を与えてもらい現在その土地で農業をやっている人は少なくなり何も生産していない土地がかなりあり無駄。親が亡くなって宅地化され家は増え人は増えたがバスの本数はドライバー不足で激減し満員で気持ち悪くなる。又スーパー、コンビニ、レストラン等少なく買い物難民もいて緑、環境はいいが年寄りが住むには大変かも
- ・子供からお年寄りまで安全で暮らしやすい環境
- ・緑豊かな土地
- ・子供が過ごしやすい街
- ・市内の樹木の量の現状維持と管理
- ・中央公園の、色々な施設の複合化は良いと思いますが、これからの人口現象に伴い、維持費のかかる 2 両の鉄道車両はいりません。より低コストで、長期的に維持出来る事が、これからの市民の為になり、持続可能な街づくりに繋がると思います。

2)あなたがずっと大切にしたい、清瀬市に残しておきたいと思う場所や施設、風景、伝統行事などを3つ教えてください。

- ・清瀬金山緑地公園
- ・けやき並木
- ・清瀬御殿山緑地
- ・ラーメンそうすけ
- ・図書館
- ・緑の多さ
- ・ふせぎ下宿
- ・柳瀬川沿いの歩道
- ・畑を残してもらいたい。
- ・富士山神社火祭
- ・るぽ(喫茶店)
- ・東京病院にある緑はずっとあると良い。
- ・散歩していて気持ちのよい川沿い
- ・ケヤキ、志木街道の樹木
- ・西武線清瀬駅
- ・市民まつり
- ・お祭
- ・清瀬せせらぎ公園
- ・児童センターころぼっくる
- ・水天宮
- ・中清戸獅子舞を保存し、もっと広めてほしい。
- ・カタクリやキツネカミソリなどが咲く保全緑地
- ・昨年転入してきたのでわかりません。
- ・緑地
- ・けやき通り
- ・農地
- ・神社の祭礼
- ・商店街の催し(きよせ市民まつり他)や施設(病院学校 etc.)などのイベント(学園祭、夏まつり秋まつりなど)
- ・中央公園
- ・柳瀬川回廊
- ・柳瀬川
- ・松山の雑木林
- ・けやき通りのけやきによるトンネル(初夏は特に。)
- ・中里富士塚
- ・御殿山
- ・柳瀬川から見える富士山の姿。
- ・緑と花がいっぱいの緑地
- ・生産緑地
- ・けやき通り(市のメインストリート)
- ・柳瀬川沿いの桜
- ・清瀬市郷土博物館
- ・けやき通りのけやき
- ・夏のお祭り
- ・南口清瀬ふれあい通り
- ・農業祭り
- ・わんぱく相撲
- ・ひまわり畑
- ・カワセミの飛び風景
- ・柳瀬川の桜
- ・柳瀬川沿いの桜並木
- ・郷土資料館や古いもの大切にしてきたものと保存していきたい。
- ・生垣
- ・清瀬ひまわりフェスティバル
- ・緑のある公園
- ・空堀川
- ・火の花祭り
- ・柳瀬川の桜並木
- ・川、緑の美しさ
- ・清瀬市立野塩図書館
- ・駅前の花のある風景
- ・緑と土が多い場所
- ・台田団地西側の桜並木
- ・下宿囃子
- ・静けさ(元町 2 丁目)
- ・国立ハンセン病資料館
- ・下宿地域市民センター
- ・柳瀬川の桜堤
- ・台田団地脇の柳瀬川周辺
- ・駅前ひろば祭り
- ・清瀬せせらぎ公園に生息するカタクリやホタル(東京都では珍しく、市外から足を運ぶ人もいます)
- ・神社、仏閣

- ・緑
- ・神社
- ・雑木林
- ・東星学園の林(小学校がここでした。野生動物がたくさんいたので残してほしい)
- ・広大な農地
- ・八小の校庭の桜と芝生、キンモクセイの大木
- ・点在する雑木林
- ・駅前図書館以外の図書館
- ・各地区の祭りは残したい。
- ・富士塚
- ・清瀬松山緑地保全地域
- ・金山緑地公園
- ・野火止用水等、歴史的建造物
- ・市内すべての川辺、池、林の保存
- ・けやき通りのけやき
- ・金山公園
- ・緑豊かな雑木林、農業の田畑をまもっていかたいいな。
- ・下宿、柳瀬川沿いの桜の木
- ・金山公園まわりの緑
- ・柳瀬川の水辺
- ・畑
- ・台田団地前の桜並木
- ・コロボ
- ・森林
- ・空堀川、柳瀬川の散歩道
- ・柳瀬川金山緑地
- ・けやき通り沿いの農地の保全
- ・中央公園の木(意外と多くの野鳥が来ていました。)
- ・日枝神社
- ・野火止用水
- ・早春に咲くカタクリやイカリ草等の自然林
- ・清瀬ふれあい通り
- ・金山公園中心に柳瀬川の清流を守ってほしい
- ・商店街
- ・里山
- ・子ども達の遊び場(下宿のプールなどは無くさないで欲しかった)
- ・駅前やけやき通りの木を切らないでほしい。鳥のすみかがなくなり、自然の鳥が減っている。フン害対策は木を切る以外の対策を。
- ・市民プールは残してほしい。
- ・どこでもいいです。人がまわりにいれば。
- ・桜
- ・清瀬駅
- ・旧森田家
- ・にんじん畑
- ・清瀬せせらぎ公園や金山緑地公園といった緑地帯
- ・清瀬市に転入して 10 年足らずなので、分からない。
- ・水再生センター、柳瀬川
- ・子どもや高齢者が使いやすい地域のニーズに合った「図書館」の充実
- ・空堀川流域
- ・全生園
- ・市民祭り
- ・富士山が見える環境
- ・せせらぎ公園
- ・周辺のおばけ山の散歩道
- ・柳瀬川の清流化
- ・清戸の獅子舞
- ・下宿林やふせぎ
- ・柳瀬川の歩道、周辺
- ・松山出張所
- ・農のある風景
- ・既存の畑等の緑
- ・環境
- ・けやき通りの並木道
- ・お寺
- ・空堀川、柳瀬川周辺の自然
- ・空堀川等の遊歩道(ウォーキングには最高)
- ・けやき通りのケヤキ
- ・農地、直売所
- ・空堀川の鳥や魚(とても静かで美しい風景だと思います)
- ・清瀬金山調節池
- ・清瀬市に住んでますが そこまで詳しくないので分かりません
- ・ふせぎ
- ・森林や畑
- ・金山緑地公園の蛍
- ・柳瀬川沿いの散歩道

- ・柳瀬川とカタクリ
- ・病院街と柳瀬川周辺の緑
- ・ひまわり
- ・森や林などの緑があるところ
- ・ひまわりの風景
- ・こども図書館
- ・柳瀬川の河川敷
- ・病院
- ・夏祭り
- ・お盆
- ・空堀川沿いの自然
- ・自然
- ・環境学習、生態学習ができる緑地公園
- ・空堀川沿いの遊歩道
- ・結核療養施設跡地
- ・清瀬第八小学校近くの雑木林
- ・あきなちゃん
- ・志木街道の街路樹
- ・自然豊かな街並み
- ・農業祭
- ・下清戸の畑
- ・旭ヶ丘団地の公園や祭り。新座あたごにつながる街並み
- ・緑や自然
- ・野菜の直売の盛んさ
- ・黒目川
- ・金山公園と柳瀬川周辺
- ・清瀬中里緑地保全地域(A 地区)
- ・金山緑地。家族皆でホタルを見ることができた。
- ・けやきまつり
- ・農のある風景
- ・郷土資料館
- ・粗大ごみの受付場所
- ・下宿の行事
- ・子供が安心して遊べる公園
- ・城前橋から見る富士山
- ・あわをどり
- ・雑木林、畑、…台田の桜
- ・子供がいつも楽しく過ごせる保育園、幼稚園
- ・各公園の樹木
- ・けやきの多い道路
- ・中里火祭り
- ・林
- ・柳瀬川と桜並木
- ・柳瀬川の自然
- ・プール
- ・けやき通り添いに見える畑のある風景
- ・緑地 A 地区 B 地区
- ・伝統的なお祭り
- ・清瀬入小
- ・畑道とひまわり畑
- ・古くから残っている森
- ・農産物直売所
- ・田、畑
- ・かたくりの花が咲く雑木林
- ・けやき通りの畑
- ・柳ヶ瀬川の桜
- ・空堀川、柳瀬川の川辺(緑や生物多いので)
- ・キョセケヤキロードギャラリー
- ・湧水
- ・台田団地付近の桜並木
- ・市民が集う公園
- ・野塩地域市民センター等の出張所
- ・珈琲るぼ
- ・きよせ市民まつり
- ・清瀬市農業まつり
- ・清瀬中央公園
- ・森林(緑)
- ・直売所
- ・駅前商店街の夏祭り
- ・清瀬市立駅前図書館
- ・柳瀬川(雑草が多いのできれいにしてほしい)
- ・松山緑地保全地域
- ・雑木林ときれいな川が流れている場所
- ・清瀬金山緑地公園と川の景観
- ・柳瀬川の桜の木

- ・農家さんが出している「清瀬野菜」。あちこちにあり、おいしくて新鮮。
- ・清瀬市立中央図書館と隣接する竹林
- ・清瀬市全ての神社
- ・雑木林、農業生産地
- ・清瀬金山緑地公園と柳瀬川
- ・中里の富士塚
- ・清流
- ・伊藤記念公園 台田の杜
- ・カワセミのいる柳瀬川
- ・三小の桜、台田団地前の桜
- ・けやきでなくて、丈の低い木にして下さい(大きくなならない木)。
- ・内山運動公園
- ・柳瀬川の動植物
- ・林、田畑、寺院、人の手の入った自然
- ・火の花まつり
- ・柳瀬川、ウォーキングする道
- ・台田の桜
- ・駅を中心とした南・北の施設の平等価
- ・けやき通りの昔のけやきがある通り(今は、けやき無い通り)
- ・子児病院(南口)跡地にある松林(雪景色が素晴らしい)
- ・福祉施設の充実、わかば会を応援してほしい
- ・連日あちこちと行われる夏祭り
- ・野菜農業、酪農、果樹園
- ・子供が遊べる川
- ・中里三角公園の跡地に家が立ち、公園がなくなった。ブランコがない。
- ・1人じゃないっていいな。
- ・柳瀬川、桜並木
- ・スーパーサカガミ清瀬店
- ・柳瀬川の橋から見る夕日
- ・気象衛星センター、農地
- ・鳥が戻る豊かな緑
- ・清瀬下宿の図書館
- ・柳瀬川流域
- ・けやき通りの並木(ギャラリーは含まない)
- ・空堀川、柳瀬川沿いの緑
- ・緑地の美しさ
- ・中清戸のしく舞い
- ・各自治体のお祭り
- ・台田団地周辺の桜
- ・台田の社(オオムラサキ)
- ・清瀬校横の緑地(整備の方、良いのかなと思う。)
- ・中央公園の跡地
- ・竹丘図書館
- ・雑木林のある風景
- ・既存の施設
- ・郷土博物館のイベント、餅つきなど
- ・安全
- ・中央図書館
- ・きれいな柳瀬川
- ・市役所の出張所
- ・保全林
- ・金山公園、川のキレイさ
- ・圓福寺双樹堂(400年記念の二重塔も如来像も素敵です)
- ・野菜の畑
- ・南口商店街
- ・志木街道
- ・川 桜
- ・西友
- ・保育園・小学校<学級>の数
- ・ゆりかご幼稚園銅像辺りから見える富士山
- ・けやきロードフェスティバル
- ・金山緑地
- ・コスモス畑
- ・広い公園
- ・ハンセン病関連施設
- ・明治薬科大学
- ・公園や畑などの自然の多い風景
- ・清瀬駅周辺のお祭りイベント各種
- ・柳瀬川沿いの自然
- ・台田団地
- ・日枝神社の祭
- ・けやき通りの街路樹
- ・東京病院の桜の園
- ・柳瀬川のきれいさ
- ・ひまわり畑のお祭り

- ・松山緑地
- ・清瀬中里緑地保全地域(B 地区)
- ・下宿の祭囃子
- ・(すでに廃止が決まっていますが)元町の子ども図書館
- ・都営中里団地側の河川敷
- ・台田団地の桜並木
- ・アミューから見える富士山
- ・小さい子が遊べる公園等
- ・一年に 1 回やる。道路でやる出店。
- ・緑が多いところ
- ・農地と野菜直売所
- ・柳瀬川周辺
- ・松山保全緑地
- ・柳瀬川の桜(台風団地)
- ・畑、果樹園、風景ならびに(地場産の食物)
- ・かたくりの自生地
- ・東京病院の雑木林
- ・大型運動場室内型
- ・台田の桜並木(柳瀬川添いの桜)
- ・中里緑地
- ・柳瀬川(水質の良さ)
- ・桜並木
- ・魚のとれる川
- ・自然保全(緑地保全や神社仏閣の保全)
- ・木々
- ・かたくりの丘
- ・イチヨウ並木
- ・粗大ゴミ収集所
- ・けやき通り
- ・綺麗な川
- ・柳瀬川の景色(桜並木、子供の姿)
- ・農作物をつくる畑
- ・神社や木に包まれた場所
- ・清瀬梅園給水所の赤松群
- ・清瀬駅前の西友清瀬店辺りまで続く花壇
- ・台田団地のさくら通り
- ・石碑、石仏
- ・空気
- ・旭が丘のイチヨウ並木
- ・スーパーマーケット
- ・鳥の住む巨木
- ・総合病院
- ・貸し農園
- ・野菜の無人販売。果物の直売など。
- ・柳瀬川の水の綺麗さ
- ・川で遊ぶ鳥たち
- ・清瀬のうちおり
- ・伝統行事
- ・オーケーマート
- ・清瀬高校
- ・富士山祭り、水天宮祭りなどの伝統は続けてください
- ・三小にいるヤギに声を掛けている大人達
- ・代田台地側の桜並木
- ・子供が遊べる公園、スポーツ施設
- ・地域ネコを見かけなくなった。街の中で暮らしている野生の動物たちと共存できる環境を残してほしい。整備された町づくりだけがきれいな街づくりではない。
- ・声かけが出来る町
- ・竹丘地域周辺の緑
- ・市役所、病院(救急医療)
- ・駅に近い公共施設(市役所業務、ボランティア活動拠点など)
- ・気象衛星センター
- ・水鳥などの生息地、(おなが鳥、カワセミなど)の鳥
- ・下宿の埼玉県城跡
- ・せせらぎ公園のホタル
- ・下宿ビオトープ
- ・雑木林のキンラン、ギンランなどの野生欄
- ・気象庁
- ・台田団地の桜
- ・きれいな柳瀬川の風景
- ・駄菓子屋
- ・街路樹
- ・緑の豊かさ
- ・上清戸 1 丁目(ダイソー裏)あたりの畑風景
- ・獅子舞い
- ・学校

- ・無人販売所
- ・国立療養所多磨全生園
- ・市民プールの復活
- ・けっけんの森
- ・家が乱立していないこと
- ・野塩図書館
- ・水天宮、日枝神社の緑多い風景
- ・だいぶ少なくなってしまったが駅から離れるにつれて増えていく畑の風景。住宅が増えて悲しい
- ・南口商店街の活気
- ・清瀬中里緑地保全地域(C 地区)
- ・畜産農家
- ・清瀬市民祭り
- ・きよせ環境川まつり

3)地球温暖化対策の取組や制度等、アイデアや町へのご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

<自然>

- ・草の生えるのが早く大変ですが、早く刈ってほしいです。
- ・樹木の伐採をやめて下さい。中央公園。
- ・雑木林や畑がどんどん宅地が変わっていくのは悲しい。
- ・農地の急激な宅地化が進行しているが、緑地が失われていくことに懸念がある。開発と緑地保全の為に、将来的には条例等で計画的な街作りが必要と思う。
- ・ケヤキを伐採したらケヤキの若木を植えるべき。コストはかかると思うが切様も除去する。
- ・中里にある緑地保全地域は中に入って遊ぶことができます。子どもたちが自然物を使って生き生き自由に遊べる場所です。他にあまりない(入れない)のは何故でしょう。見るだけの自然って、人工的だなと感じています。もう少し入れるエリアがあったらうれしいです。
- ・お願いはボランティア、シルバーの方達の力を借りて道路へはみ出た枝、公園の低木の整備をしてほしい。公園がきれいだと人が集まりやすくなると思うので。
- ・自然豊かな公園を増やして欲しい。
- ・緑は充分多いと感じますが、雑草の枝や葉が伸び放題です。車を運転していると、草木や雑草が視界を遮り、人の確認が遅くなってしまいます。自転車が車道を通る時など、枝や葉に当たらないようにふくらんで走行されるとヒヤッとします。緑が多いことは環境には良いですが、安全に暮らすにはきちんとした管理が必要になります。落ち葉もそのままなので、短時間に雨が降った時、道路がすぐに浸水するため安全とは言えません。
- ・金山緑地公園及び川にてキャンプ、BBQ を行う事に対して、拡充は行わず現状の範囲でマナーを守り、度を超える行為のないよう、自然の中で子供達が楽しく遊ぶための利用であってほしいと思います。
- ・既にある樹木(神社等を含む)、雑木林(市または個人所有)の保護、公園等公共施設における樹木の拡大。
- ・夏場、柳瀬川でキャンプをする人を見かけます。自分のゴミは必ずゴミを残さず持ち帰る様、看板を出して、皆できれいな柳瀬川を見てみたいです。
- ・自然が多いのは良いが、公園等が「放置」状態に見える。定期的に草刈り等のメンテナンスをして欲しい。畑近隣でヤスデ問題が発生しており、畑所有者へ対策するよう発信してもらえると助かります。
- ・住宅が増え続け、自然や田畑がなくなる事を危惧しています。
- ・樹木の保存で環境を良くする。住宅地の道路整備を進めて、歩きやすいまちづくり。農地が整備された風景。ホテルの生育のため、水のきれいな川の維持管理。空地の利用が十分にされていなくて、雑然とした印象のある清瀬を、都会的な町にする。
- ・自然、動物、人間の共存。建物を新たに増やすのではなく、森林を増やしてほしい。野生動物の居場所が少ないのでつくってほしい。最近、畑がどんどん少なくなっていて、家が増えていっているのが気になります。
- ・人の管理によって残るべき自然、林、田畑、安全な川辺、車の使用制限など、自然に近い空気、水、土、草花。
- ・空いている畑に花を植える。とにかく花畑を作って、はちみつ用&映えスポット&砂嵐対策の一石三鳥。
- ・自然災害を防ぐ整備も大切だけど、生き物が住めるような改善の仕方を考えてほしいです。
- ・畑と雑木林は出来るだけ残してもらいたい！
- ・竹丘地域の公園がここ数年でどんどんなくなっているの、子供がかわいそうに思う。元々あるものを大事に使い続けていくような社会がいいと思う。
- ・名物となる位、ひまわりに焦点を当てる。
- ・便利で快適な生活をするため、あるいは、自治体の経費削減のために、自然環境(生物圏など)に大きな犠牲を強いている現状があり、そのことに心を痛めている市民や団体がいることを、市長や担当する部署の方々に知って欲しいと思っています。①樹木の保護、樹木の伐採：ムクドリ被害や倒木の心配、支障枝の剪定など問題点はあると思う。②地域の公園管理：小公園の遊具の中途半端な放置期間が長い。③アライグマなどの対策。④公園の確保：清瀬は市有地をかなり売っているように見えるが大丈夫なのか。新公園構想にも大きな電車コーナーで場所を取ってしまっているが、どこに防災公園はあるのか。⑤雑木林の売却は控えてほしい、緑地の確保を。⑥水辺の保護：「せらぎの家」なぜ急に説明もなく閉鎖となったのか。問い合わせるとビオトープの利用頻度が少ないとの説明であった。ネットの説明では老朽化のためとあった。それならば新対応があるということか。⑦ペットに関わる対策：他の市の取組みも参考にして欲しい。
- ・(1)に書いた事と私自身田舎育ちで自然で遊びながら育ったので、近くの公園で木登りやセミ取り、ちょっとした岩場でトカゲ取り、川でザリガニ取りなど友達と一緒に外の自然や生き物に触れてきました。東京に住んで今妊娠しているので生まれる子供にもそういった機会の方が欲しいなと思っていますが公園が少ないイメージでどうしようかなと思案中です。セミやトンボなど大人になって職場の中に入ってきた時に誰もつかまえて逃がせないのに驚きました。「子供時代取らなかった。」と言いながら私がひょいといつかまえて外に逃がすと感じられます。小さい頃の「捕まえて逃がす」経験は大人になっても活きるのだなと思いました。
- ・緑を残す。
- ・水辺などにコスモスの花を植えるなど、花のある景観の美しさなど。
- ・山林、けやき通り等、木を守ってほしい。専業農家は少なくなりましたが、今は店頭販売等していますが、いいもの

は市とかが援助して守ってほしい。

- ・屋敷林のアオバズク(鳴き声)やカッコウ、夏のウグイスの鳴き声が最近聞かれなくなりました(身近な場所で)。生息環境を再現することを願います。柳瀬川は上流域の市町村と協力したり、金山公園は所沢市と一緒にできることを探したりすればいいと思う。
- ・近年、清瀬市では緑被率が減少している。その減少傾向を抑えるためには清瀬市がより積極的に緑地の公有化、生産緑地制度などの優遇税制に関する取組みを推進していくべきだ。
- ・老木化した樹木による事故を防ぐために市内の緑地保全地域などの森林の定期的な点検、手入れを行うべきだ。
- ・農家が畑を切り売りして一戸建ての住宅が建つことが繰り返されている。そうならないような対策を取らないと数百年後には農地や林はなくなり、空き家だらけの光景が広がっていると思う。
- ・家が建って住民が増えるのも良いのかもしれませんが、自然が無くなってしまっている感じがします
- ・古くからある雑木林を活かした町づくり、東京都の中の自然のオアシス
- ・農地の美化
- ・清瀬に 24 年住んでいます。野塩地区ですが、夜に小動物が歩いているなど東京とは思えないのどかな所が気に入っています。家の近くで言えば空堀川が気に入ります。今も定期的に草の刈り取りをしていただいているが、季節的なものか草が伸び放題な事も多々あります。環境面もそうですが防犯面でも不安に思います。
- ・緑地を維持してほしいと思っています。
- ・雑木林をこれ以上減らさない
- ・無理な環境活動をせず、自然な形で作られる自然を守れば良いと思う。都心と郊外を繋ぐ地域として、それが一番自然な形だと思う。
- ・雑木林、街路樹や公園、学校、グラウンドの木は手入れをして残してほしい。暑い時期に木陰があると全然違う。今は安易に切りすぎていると感じる。十小で蚕学習ボランティアをしているグループに所属しています。カイコではありませんが、美しい緑色の繭を作り、その繭から糸が取れるヤママユというガがいます。10年前は清瀬市内で見られたヤママユが、ここ数年は見られないと、清瀬の自然を守る会の方から伺いました。ヤママユは幼虫もきれいな緑色でかわいらしく、成虫は大型でモフモフ、美しい模様のガです。ヤママユの繭から取れる糸は「繊維のダイヤモンド」と呼ばれる、光沢の強い、美しい糸だそうです。オオムラサキと共に、ヤママユも住める清瀬であって欲しいです。清瀬市の郷土博物館で、ヤママユの繭や糸を使ったワークショップをしていただけたら非常に嬉しいです。
- ・河川敷の整備
- ・清瀬の魅力向上のために、緑と自然の維持を推進する。生産緑地などの減少を防ぐため、農家と協力して、清瀬の野菜の魅力を市民にもっと知ってもらう。メディアを活用し、清瀬の野菜や緑、自然環境を対外的にも広く PR すること、経済力が上がる。自然環境がよく、住みやすい、商業的にも魅力あるまち清瀬が創出できる。
- ・緑を保全し、空気の恩恵を受けられるようにする。

<生活>

- ・高齢者がもう少し働ける場(パートでも可)を増やして欲しい。
- ・夏季に竹丘周辺に出る暴走バイクの騒音対策。通行困難になる伸びすぎた雑草対策。
- ・自転車の歩道走行時のマナーの悪さ(横断歩道は自転車を降りて押して歩くこと)。
- ・清瀬駅北口の再開発、志木街道の整備、新小金井街道の開通、清瀬もそれなりに発展してきた、住環境と本当に良くなりました。皆様の努力に感謝です。
- ・居住地が(竹丘)のため、きよバスをよく利用させて頂いています。けれど、2 時間に一度来るところなので、もう少し本数が多ければと思うことがあります。
- ・車や人通りが多いのに狭すぎる道、子供だけで自転車で移動するには危ない道が多すぎます…。市役所通りや志木街道(信号も変なつくりの箇所があり、年配者や子供に危ないのです…)(点字ブロックのある側、歩道がボコボコで危なすぎます。)など…。もっと誰もが歩きやすい、安全で美しい道の整備をして欲しいです。あとは最近カラスが多いと感じます。子どもが怖がっています…。何か対策はないでしょうか。
- ・散歩するのに歩道が狭く危なく感じる道路が多いので、歩道の整備を進める。
- ・他市より引越して 30 年が経過しました。以前より車での通行は楽になりましたが、逆に子供や高齢者などには優しい道ではなくなった気がします。近道を捜して速度を上げて通り抜けする車などは昔より増えました。歩行者が安全に通行できるよう整備していただきたいです。
- ・中央公園の再整備は結構だが、駐車スペースがあまりにも狭すぎる。現状の出張所もどこも駅から遠く不便なのに駐車場が少なすぎることを踏まえて検討してほしい。
- ・近所で野焼きによる煙の被害がありとても困っています。注意のみならず対策や厳罰化を望みます。
- ・歩道を自転車専用スペースを出して走行していたり、歩行者が自転車を譲らなくてはならない場面があるので、交通ルールの認知、認識、見守りを実施されるとよいかと思います。その他、緑と共存するまち清瀬をもっと表に出していっても良いかと思います。神社、仏閣の保全も希望します。
- ・ムク鳥がこれ以上増えないようにして欲しいので、木の伐採もやむを得ないと思う。
- ・清瀬市、東村山市、所沢市の市境の交通環境の整備。自転車レンタル。駐輪スペース。
- ・パトロールの強化などによって安全な生活環境を守ってほしい。
- ・公園を増やしてほしい。新座までバスを通してほしい。
- ・子供達が遊べる公園が減ってしまったので、安心安全に遊べる場所、公園を作してほしい。
- ・ムクドリ(かどうか不明)の大群をなんとかして欲しい。駅前にはいなくなったが、あちこちで見かける。市に言っても仕方がないのだが、道が狭くて自転車に乗りにくい。踏切を高架にして欲しい。踏切をなくして高架にして欲しい。四季を感じられる木、植物を増やす。
- ・子どもが楽しく遊べる公園、大人がゆったり過ごせる公園環境の整備をしてほしい。ごくごく小さい公園(小さすぎてボール遊びすら出来ない。禁止事項も多すぎて、何ならして良いのか?状態)がとても多く、草が茂っていて誰も遊んだり利用したりしたいと思えないものが多い。治安の面でも不安。ゴミやたむろの問題もある。見直してほしい。
- ・公園に関しては遊具も必要なのだろうが、何もない芝生だけの広場といった所も必要だと思う。子供達が走り回れたりボール遊びが出来たりする所もあるべきだ。
- ・道路が悪いので、区画整理等を実施し、安心して歩ける歩道を作してほしい。
- ・治安が悪くならない様にするため、ゴミが落ちていたり、臭いが悪くなったりすると、どんどん町が汚くなるので、

安全な町であってほしい。ガラの悪い外国人が増えてきているように感じていて不安です。

- ・公園などの施設によって子供達が安全に遊べるように。
- ・子供たちが外で自由に遊べる場所。例えば、バスケット、サッカー、スケボー等。
- ・清瀬市の長所、強みである農業を量・質ともに更に良いものにしていただきたいです。漫画サザエさんに出てくるような子供が自由に遊べる空き地、原っぱのような場所があったら良いと思います。
- ・駅前の交通に不安があります。車、バス、自転車、歩行者がみな安全に使えるようになって欲しい。
- ・ムクドリが多い。ペランダを汚すのでもう少し減らして欲しい。お祭りが多くて嬉しいが、もう少し飲食店のお店が増えると嬉しい。
- ・高齢化が進んでいることを日々感じています。危険個所の横断歩道、信号の設置、歩道の整備などが必要な所は多いと思います。また畑がどんどん減り、急速に住宅が増え、清瀬の「農ある風景」を守っていく対策も必要だと思います。
- ・駅前(南口)の路上駐車が多いため、自転車で通る際に安全性に問題がある。
- ・市道をもう少し整備して欲しい。2 級市道の 0219 などは雨天時、畑から土が脇の駐車場の排水がそれぞれ流入し、川の様になる。(歩けない)
- ・けやき通りの歩道に歩行者用と自転車用の段差をつけ、エリア分けしてほしい。歩行者が危ない。
- ・自転車の交通マナーの徹底:母親が子供を乗せて逆走しているのをよく見かける。学校帰りの子供達が横に並んで走ろう。
- ・歩行者のための歩道と自転車が走行する車道の区別をポスターや看板などで周知させて欲しい。駅やペデストリアンデッキとその階段が右側通行だということが一目で分かるようもっと大きな矢印等にした方が良いと思う。
- ・電線を道路に埋設(下水道)。歩道を広くする。(自転車用、車椅子用、歩行者用、キックボード用)
- ・道路、歩道の雑草、柳瀬川の草刈りをもっと増やしてほしい(清瀬市下宿方面)。自転車で車道を通る時、排水溝と車道の隙間を無くしてほしい。
- ・日中も夜も暴走族のバイクがとてもうるさいです。小学校の近くの信号で赤信号を無視したりコンビニ前でたむろしたり迷惑です。けやき通りは特にひどいです。警察に電話しても改善しないのでどうにかして欲しいです。
- ・最近バイクの空ぶかしが増えている。ヘルメットなしでのバイク走行も見えるようになった。環境問題より治安の悪さを何とかしてほしい。昔はもっと平和だった。
- ・駅から 500m 以内の道路は歩道が絶対必要。
- ・難しい事ですが、畑は残してほしいです。新鮮な野菜が食べられるため。
- ・車利用を減らし自転車で移動できるように道路の整備をすすめてほしい。
- ・下水道の早期整備。
- ・小金井街道の渋滞緩和。
- ・普段自転車に乗ることが多いのですが、道がせまく感じる場所が多いです。歩行者、自転車道路を広くしてもらえたらこれからも住み続けたいと思います。また、危ない車の運転をしているドライバーとよくすれ違いますが(一時停止をせず、曲がる、法定速度を明らかに超えている速度の運転、歩行者がいるせまい道路で減速せずすれ違うなど)。安全運転をしてくれる人が多い街になってくれたら定住を考える人もより増えるのではないのでしょうか。よろしく願います。
- ・歩道が狭くて外を歩くのが怖いので整備してほしい
- ・けやきどおりの自転車の通行量が多いため、歩道の草花の幅を半分に、歩道の幅を広げて欲しい。
- ・清瀬駅にエスカレーターを設置してほしい
- ・ひまわり通りのを綺麗にバスも増やして欲しい
- ・旭ヶ丘の内山運動公園の方にはバスが通っておらず、夜遅くにも大きい声で話しながら歩いている方が多いので、バスを通して欲しいです。近くのバス停までも歩いて 15 分から 20 分かかり、この付近は特に高齢の方や小さい子どもが多いので交通の便を改善していただけると助かります。
- ・雑草刈りを定期的に実施
- ・秋津駅と新秋津駅の道を今よりショートカットできるようにしたら、電車を利用する人が格段に増えると思います。自転車で走りやすくなるように自転車専用レーンを設けるなど安全に利用できる道をもっと整備してください。環境について子供への教育という欄がありましたが、子供に清掃などのボランティアを強要し、やりがい搾取は絶対にしないでください。議員の方がしっかりと環境について学ばれたほうが良いです。
- ・散歩道にもなる大きな公園があると良い。
- ・公園内の緑地域と遊戯域の割合を定めるなど、自然を残しつつ清潔感があり、活気ある公園作りをお願いします。誰も使っていない公園、整備されてない汚らしい公園は市のイメージを低下させます。
- ・道路と公共交通の充実
- ・志木街道の歩道の拡幅、自転車道の整備を早急にして欲しい。歩道を歩く人と自転車がすれ違えず狭くて危険です。
- ・狭い道で自転車が歩道を走る人が多く、子どもが事故に遭わないか心配
- ・抜け道において、昼夜問わず車が猛スピードで走るの、子どもが事故に遭わないかととても心配
- ・①40 年前、中央公園は楽しい遊具があり、子供がたくさん遊んでいたように記憶しています。自らも大人になり、行かなくなりましたが、電車などからふと見ると、廃れてしまった感が否めません。『中央』という名の通り、代表的な公園への改革、期待しています。
- ・②同じく30?40年前、東京病院の桜の園は、それは見事な桜の名所でした。リハビリのための通路も整備されていて、患者さん達のリハビリの励みになっていたのではないのでしょうか。今では荒れ放題です。東京病院は緩和ケア病棟を抱えており『患者様のために金木犀を植えました』などと言っていますが、新たに何かを植えるより、桜の園を甦らせれば、緩和ケアの患者様、リハビリの患者様の励みになるはずですし、市民のみならず市外からも訪れる人が増えると思います。(お隣、東村山全生園の桜はわざわざ車で来る方もおられます。)病院と市が協力して、整備することはできないのでしょうか。もったいない場所です。
- ・自転車が安全に走行できる道路を整備する
- ・柳瀬川に親水公園を作る
- ・地元農家と、新住民の交流機会を増やすことが、必要と感じます。歴史的な古いものや行事は農家しか受け継いでいないので、新住民にはあまり理解されないの
- ・数年前に引っ越してきて以来、新鮮な野菜のおかげで食生活が豊かになったと感じている。一方で、駅方面に行くのに公共交通ではバスに頼るしかなく、老後も住み続けられるか心配な面がある。宇都宮 LRT の例があるので、けやき通りか柳瀬川通りに路面電車が走ってくれたらかなり便利になるのでは、とよく家族で話している。

<資源循環>

- ・ゴミの分別が細かすぎて分かりにくいので改める。
- ・公園で中、高生がタバコのポイ捨てが多く見られます。木に燃え移ると危険。
- ・道路にタバコのポイ捨てを止めてほしいです。
- ・ゴミ焼却場の整備を市役所のより先にするべき。ペットボトルやスチロールが分別されていない。
- ・リユース、リサイクルしやすいような情報発信方法にも、いろいろな方の意見を取り入れていって頂けると良いですね。今回、アンケート入力しながら、市が環境について積極的に改善しようとする姿勢を感じることができました。きよせ環境みらいワークショップの登録が終了していました。
- ・ポイ捨てや不法投棄などに対する注意喚起をもっと積極的に取り組んで欲しい。
- ・粗大ゴミの再利用。緑をこれ以上減らさない。
- ・駅前を便利にする。ゴミ箱の設置、清瀬の自販機にはゴミ箱が付いてない所がおかしい。販売と回収はセットで必要だと思う。他の街はゴミ箱あるのが普通だよ。
- ・他の行政、民間も行っていますが、学校やサークルを巻き込んだゴミ拾い競争を行い、市民のゴミポイ捨て、分別の意識向上をねらう。
- ・ゴミがいつもポイ捨てされて汚い
- ・ポイ捨てパトロール、有料ゴミの個別回収にあたり、ボックスに入れるなど対策はしているがカラスに荒らされることもあるため、回収方法を検討してほしい。以前は屋根付きの回収場所だったため、不満を感じることはなかった。住人が荒らされたゴミに気づくまで、散らばったままなのは景観にも環境にもよくないと思う。

<地球温暖化>

- ・自分の夢、清瀬市内に水素製造プラント数ヶ所を作り、隣又は地下に水素がスタービン発電所を作り、市民に電力を供給し排熱で水を湯にして、スパを運営して、家庭の省エネに貢献する施策。けやき、ホールにある、ペラ発電と太陽光のセースを家庭に動入補助。
- ・冬には強い風が吹く日が多いので風力発電はどうでしょうか。
- ・太陽光発電の圧倒的な普及。(補助制度を日本一拡充するなど)
- ・全天候型の農業として、建物内で栽培する方法(水耕栽培)。空屋を利用する農業。
- ・水再生センター(柳瀬川)を利用し、管理釣り場(有料にして、水と命を大切に)。
- ・太陽光発電と風力発電を住宅に導入。
- ・下水道に水力発電を設置。
- ・各住宅への太陽光発電設置補助、山林伐採や自然破壊による太陽光はもってのほか水素と核融合に期待。

<その他>

- ・参加型のイベント等。商業にも得になるイベント、そこから環境にも興味を持ってもらう。ポイントカードの発行など。
- ・バス停に屋根とベンチ。←自動車のかわりに公共交通機関を使ってもらうため。ウォーキングができる公園や道路でもいいのでここが1週何メートルで何メートルです。等、運動ができる場所。(志木市の川のあたりみたいに)
- ・建売住宅増加により、マナーの悪い人間が多くなるので、入手時に注意、指導をする。
- ・環境教育、環境学習について、学校教育よりも家庭や地域活動でこそ行うことを市の環境課等を中心に推進、実践するのが良いと思います。私が子供の頃、親に連れられて町内会の清掃活動をしたことが今自分が居を構えた地域では行われていない。学校で学んでも実践する場や機会がなければ意味はなく、それを設けるのは子供たちが帰る地域社会だと思うからです。時代が変わり、昔のように自治会活動も難しいです。市報で拝見した11月の「市内一斉清掃」など、大変素晴らしい事と思います。
- ・清瀬中央公園に設置される鉄道という事です。とても残念な設置で正直市民に事前説明無く設置のお知らせを知らせるという事に呆れております。市民全体役に立つ公共物を是非お考え下さい。
- ・大江戸線の早期駅設置。
- ・市提供での苗木の配布を定期的に地道にしていって欲しい。
- ・清瀬は小さな市ですが、自然が多い。無理に変化させたりせず、なるべくそのままの状態を以て、その分お金をプールして、いざと言う時(土砂災害や地震の時)に備えると日々の生活が安心できる。柳瀬川そばの崖が心配。だんごさんの横の道を何度も掘り返しているのはもったいない。アスファルトのゴミが出ている。何故何度も舗装したり掘り返すのですか。資源のムダ、費用のムダ、節約しましょうよ。もしかして業者のミスなのでしょうか。ミスだとしたら、費用は業者持ちですよ。
- ・ご当地キャラクターを使ってイベントを増やすと楽しそうです。
- ・サイクリングロードの雑草がひどすぎます。
- ・清瀬市の将来像を具体的に持って、計画的に開発、緑地保全していく。
- ・大型商業施設を市内に来てもらう(住宅増を検討)。柳瀬川(桜、かたくり)のイベントは良いが車社会、駐車場を整備すべきです。ひまわりのイベントも同様です。
- ・子どもが遊べる大きな公園がないのでつくってほしいです(複合遊具や整備された砂場、広い駐車場などのある)。
- ・SNS活用。
- ・清瀬駅を綺麗にしてほしいです。中清戸付近に遊具がある広い公園があると嬉しいです。
- ・環境課の除草作業などを市民ができるよう、スポットワークを導入する。
- ・市道などの草刈りを行き届かせる。高層ビルではなく、木々に囲まれた落ち着いた環境。
- ・昔から住んでいる人と新しい住人との交流。近所付き合いがあまり無い。
- ・子供の意見を取り入れるのはどうでしょうか。子供が参加すれば、親や祖父母など一緒に参加してくれるので、効果が広がるのが早まってしまうと思います。

- ・屋内プールの施設があると良い。
- ・街灯の設置・整備(LEDにするなど)
- ・宅地造成をおさえ、緑や畑を残し将来の子供達に残す。空家は地域の環境、美観に悪影響を及ぼします。しっかりと所有者に管理の徹底をお願いする。清瀬高校裏の雑木林で毎日歩いています。もっと自然とふれあいたいのて遊歩道やベンチの整備を希望します。
- ・人が変わらなければ何も変わらない。権威で物を言うのではなく柔軟な対応を。口だけにならない市であって欲しい。
- ・部分的では無く全体の道幅を整えてほしい。清瀬駅南口にもう少し施設や店等を作ってほしい。
- ・20 年ほど清瀬に住んでいますが、水質も良く、ほどよく人もいて、緑や医療、インフラ系も充実していてとても住みやすいです。現状維持をしつつ環境の改善を願います。ただし、ゴミの分別が細かすぎて辛いです。ゴミ袋にもお金をとらないでほしいです。
- ・「環境」はお金が掛かるものだと思います。市の財政につながるのて、この課題をどうするかがカギではないでしょうか！！
- ・清瀬市の名産品、食べ物、グッズ、自然観光。柳瀬川の長期工事をやめて下さい。弊社では環境省推奨の環境再生・資源循環に対応したポリエチレン袋を販売致しております。ゴミにならない植物由来の澱粉を原料としたマスクを販売しています。1 週間位で分解されます。
- ・清瀬駅南口の開発を進めてほしいです。
- ・少子高齢化対策として、この 2 つを市が積極的に取り組んでももらいたい。言葉だけでなく見本を示してほしい。
- ・環境保全にはお金がかかりますが、削減してはいけない部分だと思います。清瀬は緑豊かな町として、環境にお金をかけて集客、移住を誘致すべきではないでしょうか。民間企業と取組んでお金を落としてもらうのも策だと思います。
- ・自分達の目と足を使え。こんなアンケートで税金を使うな。他人まかせにするな。市内を歩け。
- ・現状維持をお願いします。ケヤキロードギャラリーの彫刻みたいなことはやめてください。無駄。
- ・環境ビジネスに飲み込まれることなく、清瀬は清瀬らしく、良い意味で「田舎くさい」町であってほしいです。
- ・大雨が降ると冠水する場所が多いような気がする。下水道の整備など、もっと考えるべきだと思う。
- ・柳瀬川でのバーベキューが人気なので、ゴミ対策等で有料にしたら良いのではと思った。
- ・市民の声がもっと届くような仕組み作りを考えて欲しい。
- ・市民祭りは少し時間を長くして、ステージを1つではなく西友の前と2つに分けて、時間ずらして2回行う。志本街道方面も賑やかになると思います。
- ・いろいろ難しい。
- ・用事で他のまちを見た時、「わあいいな」といえる所が時々見られるが、なぜか私も分からないが、あなたなら紹介したい所が清瀬にありますかと問いたい。
- ・清瀬市には谷口シロー(漫画家)、ジブリの近藤貴文(アニメーター)、是枝監督(映画)など、清瀬市に住んで清瀬の風景を描いた人がたくさんいます。この場所に看板を建てたり、パンフレットを都庁や清瀬駅に置いて PR して欲しいです。農業を活性化するため投資額が少ない人参を使ったジュース、シフォンケーキ、ドレッシングなどの特産物を作って、農業を応援して欲しいです。
- ・清瀬市は福祉のまち、老後は清瀬でと言われているようです。これはこれで良いことですが、福祉も財源が必要です。税金を上げるため企業誘致なども積極的に行って欲しい。
- ・これからの清瀬市の環境が良い方向に進むこと期待しています。
- ・長年、清瀬に住んでいながら、あまり清瀬を知りません。
- ・今の市長になってから、図書館の閉鎖。旧二保のタイヤの除去。山戸広場中里神社の森林伐採。けやき通りのけやきの除去など、清瀬の良い所を全く分かっていない施策ばかりで憤っています。中央公園に電車は全くいりません。(家族一同)
- ・商業施設などショッピングが楽しめるお店があったら、もっと便利に生活できると思います。
- ・緑地が住宅内にあり、木や花を植え楽しんできました。今までは、住宅の人達で草むしり等、管理してきましたが、老齢になり、市の方をお願いした所、人手と予算が無い為、黒のビニールをひきつめるとの事。今は草を刈ってくれています。住宅が増え、緑を大切にという市の考えに反しているように思います。
- ・地域差があると思いますが、こちらでは、ほとんど河川の生物など目にする機会がありません。近所の農作物の直売所もいつも営業していません。市報に、直売所情報を載せてほしい。
- ・休耕地の管理、活用(春先の土埃対策)、スーパーマーケットの誘致。
- ・市民個人の環境に対する意識を高めていくような市としての働きかけをしていただきたい。
- ・とにかく民間に委任することなく、市政として専門職を育成すること。そのための予算を計上すること。責任が持てる職域とすること。民活は期待できない。
- ・他の市とのコラボ。スポーツ等の大人の集団とのコラボ。
- ・環境イベント(子供が遊びながら学べる)がもう少しあると、親子で環境について、又、自分の住んでいる清瀬について関心を持つのではないかと思います。
- ・緑の環境は申し分ないので、あともう少しの便利さがほしい。(移動、買い物)
- ・あまり急がずに静かにゆっくり流れて行くのが良いです。
- ・情報発信の拡充。
- ・清瀬に住んで 30 年位ですが、あまり地域の事に目を向けてこなかったのて、60 才になり散歩したりして市内を見てまわろうと思います。今のところ環境が悪いとも感じませんので、高齢者が住みやすい街づくりは何ができるか、考える機会(このアンケートが)になりました。
- ・駅が汚い。古い。多くの人が利用しているのだから、エレベーターをもっときれいに使いやすくしたり、会社帰りの人達が買って帰れるようなお惣菜の店等を駅に入れたらいいと思う。おしゃれでおいしくなければ意味がない(成城石井が良いと思う。)。また魅力的なお店、カフェ、レストランが全く無い。せっかくブルーベリーや酪農をやっているのに、アイスクリーム等が JA で少し売っているだけ。広々とした環境を活かしきれていない。もっと工夫できる。けやき通りを徹底的に整備して、自転車と歩道を一つにして色分けしたらいいと思う。車道を自転車が行きやすいように危ない。ジョギング等できるようにしても良い。
- ・「多摩六都科学館」のさらなる有効活用。清瀬駅前バスで直接行きたい。環境イベントや科学イベントに。
- ・大型団地のエレベーター設置とセキュリティ強化。
- ・大雨による浸水被害が増えていると感じます。補助制度の充実化や下水道対策をはじめとする浸透ますの整備を更に推進してほしい。
- ・将来を担う子供達に環境を良くする教育をする。
- ・前記してますが、畑が多くて新鮮な野菜が食べれてここに来てよかったと思っています。食育やワードロス、生ごみの肥料など、ここでしか学べないことたくさん活かせることがあると思います。

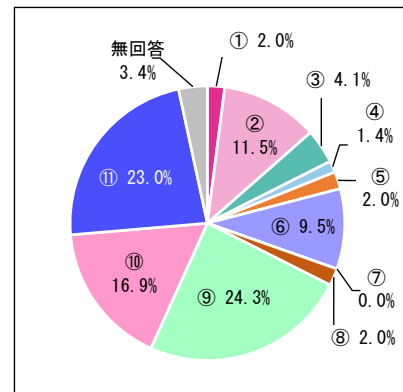
- ・何でもかんでも隈研吾氏を利用する意図が分からない。ピンポイントでなく清瀬市全体の環境を計画して整備して欲しい。(東村山市みたい)
- ・農地や自然環境を残し守りながら、宅地開発や道路事業を行なって欲しい。公共施設(市民センターや学校)の統廃合や新規建設は市民の意見をしっかり取り入れて欲しい。
- ・小さな時から体験、経験をしてもらう。子が小さいと親もついてくるので大人の事広がってゆくと思う。市のトップに立つ人たちが自然を生かしながら活気ある町をどう描くかも大切なことだと思う。自然豊かでも商店街がさびれているのでは住みやすいとは言えない。
- ・秋津駅寄りも発展してほしいです。
- ・子供はもう成人していますが、小中の頃は農業体験をしたり給食で旬の物を食べたり思い出話となっています。今年も夏は暑く、夏のような秋だったり温暖化を感じます。清瀬は駅周辺でも畑が多くホッとしたりします。小さな頃から子供達へ体験型の環境について体感してもらう事が今すぐ変わらなくても気づいて改善する事へできると思います。
- ・住宅が増え、避難場所が少なくなった。
- ・企業の誘致(企業が少なく市民税が高い)。
- ・住民の高年齢化、若い世代への移住アピール。
- ・自ら少しずつ考え実行する。
- ・南口の開発
- ・全市で使用している電力使用量の前年同日/前日比較のデジタルサイネージの駅前設置。
- ・ニンニンくん以外に環境メインで活動するキャラクター(「カワセミ」や「ツグミ」、「カルガモ」などよく見られる鳥や動物をモチーフにしたらどうか)を作り、まず、何故環境問題について考えなくてはいけないのか、又それぞれの対応策や活動が将来のこういった事に繋がるのかを市民に認知させるべきだと考えています。SNS で現在取り込んでいる内容もわかりやすく若い世代の人が興味を持つ様に発信して欲しいです。行政だけでなく有志の清瀬市民を募って活動をする事も良いと思うし学生は将来的な良い経験になると思います。
- ・生活保護受給者へのお金のバラマキのせいで周囲の一般人の環境問題が深刻化していると考えられます。すべての人を公平に守るために住環境改善をまずは目指して頂きたいです。
- ・毎年同じ季節に起こる 畑から舞い上がる土埃が嫌ですね... 改善できないものか？疾患持ちの私は恐怖すら感じます。
- ・住民が少ないので、対人イベントでは無く動画配信メインで視聴者数を増やして市民全体に発信して無駄なコストは削減すべきだと思う
- ・小学生に啓蒙するのが最も効果的で、長期的なプランとして清瀬市の利益になると思います。大人や老人への各種啓蒙活動は、コストがかかる割にリターンが見込みづらいと思います。
- ・道路工事を早く終えて欲しい。新座市や所沢市の方の道路工事は済んでいるのに、清瀬市はいつまでも工事中なのは何故ですか？
- ・財源になるような環境整備をお願いします。雑木林に大規模なアスレチックを作り、駐車場や飲食施設等市外から集まりやすい環境を作る。
- ・他山の石として、埼玉県川口市や東京都渋谷区などで起こっている、自治体と住民間の問題や軋轢を研究して同じ轍を踏まないようにすると思う
- ・学校や団体によるクリーン活動の推進
- ・水処理施設の見学などの内容充実と周知
- ・年々、寂しい街になってしまったと感じる。道や住宅の開発でよくなった部分もあるが、体感的に不安や怖さを感じるネガティブな部分も増えてしまったと思います。清瀬に住み続けている各年代から有志を募り、エリアごとに改善策を含めて様々な意見を聞く事で見えてくることもあると思います。
- ・昨今、移民問題や強盗等のニュースで治安が心配になってきました。清瀬市は今のところ問題ないように感じますが、電車での都市圏へのアクセスもよく住み良いからこそ、今後対策等実施されるのか、明示されていると安心感があると思いました。
- ・2000年代に10年ほど住んでいたころは田舎という印象だったが、今年他の自治体から転入してきて、緑が多きのどかなところが良いなと感じた。ただ、せっかく緑が多く小さな公園なども多いのに、整備が追いついていない印象がある。緑の多さは魅力としてアピールできるはずなので、ぜひきちんと整備していただければ住民としてもありがたい。
- ・使われていない生産緑地を遡って税金を徴収しないでお上に返せる法案を作り相続で困らないようにしてあげて市ではその土地を有効に開発していく
- ・駅リニューアル
- ・今の環境が暮らしやすくちょうど良いと思うのでこれからも持続可能な形で市政運営してもらえればと思います
- ・これからも、自然との共存・維持を市政には頑張してほしいと思います。

IV 調査結果(事業者)

1. 貴事業所のことについておたずねします。

1) 貴事業所の業種を教えてください。(1 つに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 農林水産業	3	2.0%
② 建設業	17	11.5%
③ 製造業	6	4.1%
④ 電気・ガス・熱供給・水道業	2	1.4%
⑤ 運輸業	3	2.0%
⑥ 卸売・小売業	14	9.5%
⑦ 金融・保険業	0	0.0%
⑧ 飲食・宿泊	3	2.0%
⑨ 医療・福祉	36	24.3%
⑩ サービス業(他に分類されない)	25	16.9%
⑪ その他	34	23.0%
無回答	5	3.4%
合計	148	100.0%



⑨その他

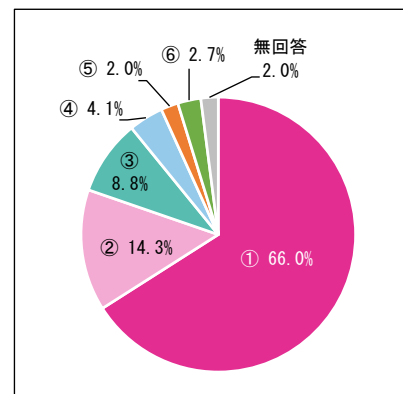
- ・教育 ・不動産業 ・教育施設 ・不動産仲介業 ・情報通信 ・幼児教育 ・社団法人 ・子育て支援
- ・二輪車販売・修理 ・専修学校 ・宗教法人 ・大学/教育機関 ・フェイシャルエステ&化粧品販売
- ・研究試薬の開発 ・建築設計業 ・保守メンテナンス ・コンサルタント ・幼稚園 ・学术研究 ・投資
- ・廃棄物処分業

「⑨医療・福祉」が24.3%と最も高く、次いで「⑩サービス業(他に分類されない)」が16.9%となっています。

2) 貴事業所の従業員数を教えてください。(清瀬市内に限る)。(1 つに○)

※契約社員や派遣社員、パートの方なども含みます。わかる範囲でお答えください。

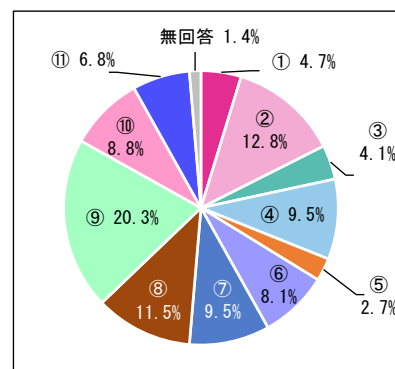
選択肢	回答者数	割合(%)
① 20名未満	97	66.0%
② 20～49名	21	14.3%
③ 50～99名	13	8.8%
④ 100～199名	6	4.1%
⑤ 200～299名	3	2.0%
⑥ 300名以上	4	2.7%
無回答	3	2.0%
合計	147	100.0%



「①20名未満」が66.0%と半数以上を占めています。

3)貴事業所の所在地はどちらの地域にありますか。(1つに○)

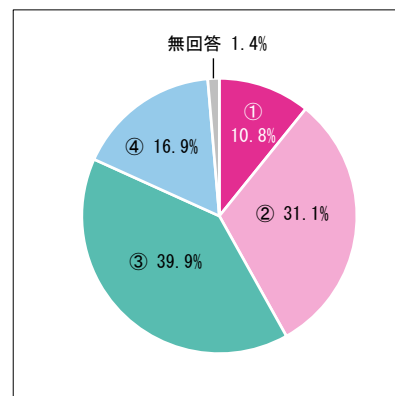
選択肢	回答者数	割合(%)
① 上清戸	7	4.7%
② 元町	19	12.8%
③ 中清戸	6	4.1%
④ 下清戸	14	9.5%
⑤ 下宿	4	2.7%
⑥ 旭が丘	12	8.1%
⑦ 中里	14	9.5%
⑧ 野塩	17	11.5%
⑨ 松山	30	20.3%
⑩ 竹丘	13	8.8%
⑪ 梅園	10	6.8%
無回答	2	1.4%
合計	148	100.0%



「⑨松山」が20.3%と最も高く、次いで「②元町」が12.8%となっています。

4)貴事業所の事業活動が、地域の環境に与える影響はどの程度であるとお考えですか。(1つに○)

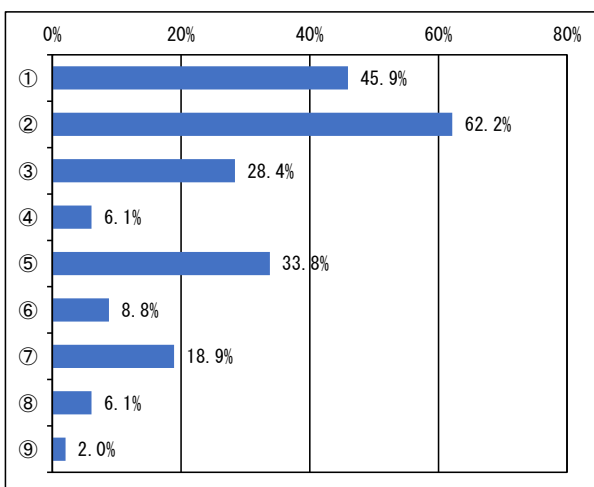
選択肢	回答者数	割合(%)
① 大きな影響がある	16	10.8%
② 影響はあるが小さい	46	31.1%
③ 影響はない	59	39.9%
④ わからない	25	16.9%
無回答	2	1.4%
合計	148	100.0%



「③影響はない」が39.9%と最も高く、次いで「②影響はあるが小さい」が31.1%となっています。

5)貴事業所は、環境情報をどのような方法で入手していますか。3つ以内で○をつけてください。(3つ以内で○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① テレビ・ラジオ（ケーブルテレビを含む）	68	45.9%
② インターネット	92	62.2%
③ 新聞	42	28.4%
④ 書籍・雑誌	9	6.1%
⑤ 市報きよせ	50	33.8%
⑥ SNS（Facebook、X、Instagram、YouTubeなど）	13	8.8%
⑦ 他企業や関係者から	28	18.9%
⑧ セミナー・講演会・展示会などのイベント	9	6.1%
⑨ その他	3	2.0%
合計	314	-



※割合は回答者数(148)から算出

⑨その他

- ・環境情報とは何を意味しているのかわかりません
- ・直接患者さんから聞く

「②インターネット」が62.2%と最も高く、次いで「①テレビ・ラジオ(ケーブルテレビを含む)」が45.9%となっています。

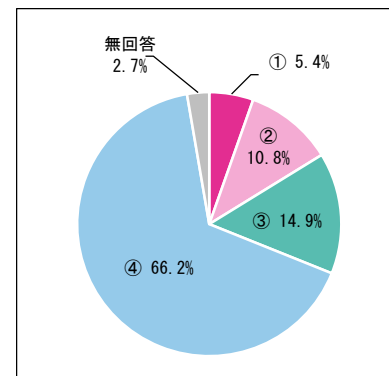
2. 貴事業所の環境活動についておたずねします。

1) 貴事業所の事業活動は、次の環境問題と関連していると思いますか。(それぞれ1つに○)

①大気汚染

選択肢	回答者数	割合(%)
① 大いに関連がある	8	5.4%
② 関連がある	16	10.8%
③ どちらともいえない	22	14.9%
④ 当事業所には関連がない	98	66.2%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

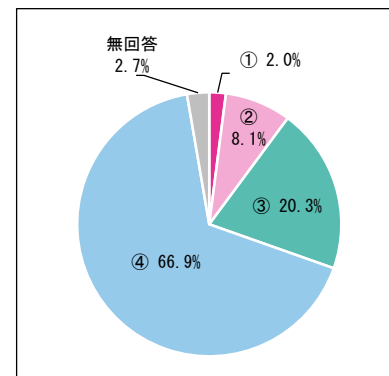
「④当事業所には関連がない」が66.2%と半数以上を占めています。



②水質汚濁

選択肢	回答者数	割合(%)
① 大いに関連がある	3	2.0%
② 関連がある	12	8.1%
③ どちらともいえない	30	20.3%
④ 当事業所には関連がない	99	66.9%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

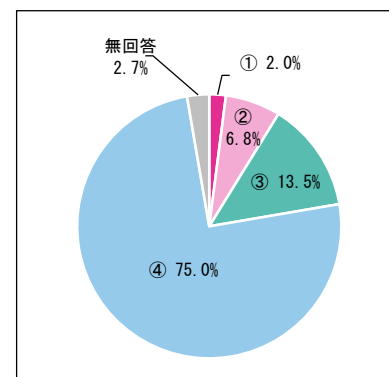
「④当事業所には関連がない」が66.9%と半数以上を占めています。



③土壌・地下水汚染

選択肢	回答者数	割合(%)
① 大いに関連がある	3	2.0%
② 関連がある	10	6.8%
③ どちらともいえない	20	13.5%
④ 当事業所には関連がない	111	75.0%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

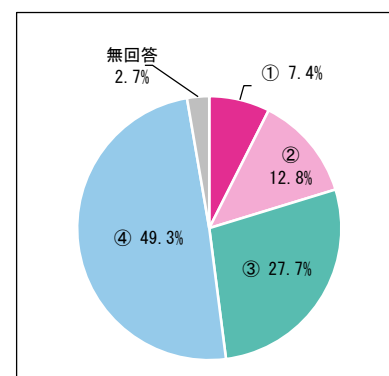
「④当事業所には関連がない」が75.0%と半数以上を占めています。



④騒音・振動

選択肢	回答者数	割合(%)
① 大いに関連がある	11	7.4%
② 関連がある	19	12.8%
③ どちらともいえない	41	27.7%
④ 当事業所には関連がない	73	49.3%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

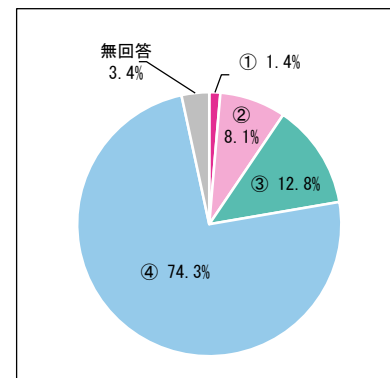
「④当事業所には関連がない」が49.3%と最も高く、次いで「③どちらともいえない」が27.7%となっています。



⑤悪臭

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 大いに関連がある	2	1.4%
② 関連がある	12	8.1%
③ どちらともいえない	19	12.8%
④ 当事業所には関連がない	110	74.3%
無回答	5	3.4%
合計	148	100.0%

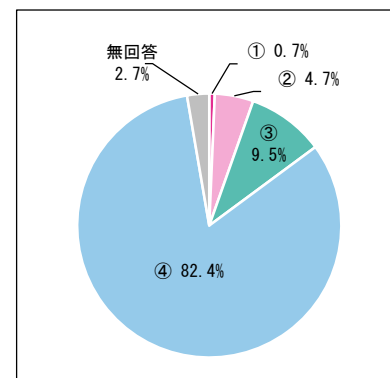
「④当事業所には関連がない」が74.3%と半数以上を占めています。



⑥地盤沈下

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 大いに関連がある	1	0.7%
② 関連がある	7	4.7%
③ どちらともいえない	14	9.5%
④ 当事業所には関連がない	122	82.4%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

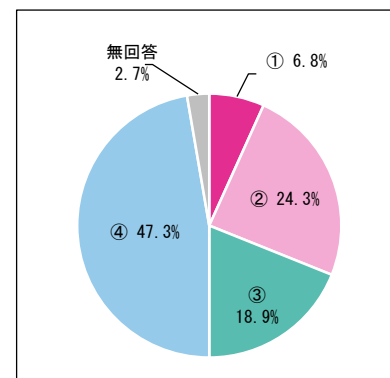
「④当事業所には関連がない」が82.4%と半数以上を占めています。



⑦産業廃棄物の排出

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 大いに関連がある	10	6.8%
② 関連がある	36	24.3%
③ どちらともいえない	28	18.9%
④ 当事業所には関連がない	70	47.3%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

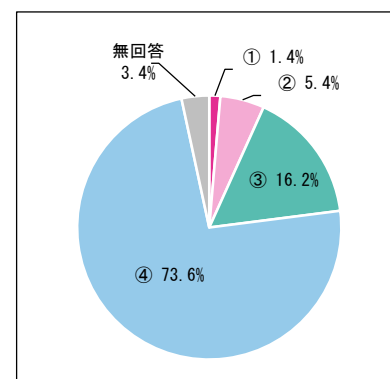
「④当事業所には関連がない」が47.3%と最も高く、次いで「②関連がある」が24.3%となっています。



⑧化学物質の排出

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 大いに関連がある	2	1.4%
② 関連がある	8	5.4%
③ どちらともいえない	24	16.2%
④ 当事業所には関連がない	109	73.6%
無回答	5	3.4%
合計	148	100.0%

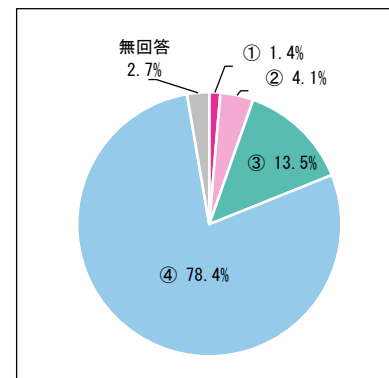
「④当事業所には関連がない」が73.6%と半数以上を占めています。



⑨日照阻害・電波障害

選択肢	回答者数	割合(%)
① 大いに関連がある	2	1.4%
② 関連がある	6	4.1%
③ どちらともいえない	20	13.5%
④ 当事業所には関連がない	116	78.4%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

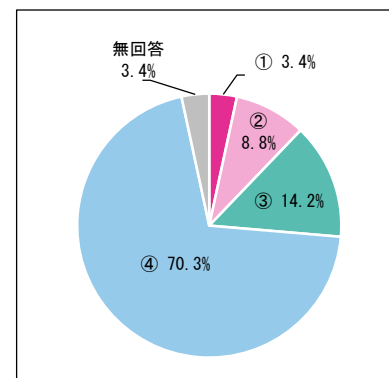
「④当事業所には関連がない」が78.4%と半数以上を占めています。



⑩道路渋滞等の交通問題

選択肢	回答者数	割合(%)
① 大いに関連がある	5	3.4%
② 関連がある	13	8.8%
③ どちらともいえない	21	14.2%
④ 当事業所には関連がない	104	70.3%
無回答	5	3.4%
合計	148	100.0%

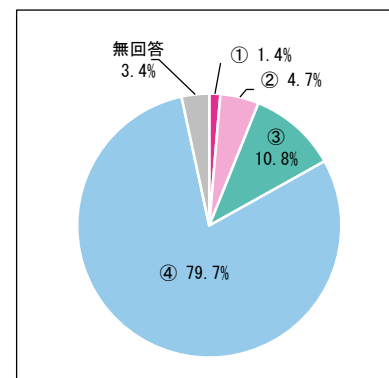
「④当事業所には関連がない」が70.3%と半数以上を占めています。



⑪開発による自然環境への悪影響

選択肢	回答者数	割合(%)
① 大いに関連がある	2	1.4%
② 関連がある	7	4.7%
③ どちらともいえない	16	10.8%
④ 当事業所には関連がない	118	79.7%
無回答	5	3.4%
合計	148	100.0%

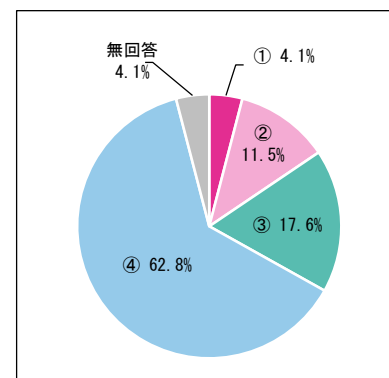
「④当事業所には関連がない」が79.7%と半数以上を占めています。



⑫二酸化炭素の排出による地球温暖化

選択肢	回答者数	割合(%)
① 大いに関連がある	6	4.1%
② 関連がある	17	11.5%
③ どちらともいえない	26	17.6%
④ 当事業所には関連がない	93	62.8%
無回答	6	4.1%

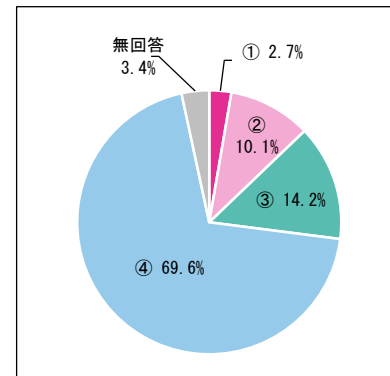
「④当事業所には関連がない」が62.8%と半数以上を占めています。



⑬再生可能エネルギー(太陽光・太陽熱利用など)の創出

選択肢	回答者数	割合(%)
① 大いに関連がある	4	2.7%
② 関連がある	15	10.1%
③ どちらともいえない	21	14.2%
④ 当事業所には関連がない	103	69.6%
無回答	5	3.4%
合計	148	100.0%

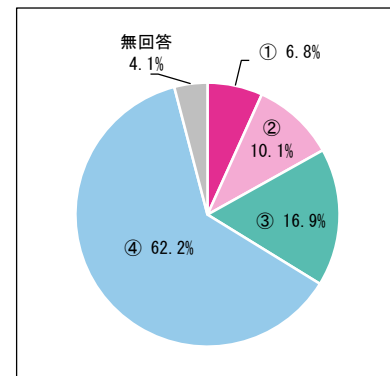
「④当事業所には関連がない」が69.6%と半数以上を占めています。



⑭動植物や自然環境の保全・創出

選択肢	回答者数	割合(%)
① 大いに関連がある	10	6.8%
② 関連がある	15	10.1%
③ どちらともいえない	25	16.9%
④ 当事業所には関連がない	92	62.2%
無回答	6	4.1%
合計	148	100.0%

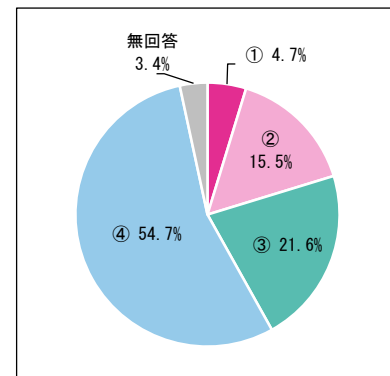
「④当事業所には関連がない」が62.2%と半数以上を占めています。



⑮まちなみ景観

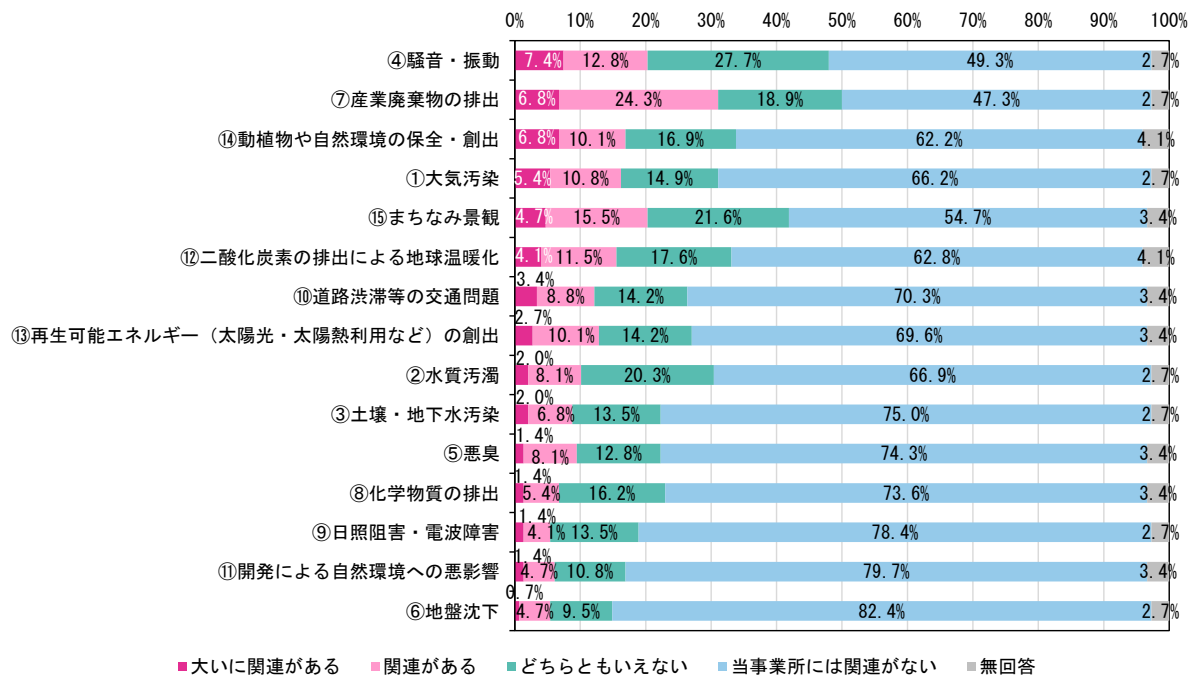
選択肢	回答者数	割合(%)
① 大いに関連がある	7	4.7%
② 関連がある	23	15.5%
③ どちらともいえない	32	21.6%
④ 当事業所には関連がない	81	54.7%
無回答	5	3.4%
合計	148	100.0%

「④当事業所には関連がない」が54.7%と約半数を占めています。



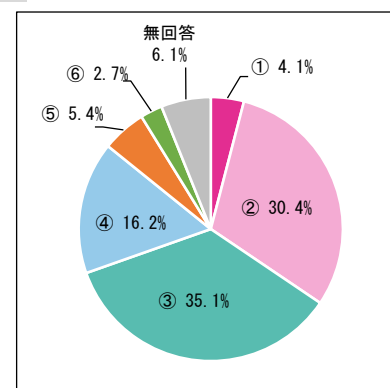
⑯その他

- ・感染症患者による咳嗽
- ・人間関係(最重要！その他に入れるな！)



2)貴事業所では、環境活動についてどのようにお考えですか。(1つに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 新規ビジネスのチャンスにつながるため、もっと積極的に取り組みたい	6	4.1%
② 省エネなど、事業活動にメリットのある範囲で取り組みたい	45	30.4%
③ 現状実施している範囲で取組を維持したい	52	35.1%
④ 企業として取り組むべきことであるが、費用や人手・手間がかかるため取り組めない	24	16.2%
⑤ 事業活動を重視し、環境活動に取り組む必要はない	8	5.4%
⑥ その他	4	2.7%
無回答	9	6.1%
合計	148	100.0%



⑥その他

- ・環境問題に影響を与えるような事業活動ではない
- ・省エネを考慮した住宅設備の提案

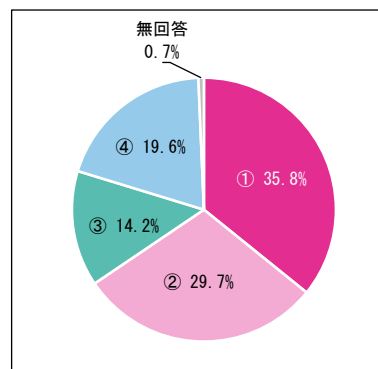
「③現状実施している範囲で取組を維持したい」が35.1%と最も高く、次いで「②省エネなど、事業活動にメリットのある範囲で取り組みたい」が30.4%となっています。

3) 次の環境保全に向けた行動に関して、貴事業所の現状や、今後のお考えについて各項目のあてはまる番号に○をつけてください。その他に取り組んでいる行動、取り組みたい行動があれば、「その他」に記入してください。(それぞれ1つに○)

①環境にやさしい省エネルギー機器の導入やエコマーク製品の使用

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	53	35.8%
② 今後取り組みたい	44	29.7%
③ 取り組む予定はない	21	14.2%
④ 当事業所には該当しない	29	19.6%
無回答	1	0.7%
合計	148	100.0%

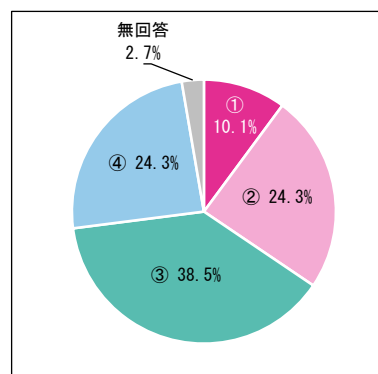
「①すでに取り組んでいる」が35.8%と最も高く、次いで「②今後取り組みたい」が29.7%となっています。



②再生可能エネルギーを利用する太陽光発電、太陽熱温水器などの導入

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	15	10.1%
② 今後取り組みたい	36	24.3%
③ 取り組む予定はない	57	38.5%
④ 当事業所には該当しない	36	24.3%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

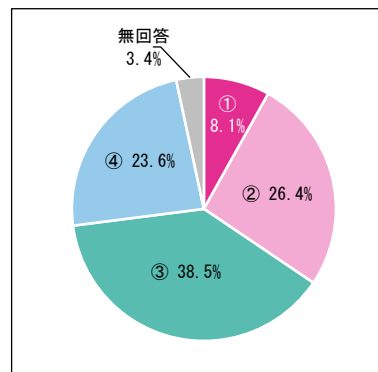
「③取り組む予定はない」が38.5%と最も高く、次いで「②今後取り組みたい」、「④当事業所には該当しない」が24.3%となっています。



③エネルギー使用量の具体的な削減目標数値を設定

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	12	8.1%
② 今後取り組みたい	39	26.4%
③ 取り組む予定はない	57	38.5%
④ 当事業所には該当しない	35	23.6%
無回答	5	3.4%
合計	148	100.0%

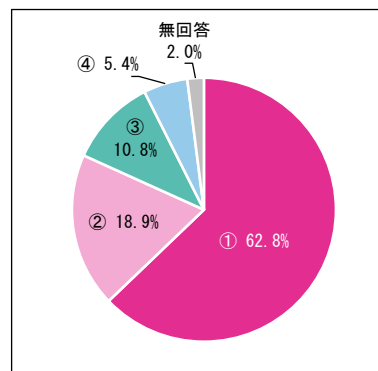
「③取り組む予定はない」が38.5%と最も高く、次いで「②今後取り組みたい」が26.4%となっています。



④冷房温度を高め、暖房温度を低めに設定し、省エネルギーを推進

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	93	62.8%
② 今後取り組みたい	28	18.9%
③ 取り組む予定はない	16	10.8%
④ 当事業所には該当しない	8	5.4%
無回答	3	2.0%
合計	148	100.0%

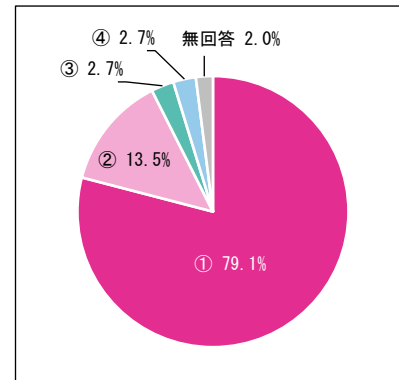
「①すでに取り組んでいる」が62.8%と半数以上を占めています。



⑤電気をこまめに消すなど、節電の推進

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	117	79.1%
② 今後取り組みたい	20	13.5%
③ 取り組む予定はない	4	2.7%
④ 当事業所には該当しない	4	2.7%
無回答	3	2.0%
合計	148	100.0%

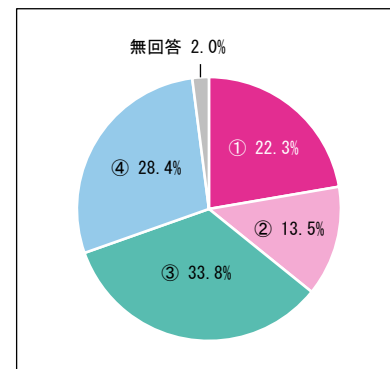
「①すでに取り組んでいる」が79.1%と半数以上を占めています。



⑥敷地内や屋上を積極的に緑化

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	33	22.3%
② 今後取り組みたい	20	13.5%
③ 取り組む予定はない	50	33.8%
④ 当事業所には該当しない	42	28.4%
無回答	3	2.0%
合計	148	100.0%

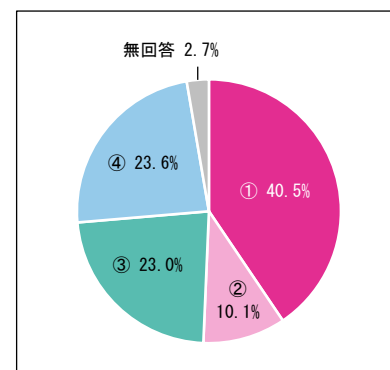
「③取り組む予定はない」が33.8%と最も高く、次いで「④当事業所には該当しない」が28.4%となっています。



⑦従業員には、通勤時の公共交通機関の利用を奨励

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	60	40.5%
② 今後取り組みたい	15	10.1%
③ 取り組む予定はない	34	23.0%
④ 当事業所には該当しない	35	23.6%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

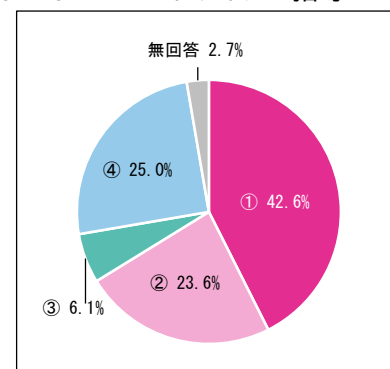
「①すでに取り組んでいる」が40.5%と最も高く、次いで「④当事業所には該当しない」が23.6%となっています。



⑧従業員には、アイドリングストップ、適正な速度での走行、急発進をしないなどのエコドライブを指導

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	63	42.6%
② 今後取り組みたい	35	23.6%
③ 取り組む予定はない	9	6.1%
④ 当事業所には該当しない	37	25.0%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

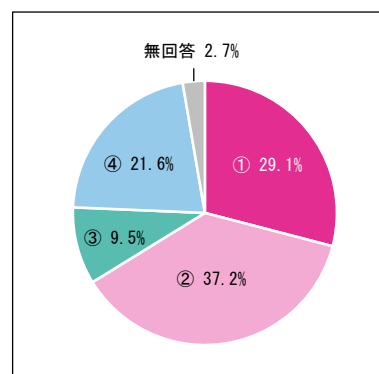
「①すでに取り組んでいる」が42.6%と最も高く、次いで「④当事業所には該当しない」が25.0%となっています。



⑨業務用車両を買い替える時は、燃費性能の高い車や排気ガスのクリーンな車を選定

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	43	29.1%
② 今後取り組みたい	55	37.2%
③ 取り組む予定はない	14	9.5%
④ 当事業所には該当しない	32	21.6%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

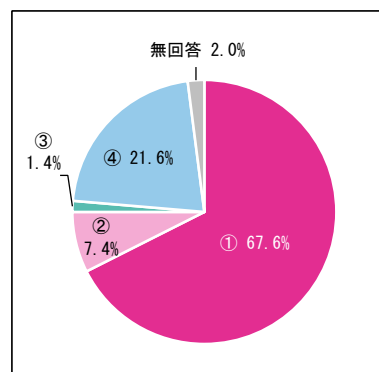
「②今後取り組みたい」が37.2%と最も高く、次いで「①すでに取り組んでいる」が29.1%となっています。



⑩自動車の点検、整備を定期的に実施

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	100	67.6%
② 今後取り組みたい	11	7.4%
③ 取り組む予定はない	2	1.4%
④ 当事業所には該当しない	32	21.6%
無回答	3	2.0%
合計	148	100.0%

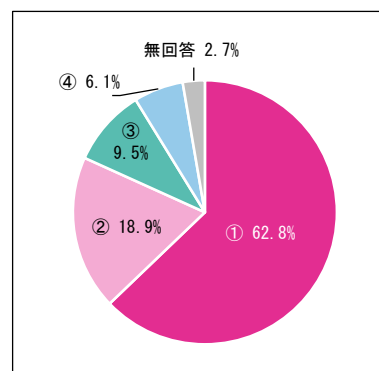
「①すでに取り組んでいる」が67.6%と半数以上を占めています。



⑪再生紙などリサイクル製品を使用

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	93	62.8%
② 今後取り組みたい	28	18.9%
③ 取り組む予定はない	14	9.5%
④ 当事業所には該当しない	9	6.1%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

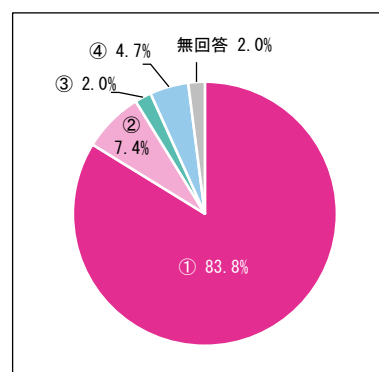
「①すでに取り組んでいる」が62.8%と半数以上を占めています。



⑫ごみの分別や資源化

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	124	83.8%
② 今後取り組みたい	11	7.4%
③ 取り組む予定はない	3	2.0%
④ 当事業所には該当しない	7	4.7%
無回答	3	2.0%
合計	148	100.0%

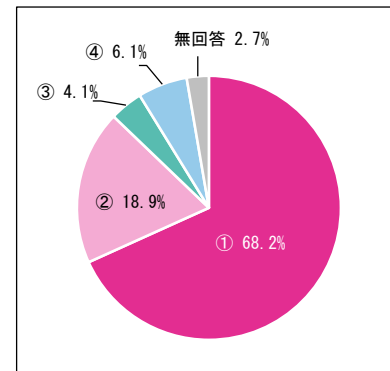
「①すでに取り組んでいる」が83.8%と半数以上を占めています。



⑬両面印刷、使用済みの用紙や封筒の再利用による紙ごみの減量化

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	101	68.2%
② 今後取り組みたい	28	18.9%
③ 取り組む予定はない	6	4.1%
④ 当事業所には該当しない	9	6.1%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

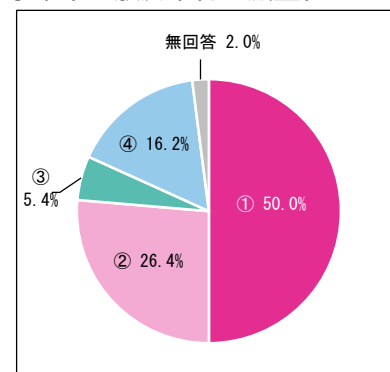
「①すでに取り組んでいる」が68.2%と半数以上を占めています。



⑭産業廃棄物や廃棄紙等のリサイクルや再生利用による、産業廃棄物や事業系一般廃棄物の減量化

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	74	50.0%
② 今後取り組みたい	39	26.4%
③ 取り組む予定はない	8	5.4%
④ 当事業所には該当しない	24	16.2%
無回答	3	2.0%
合計	148	100.0%

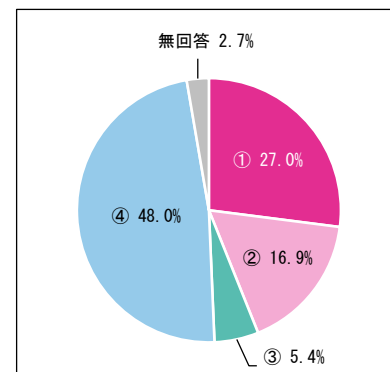
「①すでに取り組んでいる」が50.0%と半数を占めています。



⑮出荷・販売する製品や商品の包装簡略化

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	40	27.0%
② 今後取り組みたい	25	16.9%
③ 取り組む予定はない	8	5.4%
④ 当事業所には該当しない	71	48.0%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

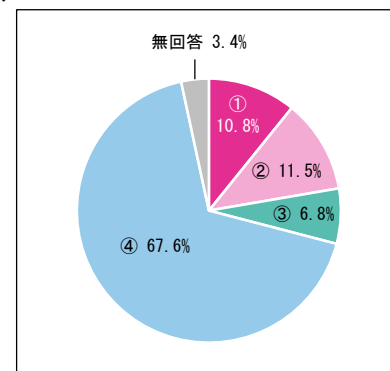
「④当事業所には該当しない」が48.0%と最も高く、次いで「①すでに取り組んでいる」が27.0%となっています。



⑯建設工事に当たっては、建設副産物を有効利用し、最終処分量を削減

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	16	10.8%
② 今後取り組みたい	17	11.5%
③ 取り組む予定はない	10	6.8%
④ 当事業所には該当しない	100	67.6%
無回答	5	3.4%
合計	148	100.0%

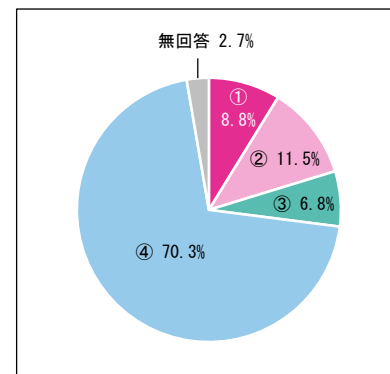
「④当事業所には該当しない」が67.6%と半数以上を占めています。



⑰建設工事に当たっては、低騒音・低振動型の建設機械を使用

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	13	8.8%
② 今後取り組みたい	17	11.5%
③ 取り組む予定はない	10	6.8%
④ 当事業所には該当しない	104	70.3%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

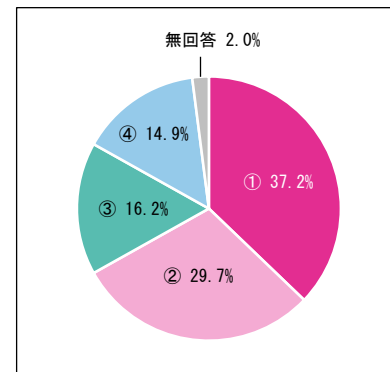
「④当事業所には該当しない」が70.3%と半数以上を占めています。



⑱従業員には、トイレや洗車などでの節水を指導

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	55	37.2%
② 今後取り組みたい	44	29.7%
③ 取り組む予定はない	24	16.2%
④ 当事業所には該当しない	22	14.9%
無回答	3	2.0%
合計	148	100.0%

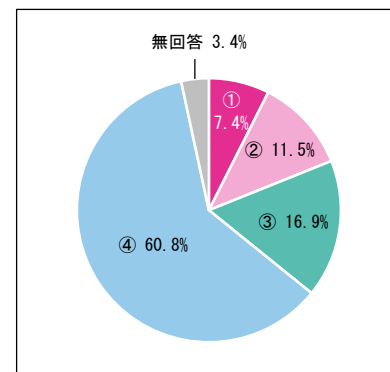
「①すでに取り組んでいる」が37.2%と最も高く、次いで「②今後取り組みたい」が29.7%となっています。



⑲汚水排水の高度処理を行うなど、法令を上回る水準(除去率が高い)の水処理設備、ばい煙処理設備、防音設備、脱臭設備等の公害防止設備を配置

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	11	7.4%
② 今後取り組みたい	17	11.5%
③ 取り組む予定はない	25	16.9%
④ 当事業所には該当しない	90	60.8%
無回答	5	3.4%
合計	148	100.0%

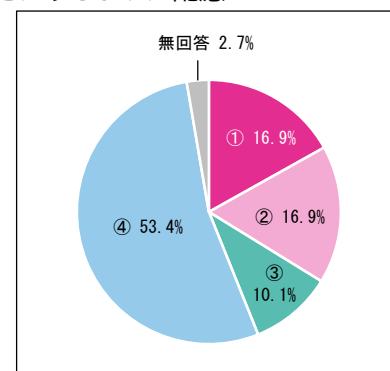
「④当事業所には該当しない」が60.8%と半数以上を占めています。



⑳建物の新築、増築、改築に当たっては、周辺景観と調和した色彩や高さにするように配慮

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	25	16.9%
② 今後取り組みたい	25	16.9%
③ 取り組む予定はない	15	10.1%
④ 当事業所には該当しない	79	53.4%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

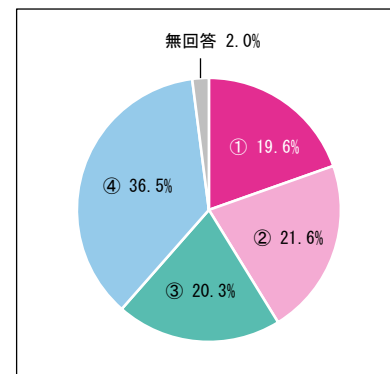
「④当事業所には該当しない」が53.4%と半数以上を占めています。



②動植物や自然環境の保全・創出に関する活動

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	29	19.6%
② 今後取り組みたい	32	21.6%
③ 取り組む予定はない	30	20.3%
④ 当事業所には該当しない	54	36.5%
無回答	3	2.0%
合計	148	100.0%

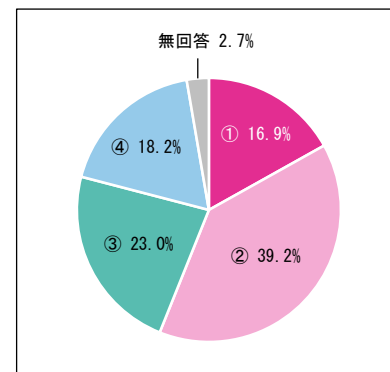
「④当事業所には該当しない」が36.5%と最も高く、次いで「②今後取り組みたい」が21.6%となっています。



②環境に関する地域のイベントに協力・参加

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	25	16.9%
② 今後取り組みたい	58	39.2%
③ 取り組む予定はない	34	23.0%
④ 当事業所には該当しない	27	18.2%
無回答	4	2.7%
合計	148	100.0%

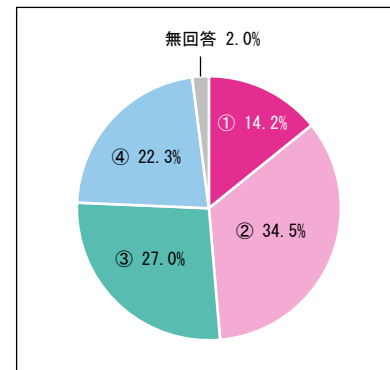
「②今後取り組みたい」が39.2%と最も高く、次いで「③取り組む予定はない」が23.0%となっています。



③植樹などの緑化活動に参加

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	21	14.2%
② 今後取り組みたい	51	34.5%
③ 取り組む予定はない	40	27.0%
④ 当事業所には該当しない	33	22.3%
無回答	3	2.0%
合計	148	100.0%

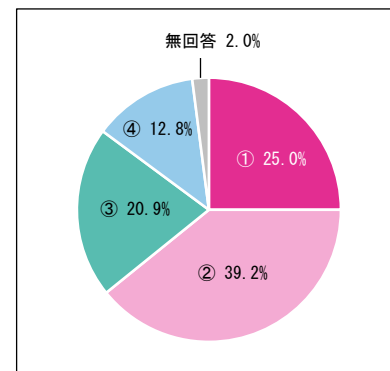
「②今後取り組みたい」が34.5%と最も高く、次いで「③取り組む予定はない」が27.0%となっています。



④地域の清掃活動などの美化活動に参加

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	37	25.0%
② 今後取り組みたい	58	39.2%
③ 取り組む予定はない	31	20.9%
④ 当事業所には該当しない	19	12.8%
無回答	3	2.0%
合計	148	100.0%

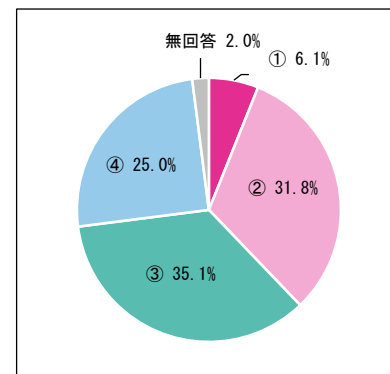
「②今後取り組みたい」が39.2%と最も高く、次いで「①すでに取り組んでいる」が25.0%となっています。



⑤環境保全の取組に関する積極的なPR、情報発信

選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	9	6.1%
② 今後取り組みたい	47	31.8%
③ 取り組む予定はない	52	35.1%
④ 当事業所には該当しない	37	25.0%
無回答	3	2.0%
合計	148	100.0%

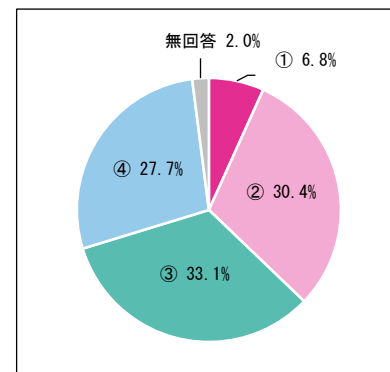
「③取り組む予定はない」が35.1%と最も高く、次いで「②今後取り組みたい」が31.8%となっています。



⑥公害防止活動や環境保全活動に直接携わらない従業員も含めて、研修や啓発など環境教育の実施

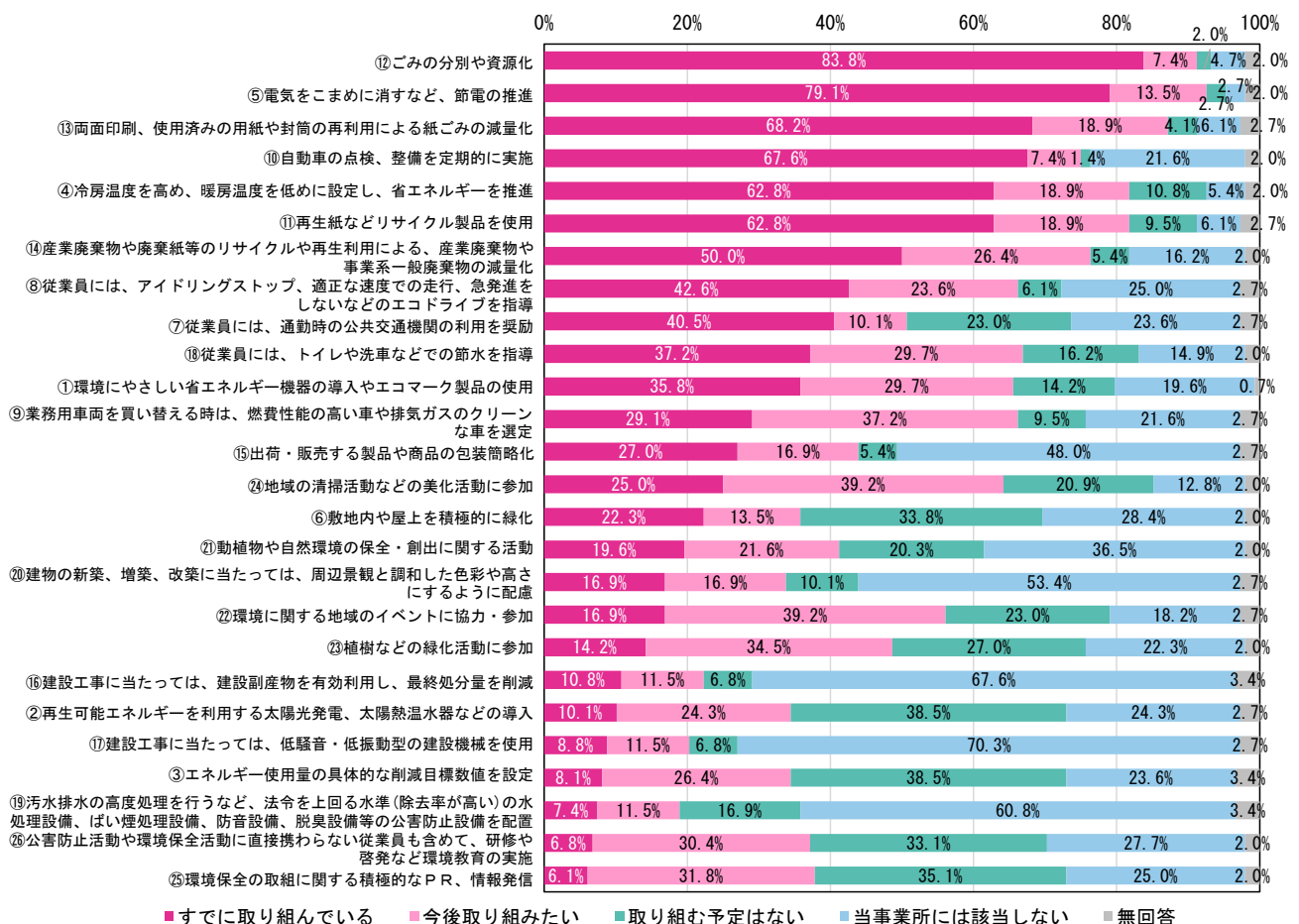
選択肢	回答者数	割合(%)
① すでに取り組んでいる	10	6.8%
② 今後取り組みたい	45	30.4%
③ 取り組む予定はない	49	33.1%
④ 当事業所には該当しない	41	27.7%
無回答	3	2.0%
合計	148	100.0%

「③取り組む予定はない」が33.1%と最も高く、次いで「②今後取り組みたい」が30.4%となっています。

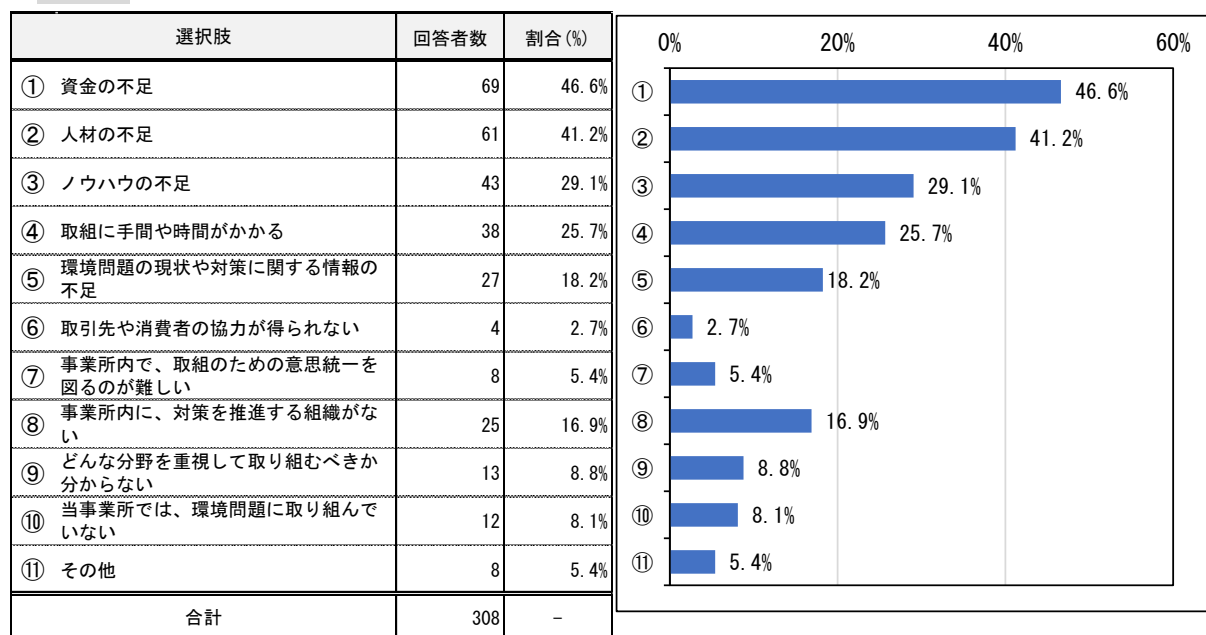


⑦その他

・1日6回(休日は2回)ごみ拾い



4)貴事業所において、環境活動を進めるにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。(3つ以内で○)



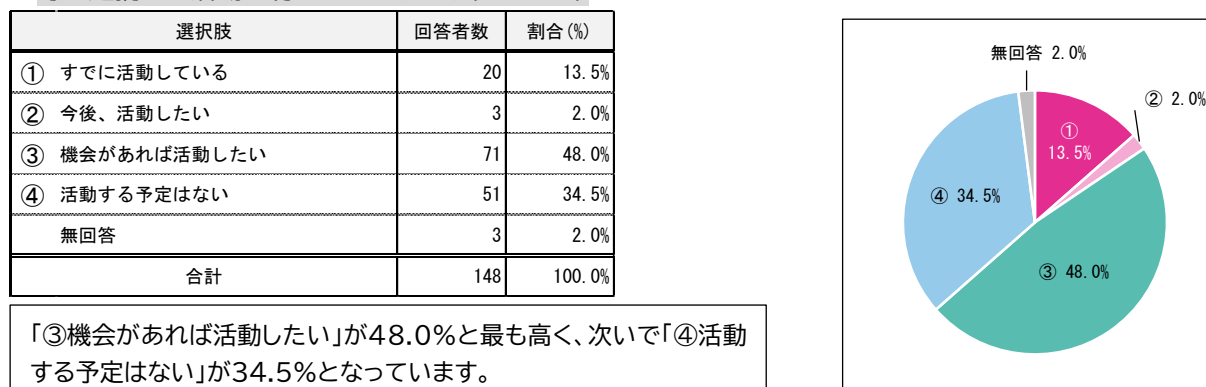
※割合は回答者数(148)から算出

⑪その他

- ・清瀬市との相談が必要 ・特に問題はありません ・自分なりに行っています
- ・世界レベルで取り組まないと間に合わない
- ・各家庭のゴミ出し、敷地の美化はよく取り組まれていると思われる。しかし、建築業者や建売業者の、酸素を取り入れることによる二酸化炭素の削減のために、敷地に樹木や草花を植えることを義務化するように、法規制を進める必要がある。
- ・ISO-14001、ISO-900、資源リサイクル等の商品使用小規模事業者なのと出来る事は既に行っているから

「①資金の不足」が46.6%と最も高く、次いで「②人材の不足」が41.2%となっています。

5)環境問題に対応するには市民・事業者・市の連携した取組や活動が必要です。貴事業所では、他の団体等と連携して活動を行っていますか。(1つに○)

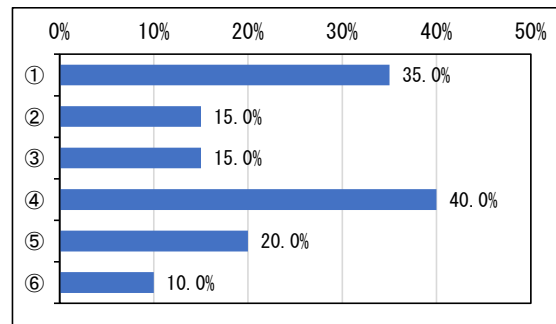


「③機会があれば活動したい」が48.0%と最も高く、次いで「④活動する予定はない」が34.5%となっています。

6)(5)で「1.すでに活動している」を選んだ方にお聞きます。連携している団体とその具体的な活動内容について、教えてください。(該当するもの全てに○)

【連携している団体】

選択肢	回答者数	割合(%)
① 県や市などの自治体	7	35.0%
② 自治会などの地域の団体	3	15.0%
③ 学校などの教育機関	3	15.0%
④ NPOなどの市民団体	8	40.0%
⑤ 他の事業者	4	20.0%
⑥ その他	2	10.0%
合計	27	



※割合は回答者数(148)から算出

⑥その他

・警察 ・川づくり・清瀬の会

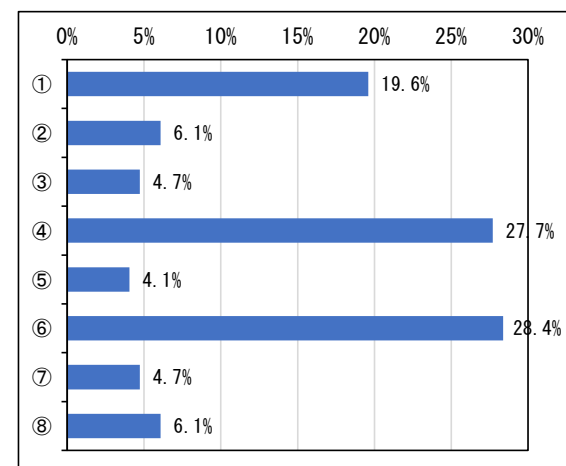
「④NPOなどの市民団体」が40.0%と最も高く、次いで「①県や市などの自治体」が35.0%となっています。

【具体的な活動内容】

・クリーン作戦
 ・一斉清掃に参加
 ・立教大学の自然観察教室
 ・川づくり・清瀬の会
 ・ゴミひろい
 ・「きよせの環境・川まつり」に参加
 ・公園の清掃
 ・武蔵野の自然を守るため、外来種の伐採や処分を行っている。
 ・清掃活動
 ・ごみの収集。子供達と実際に手を動かして何かを作る。町内会との活動(芋煮会)。川まつりの参加。夏の力キ氷大会(ごみを出さない)。洗剤使用量の削減。ソーラーパネル。
 ・定期的な川のゴミひろい。校外学習や保育園の生物観察会のお手伝い、見守りサポート。
 ・アダプト・プログラムにて定期的な清掃活動
 ・フードバンク事業では、ボランティアグループと共に活動している。市民活動団体の支援として、自然保護団体等と連携した活動意義の発信や動物愛護団体で活動している。
 ・フードロス、プラ削減等々
 ・自社製品である伐採した樹木をリサイクルして作られた堆肥を SDGs教材として小中学校へ(清瀬市・東久留米市・西東京市・新座市・小平市の希望校へ)提供

7)今後、市が環境施策を推進する上で協働できる(協働したい)と思う取組はありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(該当するもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合(%)
① 行政や他事業者との会議の場への参加	29	19.6%
② 出前講座などへの講師派遣	9	6.1%
③ 見学会の受け入れ	7	4.7%
④ 行政が行う環境活動(美化活動・イベントなど)への参加・人材派遣	41	27.7%
⑤ 環境保全協定の締結	6	4.1%
⑥ 環境に関する情報提供	42	28.4%
⑦ 行政が行う環境施策・活動への支援金や協賛金の提供	7	4.7%
⑧ その他	9	6.1%
合計	150	



※割合は回答者数(148)から算出

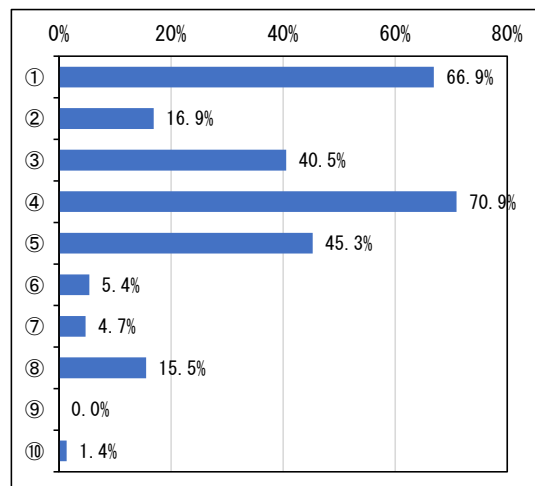
⑧その他

・今後検討 ・わからない ・特に有りません

「⑥環境に関する情報提供」が28.4%と最も高く、次いで「④行政が行う環境活動(美化活動・イベントなど)への参加・人材派遣」が27.7%となっています。

8)近年、気候変動による様々な影響が顕在化していますが、貴事業所の事業活動への影響が大きい事象としてどのようなことがありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。(該当するもの全てに○)

選択肢	回答者数	割合 (%)
① ゲリラ豪雨の増加	99	66.9%
② 洪水の発生頻度の増加	25	16.9%
③ 気温・海水温の上昇	60	40.5%
④ 猛暑日の増加	105	70.9%
⑤ 台風、竜巻の発生・大型化	67	45.3%
⑥ 作物の生育への影響	8	5.4%
⑦ 生物分布の変化	7	4.7%
⑧ 四季の変化	23	15.5%
⑨ 海面上昇	0	0.0%
⑩ その他	2	1.4%
合計	396	-



※割合は回答者数(148)から算出

⑩その他

・樹木管理の必要性 ・特に有りません

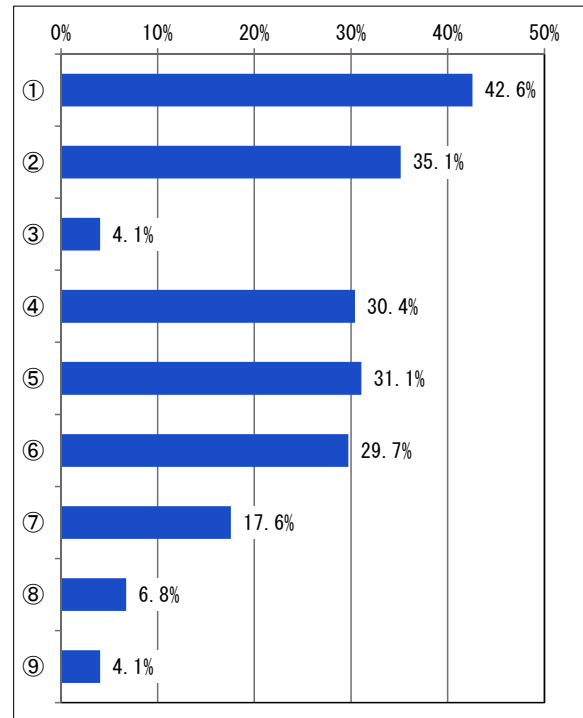
「④猛暑日の増加」が70.9%と最も高く、次いで「①ゲリラ豪雨の増加」が66.9%となっています。

3. これからの環境政策についておたずねします。

清瀬市の多様な環境を保全するため、行政は以下の分野でどのようなことを優先して取り組むべきだと思いますか。(3つ以内で○)

1)脱炭素社会の実現

選択肢	回答者数	割合(%)
① 公共施設(学校や役所など)への100%再生可能エネルギー由来電力や、再生可能エネルギー設備の導入推進	63	42.6%
② 民間施設(住宅や事業所など)への100%再生可能エネルギー由来電力や太陽光発電設備など導入補助	52	35.1%
③ 農地に太陽光発電を設置する「ソーラーシェアリング」導入への支援	6	4.1%
④ 公共施設(学校や役所など)の断熱・省エネルギーフォームなど、省エネ化の推進	45	30.4%
⑤ 民間施設(住宅や事業所など)の断熱・省エネルギーフォームなどへの補助	46	31.1%
⑥ 公共交通や自転車など、マイカー以外の交通手段の利用促進	44	29.7%
⑦ 電気自動車など、エコカーの普及促進	26	17.6%
⑧ デコ活など、脱炭素社会の実現につながるくらしの普及促進	10	6.8%
⑨ その他	6	4.1%
合計	298	-



※割合は回答者数(148)から算出

⑨その他

- ・市民の意識改革、“清瀬”ならではの環境取組み(特産物を使ってエコ商品アピール、人参から出た廃棄物をリサイクルするとか、みつろうラップを作るとか)
- ・宅配図書館などというムダ使いをやめる
- ・緑地を増やす。古い木は新しく若い木と入替える。
- ・プラ容器使用税の導入

「①公共施設(学校や役所など)への100%再生可能エネルギー由来電力や、再生可能エネルギー設備の導入推進」が42.6%と最も高く、次いで「②民間施設(住宅や事業所など)への100%再生可能エネルギー由来電力や太陽光発電設備など導入補助」が35.1%となっています。

2)資源の有効活用、ごみの削減

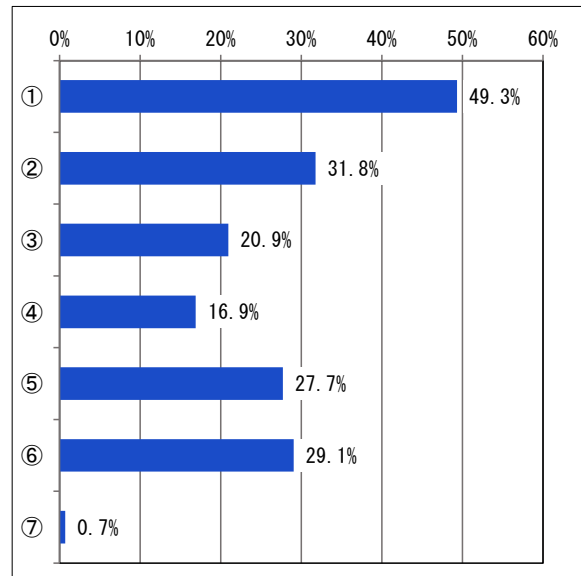
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 分別・削減方法の周知啓発などによる、家庭や事業所から排出されるごみの削減	73	49.3%
② 資源回収活動への報奨金などによる、資源回収等による資源化の支援	47	31.8%
③ 店頭での資源回収など、民間事業者による資源回収の推進	31	20.9%
④ 再資源化を促進するための補助等のさらなる拡大	25	16.9%
⑤ フードドライブの実施などによる、食品ロスの削減	41	27.7%
⑥ リユース、リサイクルを促進するための周知啓発	43	29.1%
⑦ その他	1	0.7%
合計	261	-

※割合は回答者数(148)から算出

⑦その他

・プラ容器使用税・合成洗剤使用税(無駄に使いすぎている)

「①分別・削減方法の周知啓発などによる、家庭や事業所から排出されるごみの削減」が49.3%と最も高く、次いで「②資源回収活動への報奨金などによる、資源回収等による資源化の支援」が31.8%となっています。



3)自然の保全・生物多様性

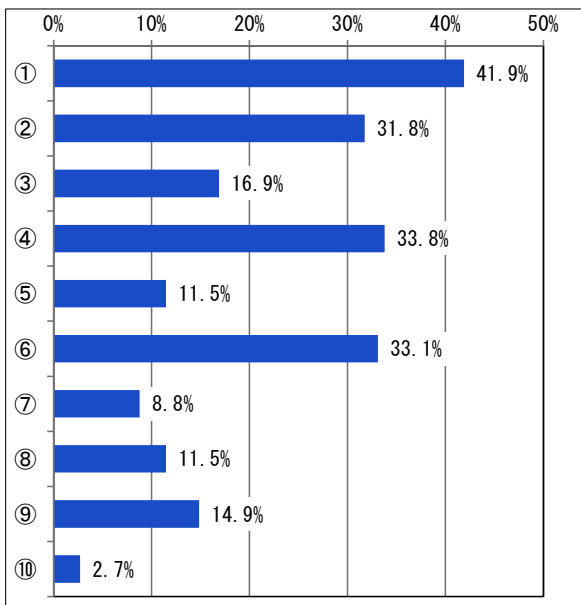
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 公園・学校・公共施設・道路などの緑を増やす取組の推進	62	41.9%
② 公園・学校・公共施設・道路などの既にある緑の質を高める取組の推進	47	31.8%
③ 住宅・事業所の緑を増やす取組への支援	25	16.9%
④ 生産緑地や雑木林の保全、活用	50	33.8%
⑤ 化学肥料・農薬にできるだけ頼らない環境に配慮した農業の促進	17	11.5%
⑥ 柳瀬川などの水辺の美化活動など、水環境を守り、活用する取組の促進	49	33.1%
⑦ 保全活動への支援などによる生きものがすみやすい環境の保全・創出	13	8.8%
⑧ 貴重な生きものの保全やアライグマなど外来生物への対策	17	11.5%
⑨ イベントの開催など自然や緑とふれあえる場や機会の増進	22	14.9%
⑩ その他	4	2.7%
合計	306	-

※割合は回答者数(148)から算出

⑩その他

・公園をぶっ壊して電車を置くムダ使いをやめる
 ・植樹しても落葉の件で近隣から苦情が来る。緑を増やすのに反対住民がいるので何とかしてほしい。
 ・公園などの緑地の維持管理の十分な予算

「①公園・学校・公共施設・道路などの緑を増やす取組の推進」が41.9%と最も高く、次いで「④生産緑地や雑木林の保全、活用」が33.8%となっています。



4)安心・安全な生活環境の確保

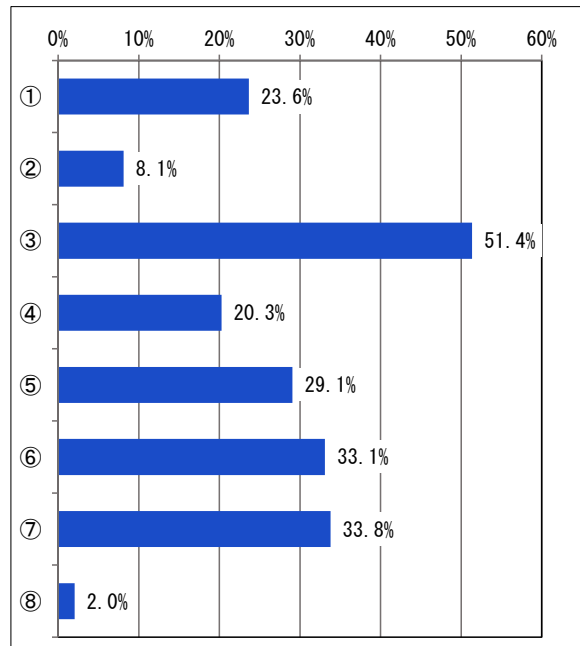
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 大気・水・土壌汚染、騒音等についての継続的な調査と調査結果の情報公開	35	23.6%
② 大気や水の保全に向けた、市民・事業者への呼びかけや汚染対策の実施	12	8.1%
③ 幹線道路の整備や公共交通の充実、歩道や自転車専用道路の整備による、安全・安心な交通環境の確保	76	51.4%
④ 治水対策に加えグリーンインフラ※の整備など、激甚化する自然災害への対策	30	20.3%
⑤ 避難場所や防災グッズについて、市民へ周知・啓発をする等、防災対策の推進	43	29.1%
⑥ 良好なまちなみ景観の保全、ポイ捨てや路上喫煙防止等、市内美化活動の推進	49	33.1%
⑦ 空き地・空き家の適切な管理の促進	50	33.8%
⑧ その他	3	2.0%
合計	298	-

※割合は回答者数(148)から算出

⑧その他

- ・からぼり川を掘り返すだけのムダ使いをやめる ・各農地内のダイオキシン等化学物質の定期調査
- ・災害時に使える井戸の確保が不十分

「③幹線道路の整備や公共交通の充実、歩道や自転車専用道路の整備による、安全・安心な交通環境の確保」が51.4%と最も高く、次いで「⑦空き地・空き家の適切な管理の促進」が33.8%となっています。



5)環境意識、協働の仕組みづくり

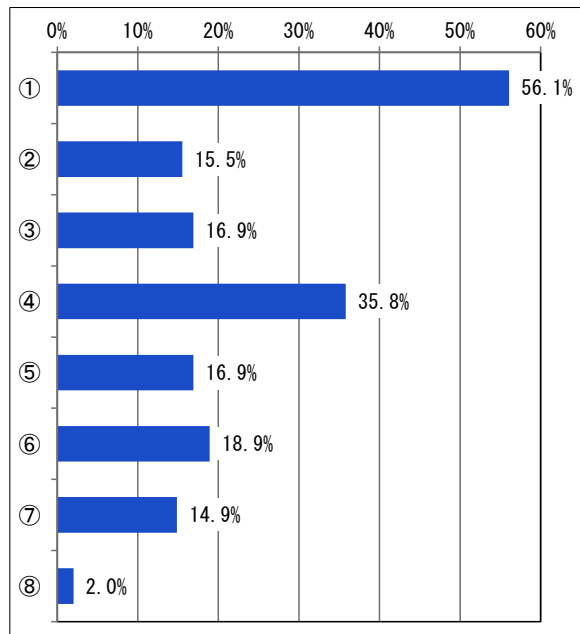
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 環境教育の推進による、将来を担う子どもたちの環境意識の向上	83	56.1%
② 市からの情報発信や講演会、研修会の開催による、市民・事業者の環境意識の向上	23	15.5%
③ 暮らしに役立つ省エネ知識をSNS等にて情報発信	25	16.9%
④ 市内の環境の現状や課題についての情報発信	53	35.8%
⑤ 環境に関する市民・事業者の自主的な活動などへの支援	25	16.9%
⑥ 環境に関する全市民的なキャンペーンの実施	28	18.9%
⑦ 市民団体等との協力による、環境に関する事業の推進	22	14.9%
⑧ その他	3	2.0%
合計	262	-

※割合は回答者数(148)から算出

⑧その他

- ・市庁舎建替えをやめて欲しかったけれどもう手遅れ
- ・遺産相続制度の改正・改善。金による均分相続制度を改正しないと都市化・コンクリート化は避けられない。
- ・特にありません

「①環境教育の推進による、将来を担う子どもたちの環境意識の向上」が56.1%と最も高く、次いで「④市内の環境の現状や課題についての情報発信」が35.8%となっています。



4. その他

清瀬市の環境をよりよくするためのアイデアや意見等がありましたら、自由に記載してください。

- ・「清」という文字は環境をイメージする上でピッタリなワードなので、この文字を活用しながら推進しては。折角の地名がもったいない。
- ・何かをやる前に、人の話や意見を聞いたらどうかね。
- ・連続強盗事件等が多発しているため、防犯等安心して暮らしていける生活環境についての考えも必要ではないかと思えます。
- ・近所の公園が雑草だらけです。去年は綺麗に咲いていた彼岸花も、今年はすっかり埋もれていました。清瀬駅北口からの歩道の植え込みも草ぼうぼうです。ゴミ収集が遅くカラスの被害にあっている場面を多々見受けます。街中ゴミだらけのようです。市内の生活環境を整えて、「人と緑を共に育てるまちきよせ」にしてください。
- ・南口ふれあい通りの商店街の過疎化や新規事業者に対して、家賃の補助などお店を増やす誘致をした方が良いと思う。もうシャッター街化している。
- ・関係ないが、無造作にアンケートを行うにしても、私一人で行っている個人事業者にアンケートしても税金のムダ使いだけなので、無造作ではなく規模上位 500 に聞いた方が意味があるはず。
- ・子供たちが安全に遊べる林や野原を増やして欲しいです。
- ・事業者への太陽光発電等設置の促進・補助事業により、市内省エネを行っていく。路上喫煙禁止エリアの拡大。特に駅周辺は半径 1 キロとか。
- ・生産緑地は税が安いから、雑草ではなく農作物を作らせることも環境保全に必要では。
- ・他の市より環境には恵まれているように思っていました。自然を守るためにも逆行かとは考えますが、大きな公園や川を活かした BBQ 施設やグランピング施設など、お金を生み出せるようには出来ませんか。アクセス面や使いやすさを考慮したら集客できると思うのですが。とにかく駐車場があればドックランでも子供が遊べる芝生でも手ぶら BBQ でも、そして環境にお金使いませんか。
- ・今まであまり気にしていなかったので、これから気をつけたいと思います。
- ・緑を守る！緑を増やす！落葉の問題は全員で解決する。
- ・先進的に活動し成果のある自治体や団体の情報を集め、比較することも必要だと考える。
- ・街路樹の診断、保全、整備を行い、緑の豊かな市を維持・発展させていきたいです。
- ・環境ってむずかしいと思います。今ある知識が正しいかも疑問。
- ・環境保護の取組みに積極的に参加していきたいと考えています。市に対し、出来る限り協力していきたいと思えます。今後とも宜しくお願いします。
- ・緑地の確保を優先していかないと、現在の自然豊かな清瀬市も、人間が住めないコンクリートの町になる。遺産相続制度がコンクリート化、人間が住めない町化を早めている。
- ・駅周辺の自転車専用道路の確保。駅周辺の中華料理店の油が道路に染み出ていてきたない。駅周辺の焼き鳥屋の煙がすごくて迷惑。
- ・安心・安全な野菜を。農家直売所の野菜の安全性を検査する。市が野菜を購入して、残留農薬、ダイオキシン等の化学物質を検査する(外部検査機関の利用)。農地の一定深度(50cm~1m)の化学物質、放射性物質を検査し、問題なければ合格農地として公表する(農地適合)。
- ・ケヤキ通りのケヤキの枝は短く切らないように。森林を残して手入れをする。農地の相続の全部が建売住宅になっしまわないように勉強する。
- ・脱炭素化を進めるのであれば、表面だけを考えるのではなく、商品を製造する際のエネルギー、運搬、廃棄に掛かるもの全てをふまえて考えてほしい。そのためには、反対意見や少数意見を聞き入れて、正否を考えてもらいたい。
- ・プラゴミや合成洗剤の使用量を減らすには、使用税等の政治的方法が必要だと考えます。人体に悪影響を及ぼすマイクロプラスチックや合成洗剤の使用量の増加は、地球規模の破滅へとつながります。ごみひろいを公立学校の授業ルーチンに取り入れ、なぜごみが減らないかを考えさせるべきです。旧ゴミ袋用シールは、それ自体がごみになります。剥離紙もゴミだ！2枚重ねすればすむことなのに。
- ・景観に悪影響のある空き家、空き地の緑地化など。
- ・元々市内でも緑が多い地域で地盤はできていると思いますが、やるならことん、メディア等を巻き込むレベルで名物となってほしい。
- ・特に有りません
- ・現状での再生可能エネルギー由来電力(地熱発電を除く)や EV はまだ開発途上段階でありその製品の資材調達、製造の過程、そしてその廃棄までの CO2 や有害物質の排出を含めばむしろ環境を確実に破壊しています。さらに日本製でなく海外の製品であれば尚の事 無駄に市民の血税を投入する事となります。また、再生電力だけでは電力を賄う事は当然できないので、火力や原子力発電にバックアップしてもらわなくてはなりません。火力発電は太陽光に合わせて発電量を調整しなくてはならず、現場ではその負担は小さくないと聞きます。
- ・ペロブスカイトや全固体電池が、あるいは、それ以上の発電、蓄電能力のあるものがコモディティ化するまではカーボン・ニュートラルに投資するのは危険です。
- ・北欧の小さな国では 水力発電も含めてうまくいっているやっている所もあるようですが、カリフォルニア州などでの現状を見ると恐怖でしかありません。
- ・現代の日本はデフレマインドに馴れ合いすぎて近視眼的になっているように思われます。もっと市民の利益を倍増させられるよう一方的な情報だけでなく、マイナーな情報も色々な角度のものを広く集めて 50年後、100年後の清瀬が発展していくような政策を期待いたします。
- ・通勤で歩いているときにスピードを出す自転車や、踏切前の道路状況などで困ることが多い。歩行者が歩きやすいような歩道の整備や道の整備を実施して頂けると助かる。
- ・小中学校で授業の一環としてアイデアを募集、市報や郷土博物館などで発表・展示してはどうか。